MultiImpact 700EX

ドットインパクトプリンタ

ユーザーズマニュアル

808-830126-101-A
第7版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

このプリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		**体内に入れると有害**な物質であることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷**などの傷害が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。**感電**のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による**感電や火災**のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		直射日光を避けてください。**発火**のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて**けが**をするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。**けが**をするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。**けが**をするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。**発火**のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。**火災**のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。**感電や火災**のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。**けが**をするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。	100V 専用	電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。**火災や漏電**のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して**感電や火災**のおそれがあります。		

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpact、BarcodeStudioは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

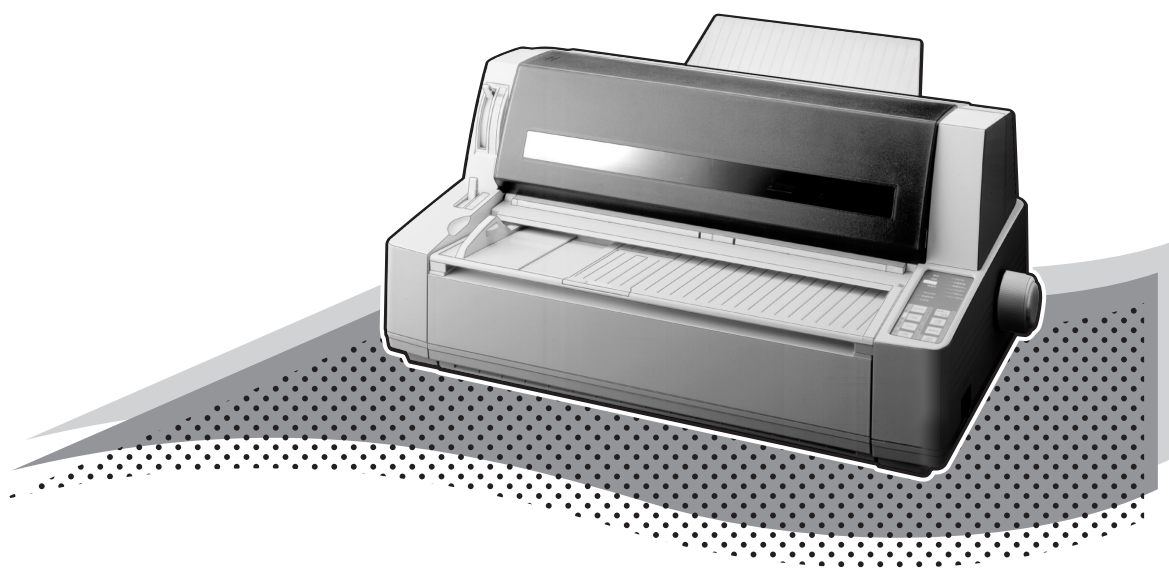
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

MultiImpact 700EX

ドットインパクトプリンタ

ユーザーズマニュアル

初版　　2000年　5月
第7版　2006年　5月

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示)

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MultiImpact 700EXは漢字最高330字/秒の高速印刷を実現し、最大8枚綴りの複写伝票に印刷可能です。本プリンタに付属しているリモートパネルを使用して、プリンタの各種設定をコンピュータ側から行うことができます。また、PrinterSignalStationを使用してプリンタの状態や印刷の進行状況を確認することもできます。

マニュアルの種類

MultiImpact 700EXの説明書にはユーザーズマニュアルの他に、ソフトウェアマニュアル、オンラインマニュアルがあります。

MultiImpact 700EX ユーザーズマニュアル

プリンタを箱から取り出して設置し、印刷できるようにするまでの手順やオプション、および保守に関する情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにご利用ください。

MultiImpactシリーズ ソフトウェアマニュアル

プリンタソフトウェアのインストール方法をOS別に説明しています。

MultiImpactシリーズ オンラインマニュアル

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMにはプリンタソフトウェアの使用方法を記載したオンラインマニュアルが収録されています。オンラインマニュアルの内容については、ソフトウェアマニュアル記載の「プリンタソフトウェアCD-ROMについて」をご覧ください。

また、プリンタソフトウェアCD-ROMにはオンラインマニュアルの他にプリンタドライバやMultiImpact 700EXで使用できる便利なプリンタソフトウェアが収録されています。

MultiImpact 700EXの特長

- **用紙を自動的にセットします**

  オートローディングにより、連続紙やカット紙を自動的に印刷位置にセットします。（リアプルトラクタを除く）

- **いろいろな用紙に印刷できます**＊

  定形の連続紙やカット紙をはじめ、はがき、百貨店/チェーンストアの専用複写式伝票、その他いろいろな用紙に印刷できます。

  ＊付録B「用紙の規格と印刷範囲」参照

- **連続でカット紙を自動給紙します**

  オプションのシートフィーダを装着すると、カット紙を自動給紙します。

- **自動紙厚調整機能で最適な印刷を行います**＊

  用紙の厚さに応じて印刷ヘッドと用紙の間隔を自動的に調整します。この機能により良好な印刷結果を得られます。

  ＊2章「用紙の厚さに応じた調整方法」参照

- **カット紙の排出方向を選べます**

  カット紙のシートガイド側排出とスタッカ側排出が切り替え可能です。

- **バーコードを印刷できます**

  MultiImpact 700EXは、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードを印刷できます。また添付のプリンタソフトウェアCD-ROM内のBarcodeStudioをインストールすれば、JAN、Interleaved 2 of 5、Industrial 2 of 5、NW-7、CODE 39、CODE 128などのバーコードをWindows環境で印刷することができます。

目　次

3　メニューモードで設定変更する 87

4　オプション 131

5　日常の保守 149

6　故障かな？と思ったときは 161

付　録 ～MultiImpact 700EXの詳細～ 175

本マニュアルの概要

本マニュアルの概要を以下に示します。なお、巻末には索引がありますので、必要に応じて活用してください。マニュアルをなくされたときは「ユーザーズマニュアルの再購入について」(13ページ)をご覧ください。

安全にお使いいただくために

プリンタを安全にお使いいただくために、あらかじめ知っておいていただきたい注意事項を記載しています。

ユーザーサポートについて

MultiImpact 700EXをご購入いただき、登録手続きをされた方への保証、または保守サービスなどについて説明しています。

1章　プリンタを設置する

MultiImpact 700EXを箱から取り出して、プリンタケーブルでプリンタとコンピュータを接続するまでの手順を説明しています。

2章　用紙をセットする

用紙の取り扱い方法と用紙のセット手順について説明しています。

3章　メニューモードで設定変更する

メニューモードを使ってプリンタの各種設定を変更する場合の手順や機能詳細を説明しています。

4章　オプション

MultiImpact 700EXで利用できるオプションの取り付け／取り外し方法および各々の機能ついて説明しています。

5章　日常の保守

プリンタの日常的な保守(インクリボンカートリッジの交換、清掃など)の方法を説明しています。

6章　故障かな?と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法、紙づまりのときの対処方法について説明しています。修理に出される前にまずこの章をお読みください。

付録

MultiImpact 700EXの仕様、用紙の規格などについて説明しています。

本文中で使用の記号の意味

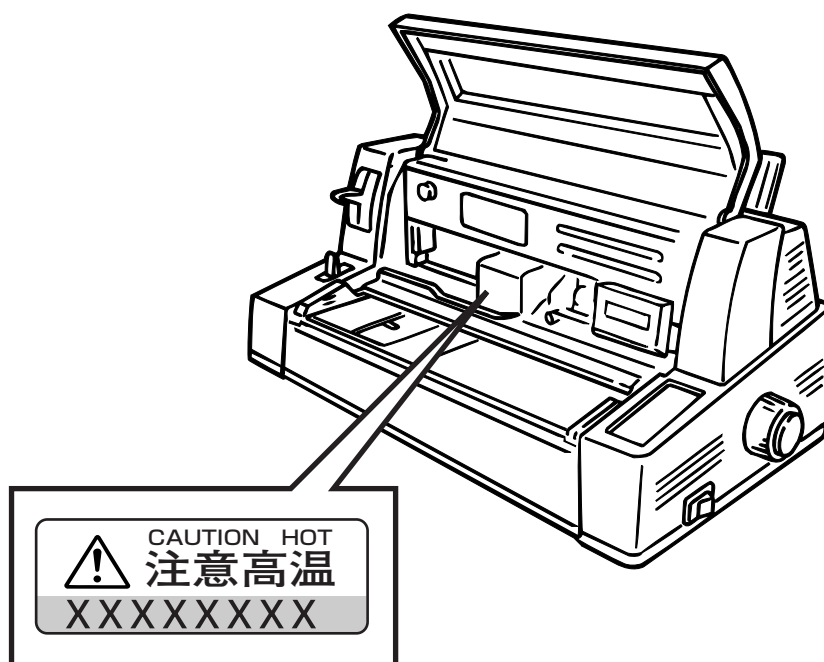
このユーザーズマニュアルでは、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のように定義されています。

記号	内　　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタを含むコンピュータシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンタを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 700EXプリンタ内の危険性を秘める部品や、その近くには警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際に考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどによりラベルの内容がわからないときは、サービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

以下に示す注意事項はMultiImpact 700EXを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項を守ってプリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の説明を参照してください。

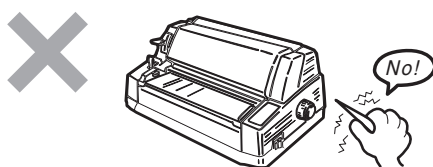
⚠警告

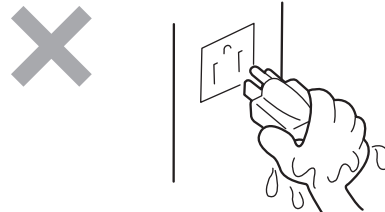
分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

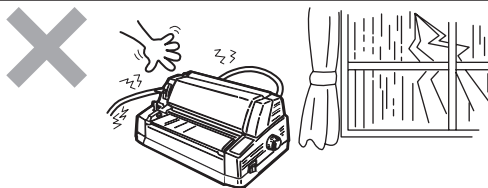
煙や異臭、異音がしたら電源をOFFにする

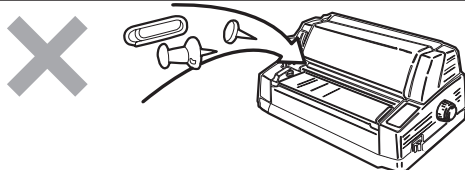
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

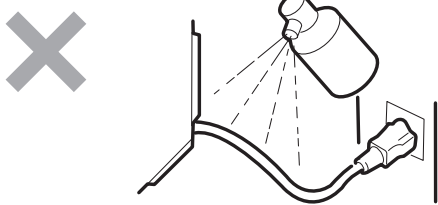
針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

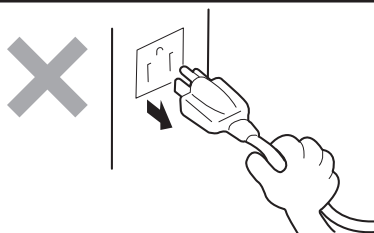
ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

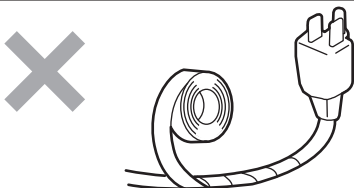
⚠ 注意

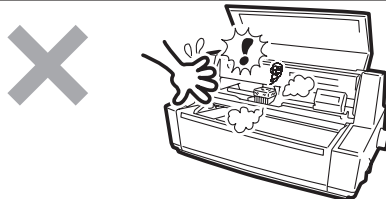
雷が鳴りだしたら
プリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

プリンタ内に
異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類
をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

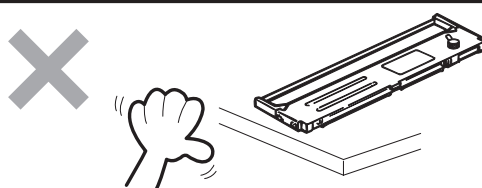
電源コードを抜くときは
コードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

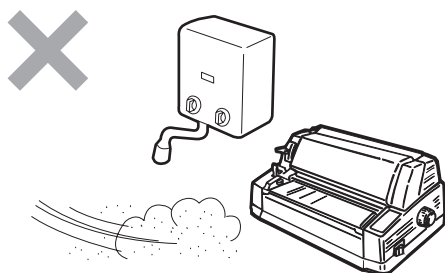
損傷した電源コード
は使わない

損傷した電源コードはすぐに 同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となります。

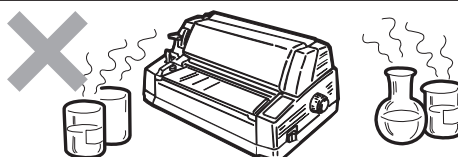
高温注意

プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

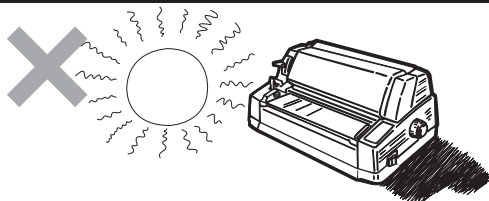
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

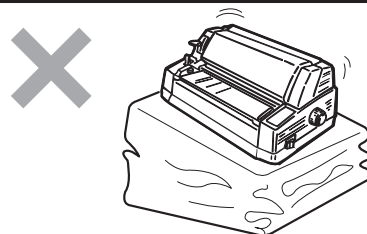
インクリボンをなめたりしない

インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたり、口に入れたりすると健康を損なうおそれがあります。

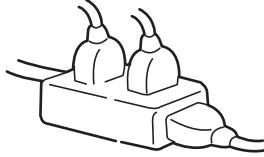
ほこり・湿気の多い場所で使用しない

・プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
・プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

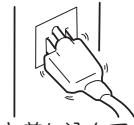
腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

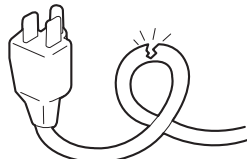
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

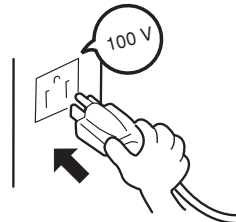
直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンタが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

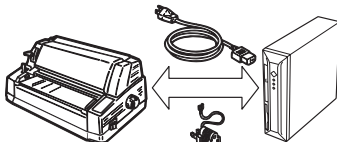
不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

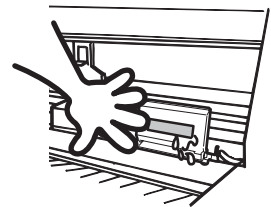
電源コードを
たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端
に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたり
ねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

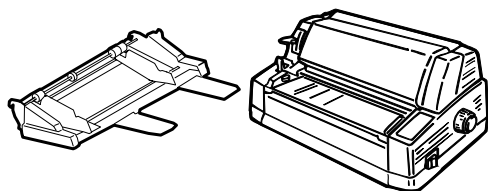
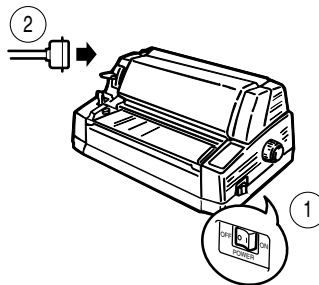
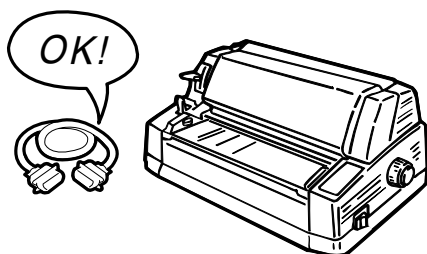
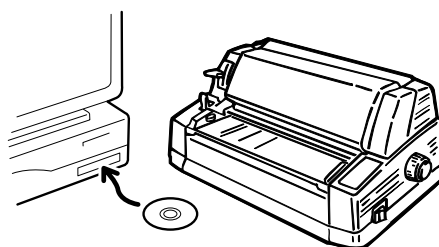
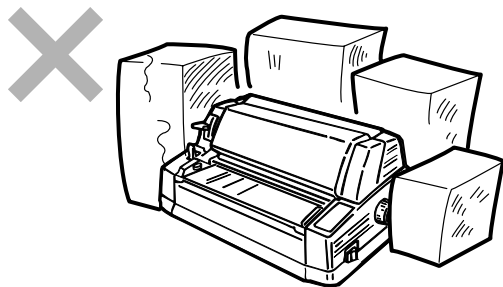
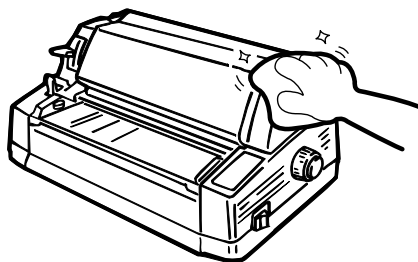
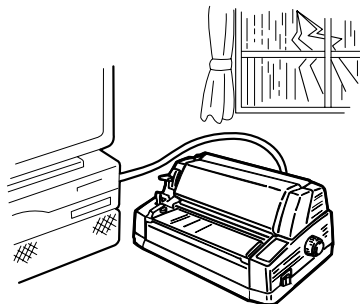
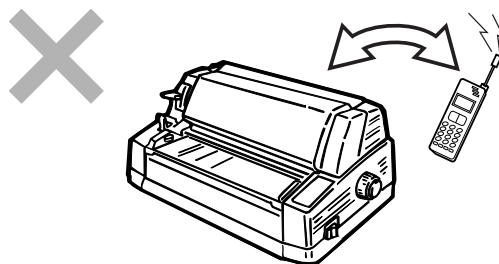
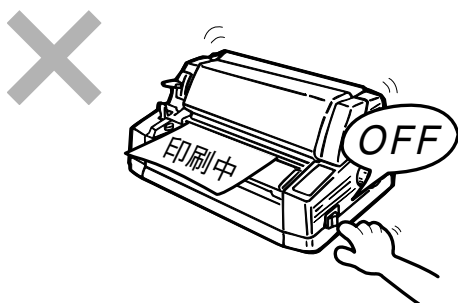
100V以外のコンセントに
差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

添付の電源コード・
変換プラグを転用しない

添付の電源コードと変換プラグは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。

壊れた液晶ディスプレイ
には触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

MultiImpact 700EXの質量は約35kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。プリンタを運ぶときは二人以上で持ってください。

正しく動作させるために

オプションはMultiImpact 700EX専用のものをお使いください。専用でないものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。（型番などについては４章「オプション」（132ページ)を参照してください。）

プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行うときは、電源をOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行うと誤動作や故障の原因となります。

ご用意いただいたプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。

プリンタドライバは、MultiImpact 700EXに添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに入っているものをインストールしてください。

プリンタの背面の排気孔をふさがないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなると、正しく動作しなくなることがあります。

定期的にプリンタを清掃してください。清掃の方法については5章「日常の保守」（149ページ）を参照してください。

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

業務無線、携帯電話、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

印刷中は電源をOFFにしないでください。故障の原因となります。

ユーザーサポートについて

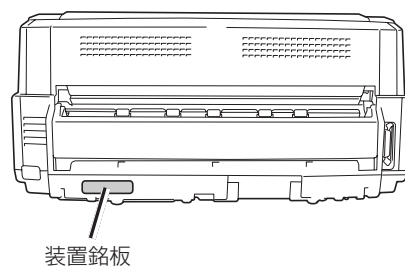
アフターサービスについて

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録についてはプリンタに添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

保証について

MultiImpact 700EXには『保証書』が付いてます。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。
保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」(11ページ)をご覧の上、MultiImpact 700EXをお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。
本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。

② インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。

③ 6章「故障かな？と思ったときは」（162ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧のうえ、保守サービスをご利用ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。

ヒント

- 電話をする際、操作パネル上のランプの状態（点灯または点滅）や液晶表示盤のディスプレイの表示内容もご確認ください。故障時のランプやディスプレイの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「プリンタを運搬するときは」（157ページ）の手順に従ってプリンタを梱包してください。

保守サービスについて

プリンタの問題はプリンタ自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンタに添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

プリンタの寿命について

MultiImpact 700EXの製品寿命は使用年数7年です。その後も継続使用される場合は、販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。なお、印刷ヘッドは有償交換部品であり、寿命はピンごとに3億ドットです。（ただし、使用方法により寿命が変動する場合があります。）

補修用部品について

MultiImpact 700EXの補修用部品の最低保有期限は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名　MultiImpact 700EX ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて品名をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL：http://pcm.mepros.com/

電話：03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00〜12：00/13：00〜16：00
（土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません）

FAX：03-5471-3996
受付時間　24時間（いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。）

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を、下記で提供しています。

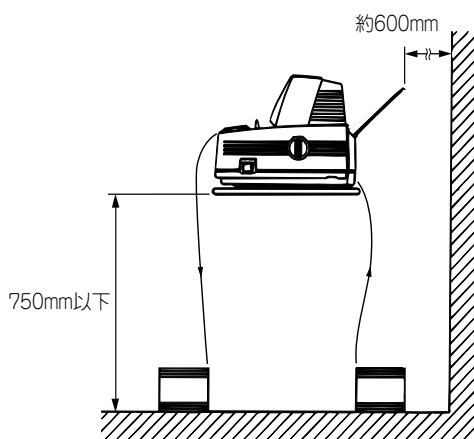
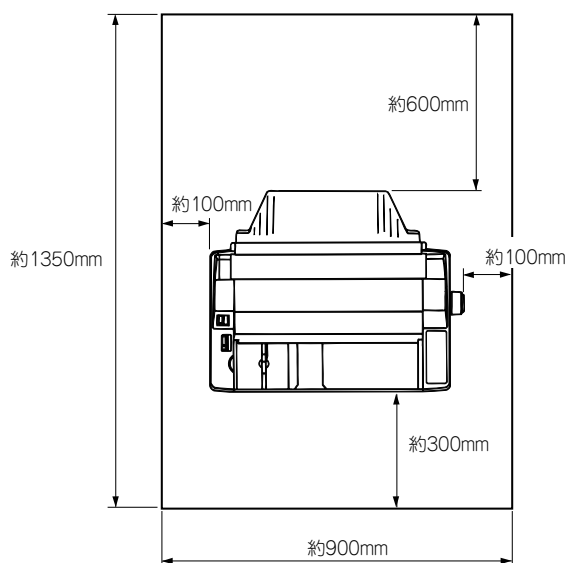
インターネットのWebページ	NEC 8番街（http://nec8.com/）

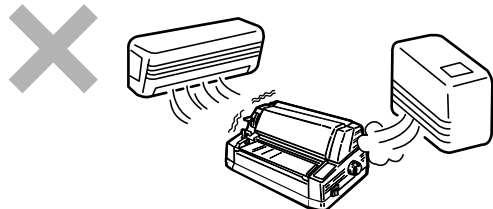
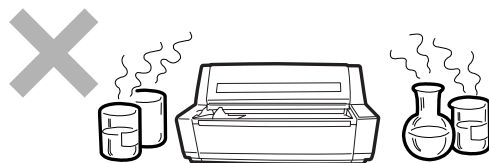
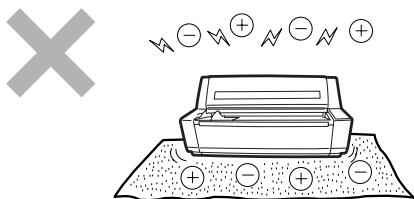
1

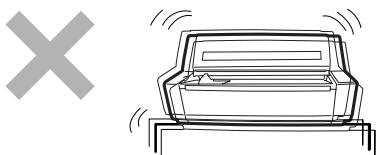
プリンタを設置する

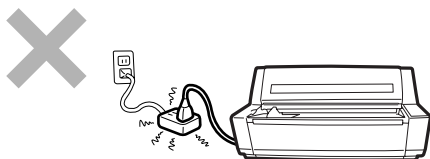
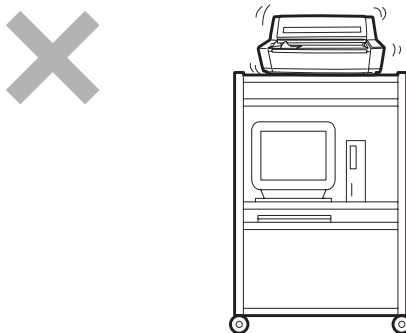
プリンタを設置する

設置に必要なスペース

MultiImpact 700EXに必要なスペースは次のとおりです。プリンタを安全で快適にご使用いただくために、十分なスペースを確保して風通しのよい場所に設置してください。

設置してはいけない場所

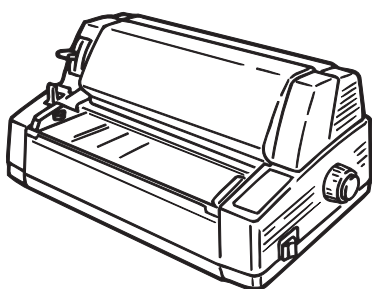
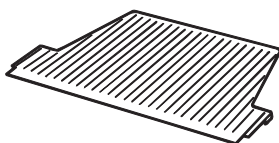
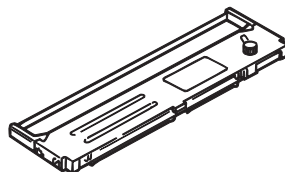
温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しないことがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

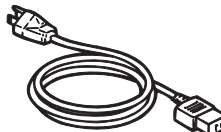
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。

電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

プリンタを縦型OAラック等の上段などの不安定な場所に置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

箱の中身を確認する

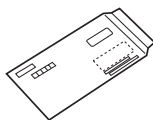
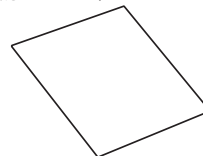
箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

- プリンタとコンピュータを接続するプリンタケーブルはMultiImpact 700EXには付属していません。別途お買い求めください。(「プリンタケーブル」(147ページ)を参照)
- 梱包材(箱や緩衝材など)はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

□ プリンタ本体

□ スタッカ

□ インクリボンカートリッジ(黒)

□ 3極/2極変換プラグ

□ 電源コード

□ 手袋*（インクリボン交換用）
*インクリボンカートリッジに同梱

□ NECサービス網一覧表

□ 保証書
（大切に保管してください）

□ ソフトウェアのご使用条件
（ソフトウェアをご使用する前にお読みください）

□ ユーザーズマニュアル（本書）
（操作方法、故障時の解決方法など、本プリンタを使用する上で必要な事柄を詳しく説明しています）

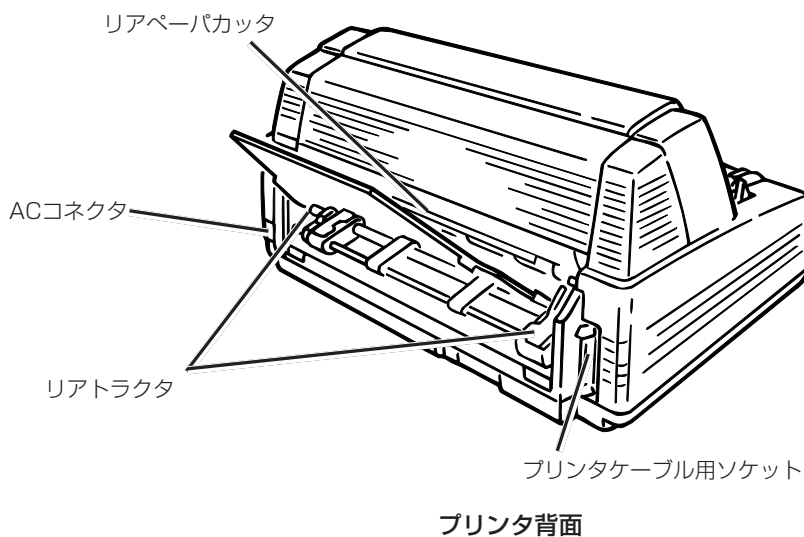
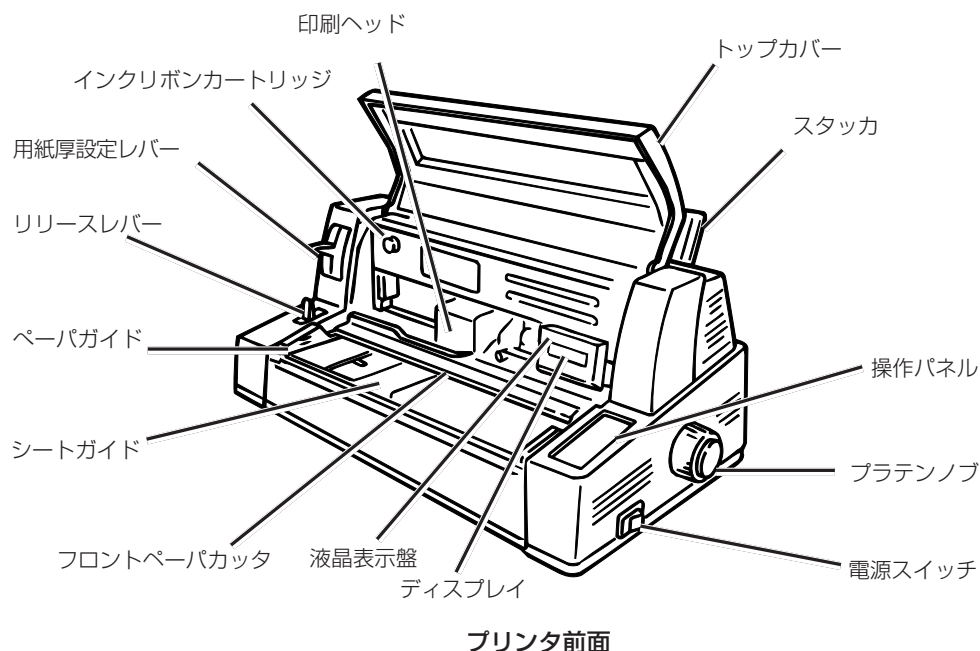
□ ソフトウェアマニュアル
（プリンタソフトウェアのインストール方法について説明しています）

□ プリンタソフトウェアCD-ROM1枚

各部の名称を確認する

各部の名称を次に示します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

プリンタ前面

プリンタ背面

プリンタの準備

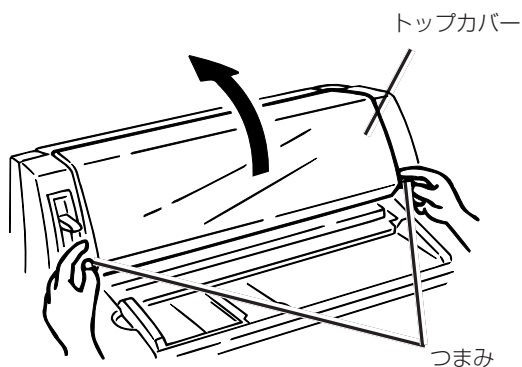
ここではプリンタを箱から出して印刷の準備が整うまでの基本的な手順を説明します。順番どおり確実に行ってください。

1 保護用部品を取り除く

既に「注意書き」をご覧になり保護用部品を取り外した場合は、次の「2 スタッカを取り付ける」(22ページ)へお進みください。

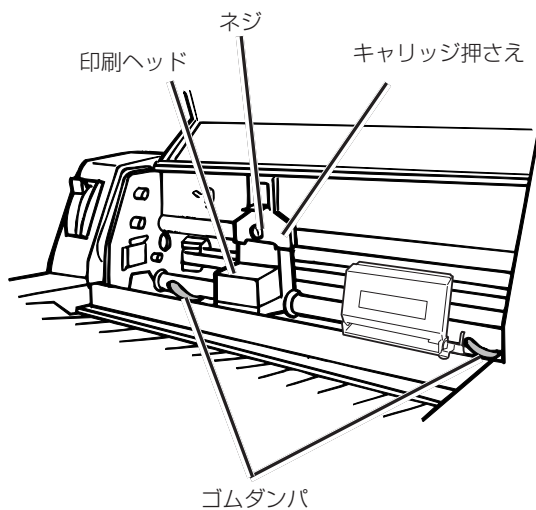
プリンタ本体には運搬時の衝撃を抑えるため、保護用部品が取り付けられています。プリンタを使用する前に次の手順で保護用部品を取り外してください。

1 トップカバーを開く。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

2 ゴムダンパとキャリッジ押さえを外す。

キャリッジ押さえはネジをゆるめて印刷ヘッドから引き抜いてください。

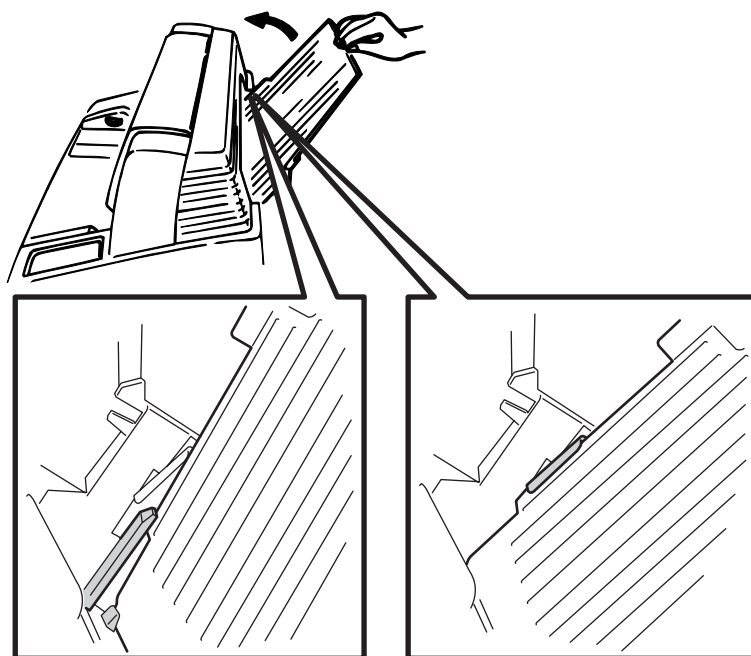
✔チェック

ゴムダンパとキャリッジ押さえは大切に保管してください。本プリンタを輸送する場合は、必ずキャリッジ押さえと、2個のゴムダンパで印刷ヘッドを固定し直してください。（157ページ参照）

3 トップカバーを閉じる。

両手で左右のつまみを持ってトップカバーがロックされるまで閉じます。

2 スタッカを取り付ける

スタッカをスタッカフレームの差し込みガイドに差し込む。

差し込みガイドは上下2つあります。フロントプッシュトラクタの場合は上側の差し込みガイドにスタッカを差し込んでください。フロントプッシュトラクタ以外の場合は下側の差し込みガイドにスタッカを差し込んでください。

フロントプッシュトラクタ以外の場合　　フロントプッシュトラクタの場合

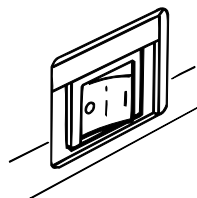
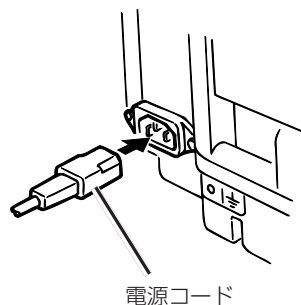
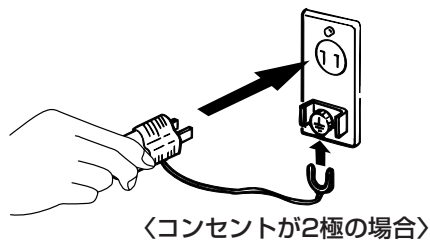
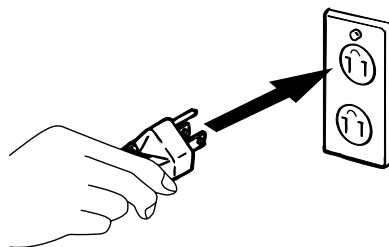
3 シートフィーダ（オプション）を取り付ける

オプションのシートフィーダをお使いになる場合は「シートフィーダ」（135ページ）をご覧になり、取り付けてください。自動給紙するカット紙やはがきに印刷するときはシートフィーダを使用します。一度にカット紙（A4）なら約450枚、はがきなら約150枚セットできます（用紙の厚さによって枚数が変わります）。

4 電源コードを接続する

1 プリンタの電源がOFFになっていることを確認する。

⚠ 注意

電源コードを接続する際は、電源スイッチをOFFにしてください。電源コードをONにしたまま電源コードを接続すると、プリンタが突然動作するおそれがあります。

2 電源コードをプリンタ背面のACコネクタに接続する。

3 電源コードを3極コンセントに差し込む。

ヒント

電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V電源容量6A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

〈コンセントが2極の場合〉

- 2極/3極変換プラグを使用するときは、アース線を次のどれかに取り付けてください。

  －電源コンセントのアース端子
  －銅片など650mm以上地中に埋めたもの
  －接地工事(第3種)を行っている接地端子

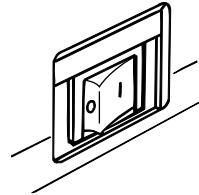
- 次のようなところには、アース端子を接続しないでください。

  －ガス管(引火または爆発のおそれがあります)
  －電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります)
  －水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックのものはアースの役目を果たしません)

- アース線をコンセントに一緒に差し込まないでください。
- 電源は必ずAC100V(50Hz、60Hz)を使用してください。
- プラグを差し込む前にプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印刷(黒ベタ印刷など)を行うと、最大6Aの電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。またタコ足配線はしないでください。コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。
- 電源コードは、添付されているものを使用してください。
- 電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張ると電源コードを破損するおそれがあります。
- 付属の電源コードと変換プラグは他の装置には使用しないでください。

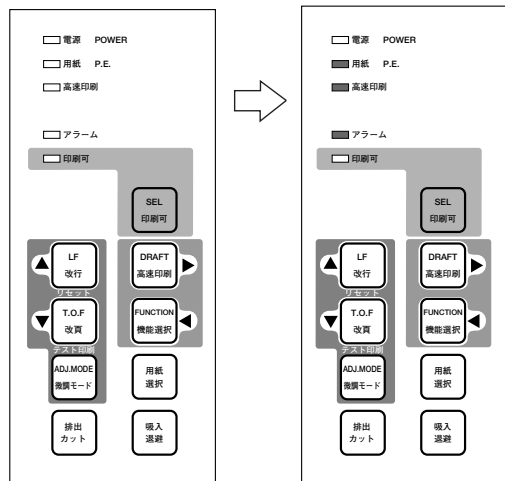
5 電源をONにする

電源をONにしてから印刷できる状態になるまで、プリンタは次のように動作します。

1 トップカバーが閉まっていることを確認し、電源スイッチをONにする。

2 ランプが次の状態になることを確認する。

一瞬、操作パネルのすべてのランプが点灯します。続いて電源ランプ以外のランプが消灯します。

用紙がセットされているときは、電源ランプ、印刷可ランプ以外のランプが消灯します。

印刷ヘッドが「リボンセット位置▲」に移動します。

用紙がセットされていない場合は、液晶表示盤のディスプレイに右のように表示されます。(フロントプッシュトラクタを選択した場合)

ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト		シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ
ト	ラ	ク	タ		フ	ロ	ン	ト	P	U	S	H			

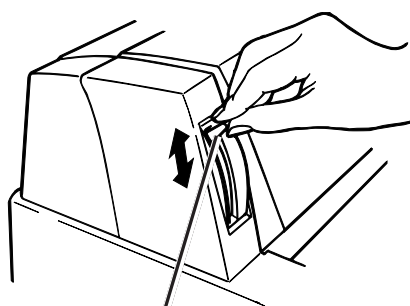
6　インクリボンカートリッジを取り付ける

重要

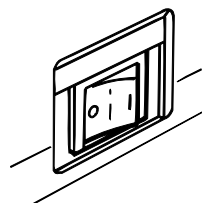
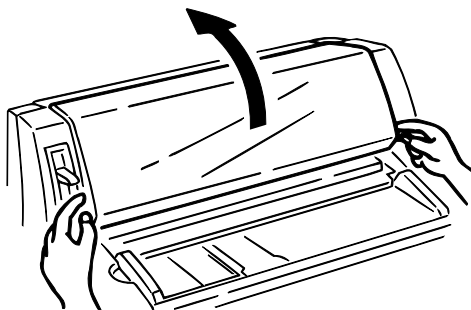
MultiImpact 700EXは専用のインクリボンカートリッジを使用します。NEC指定以外のインクリボンカートリッジの使用は、印刷ヘッドの寿命を縮めたり、印刷障害およびプリンタ本体の故障の原因となることがあります。この場合、無償修理の対象外となります。指定のインクリボンカートリッジであることを確認してください（「インクリボンカートリッジの購入」（150ページ）参照）。

1　用紙厚設定レバーが「8」または「9」になっていることを確認する。

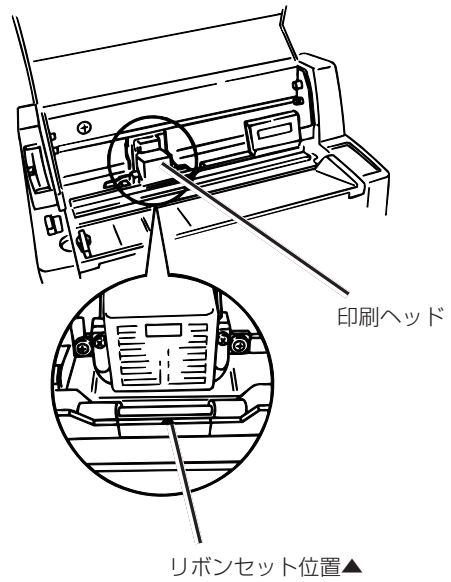
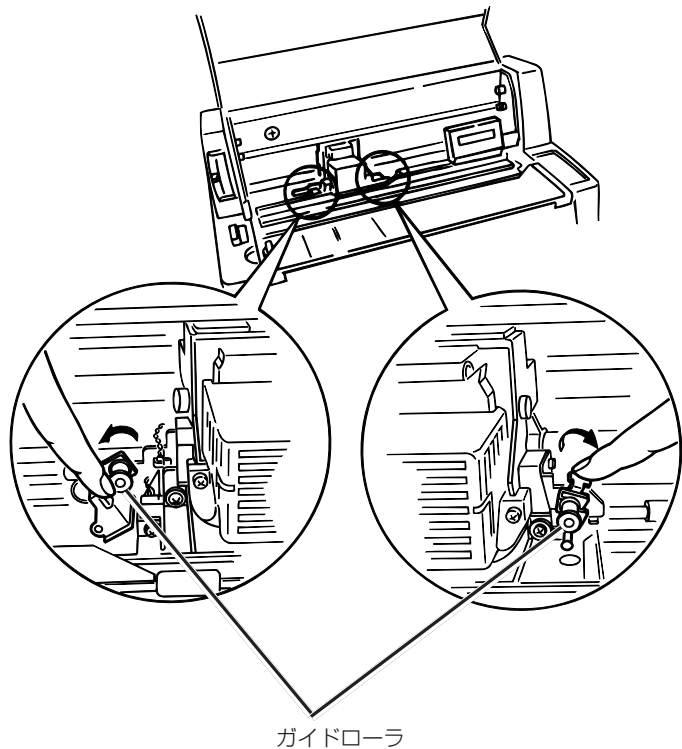
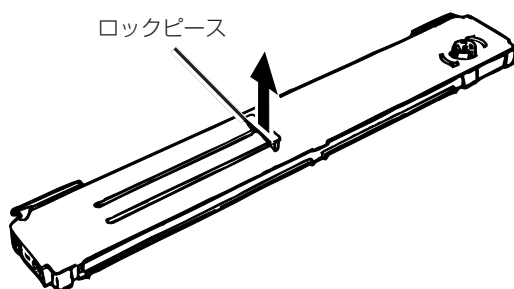
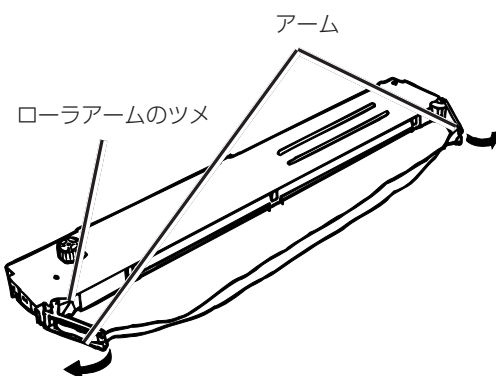
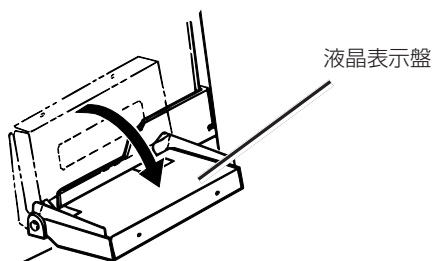
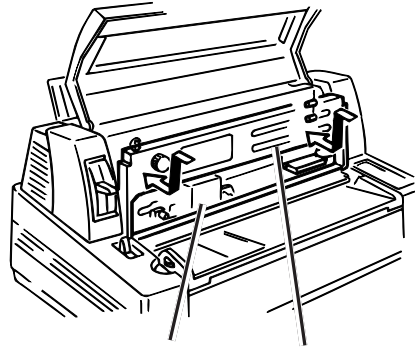
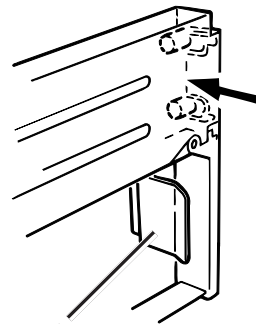
ヒント

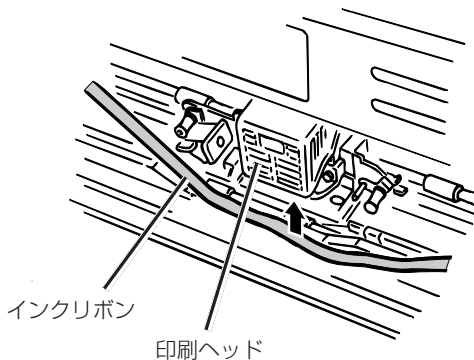
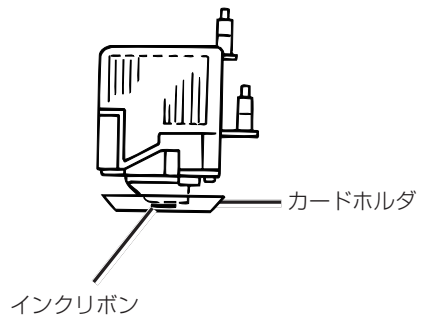
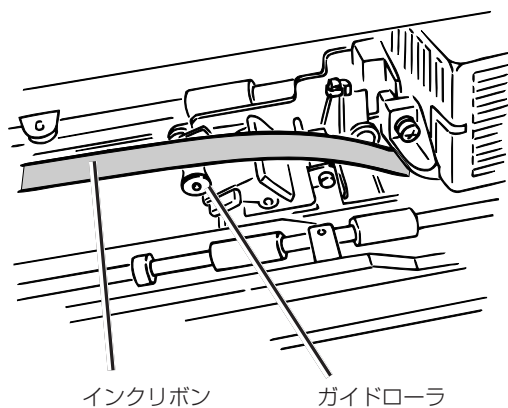
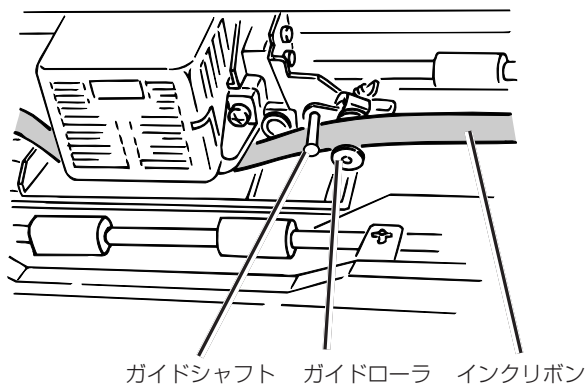
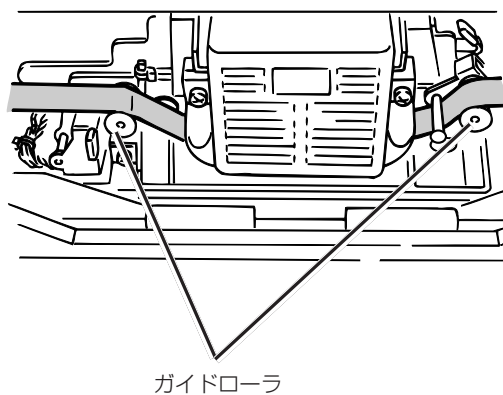
電源がONになっていないと用紙厚設定レバーを操作することはできません。電源がONになっていることを確認して、レバーを動かしてください。

2　電源スイッチをOFFにする。

⚠ 注意

電源を入れたままで、インクリボンカートリッジの交換をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをするおそれがあります。

3　トップカバーを開く。

4 印刷ヘッドを、「リボンセット位置▲」へ移動する。

⚠ 注意

印刷直後は印刷ヘッドが高温になっていますので、印刷ヘッドにさわらないでください。インクリボンカートリッジの取り付けは、印刷ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 印刷ヘッド左右のガイドローラをそれぞれ外側に倒す。

6 インクリボンカートリッジのビニール袋を取り除き、ロックピースを引き抜く。

7 左右のアームをロックするまで開き、ローラアームのツメを解除する。

8 液晶表示盤を手前に倒す。

9 印刷ヘッドの上側にインクリボンカートリッジを差し込み、両端が止まるまで押し込む。

インクリボンカートリッジの上方(矢印部)を突き当ててリボンカセットガイドに押し込んでセットします。

10 印刷ヘッドの下側にインクリボンを通す。

インクリボンをセットするときは手が汚れないように付属の手袋を使用してください。また、インクリボン交換時にも使用しますので捨てずに保管してください。

〈印刷ヘッドを側面から見た図〉

11 左側のガイドローラの上にインクリボンをのせる。

12 右側のガイドローラとガイドシャフトの間にインクリボンを通す。

13 ガイドローラを元に戻す。

14 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取る。

✔チェック

- 印刷ヘッドとカードホルダのすき間にインクリボンを通した際、インクリボンによじれや折れがないこと、インクリボンカートリッジ左右のアームから外れていないことを確認してください。
- つまみを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

15 倒していた液晶表示盤を戻す。

16 トップカバーを閉じる。

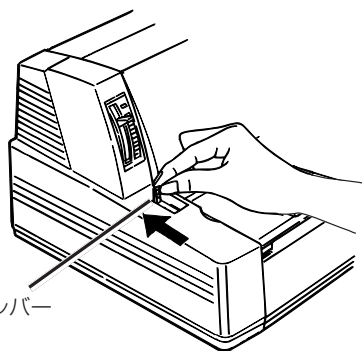
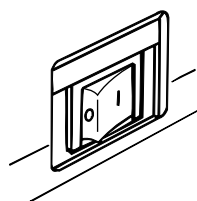
17 用紙厚設定レバーを「自動」または使用する用紙に合わせる。

7 テスト印刷をする

インクリボンカートリッジを取り付けたプリンタが正常に動くことを確かめるためにテスト印刷を行います。
テスト印刷には約381mm（15インチ）幅以上の連続紙、またはA4サイズ以上のカット紙を縦置きにして使用します。ここでは、A4サイズのカット紙を縦にセットして使う場合を例にとってテスト印刷の手順を説明します。連続紙に印刷したいときは、「連続紙をセットする」（40ページ）を参照して連続紙をセットしてください。
このテスト印刷は6章「故障かな？と思ったときは」（162ページ）の処置が済んだ後など、動作確認する必要がある場面で実行することをお勧めします。

1 プリンタの電源スイッチをONにする。

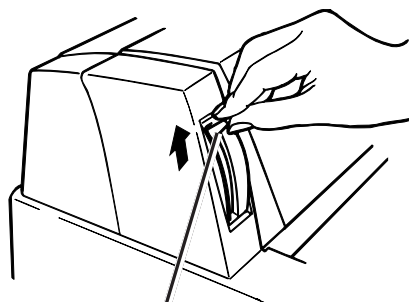
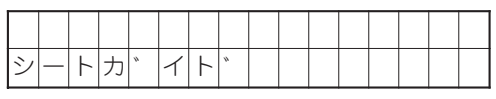
ヒント

リリースレバーを「開放」（手前側）にしたまま電源をONにするとアラームランプが点灯し、ディスプレイに"リリースレバ゛ー　アラーム　レバ゛ーヲキリカエテクタ゛サイ"と表示されます。アラームはリリースレバーを「自動」（奥側）に切り替えると解除できます。

2 用紙厚設定レバーが「自動」（一番上の位置）になっていることを確認する。

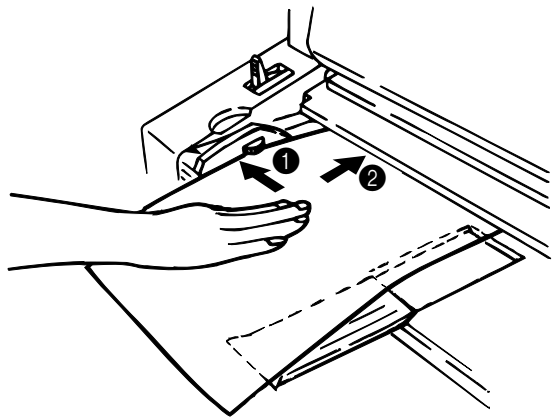
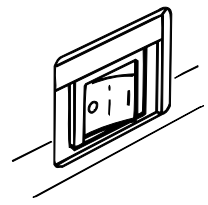
ヒント

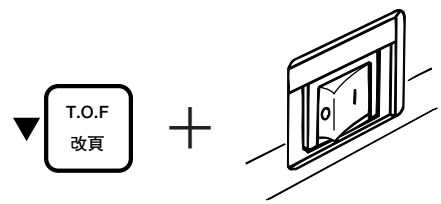
電源がONになっていないと用紙厚設定レバーを操作することはできません。電源がONになっていることを確認して、レバーを動かしてください。

3 **ディスプレイの下段に"シートカ゛イト゛"と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。**

用紙
選択

シートカ゛イト゛

4 **用紙をセットする。**

印刷する面を表にして、用紙の左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

カット紙のセットについての詳細は「カット紙をセットする」(68ページ)を参照してください。

5 **プリンタの電源をOFFにする。**

6 **[T.O.F/改頁]スイッチを押したまま電源スイッチをONにする。**

印刷ヘッドが動き始めたらスイッチから手を放します。テスト印刷を開始します。

7 **印刷を中断したい場合は、[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

もう一度、[SEL/印刷可]スイッチを押すと印刷を再開します。

8 テスト印刷を終了したい場合は、[SEL/印刷可]スイッチを押したまま[L.F/改行]スイッチを2回押す。

✔チェック

テスト印刷は自動的には終了しません。

9 [排出/カット]スイッチを押して、カット紙を排出する。

排出
カット

10 テスト印刷が終ったら、オンラインマニュアルの「テスト印刷サンプル」を参照して印刷の状態を確認する。

もし文字の一部が欠けていたり文字の周辺が汚れていたりしたときは、「6 インクリボンカートリッジを取り付ける」(26ページ)に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い求めの販売店またはサービス受付窓口に連絡してください。

テスト印刷の印刷状態確認後、いったん電源をOFFにし、「8 コンピュータに接続する」(35ページ)へ進んでください。

8 コンピュータに接続する

MultiImpact 700EXにはプリンタケーブルが付属しておりません。プリンタをコンピュータに接続するには、別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。

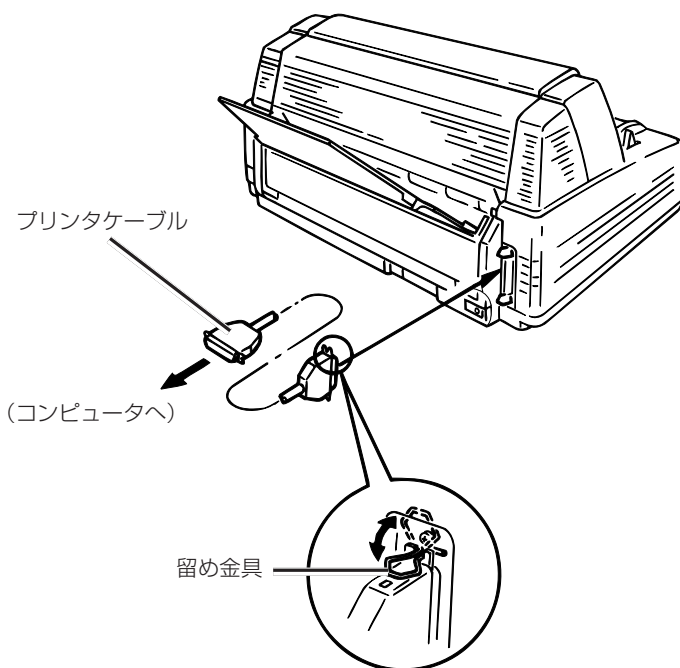
このプリンタの背面にプリンタケーブル用ソケットがあります。プリンタケーブルは、コンピュータによって異なります。それぞれのコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店でお求めください。詳細は「プリンタケーブル」(147ページ)参照してください。

プリンタのソケットの信号線ピン配列は、「付録E インタフェース」(194ページ)をご覧ください。

1 プリンタとコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

電源スイッチがONになっている場合はOFFにしてください。

2 プリンタケーブルを接続する。

ケーブルが外れないようにソケットの外側の留め金具で固定します。

3 コンピュータにプリンタケーブルを接続する。

詳しくはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

用紙をセットする

用紙と給紙方法の選択

用紙をセットする前にご覧ください。

給紙方法の選択

連続紙に印刷したい(普通紙、複写式用紙、ラベル紙)

連続紙のセット方法は以下の3種類があります。使用目的に合わせて方法を選択してください。

-
  用紙の種類は単一で、頻繁にカットする必要がある場合にお勧めします。
-
  用紙の種類を頻繁に変える場合にお勧めします。
-
  連続して大量に印刷する場合にお勧めします。

カット紙に印刷したい(普通紙、複写式用紙)

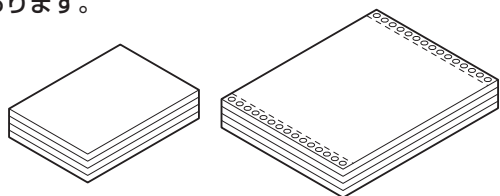
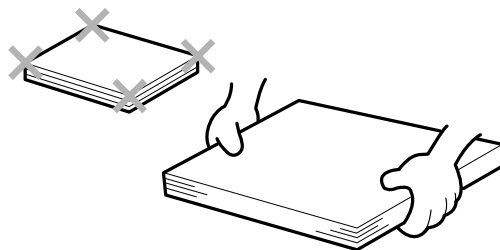
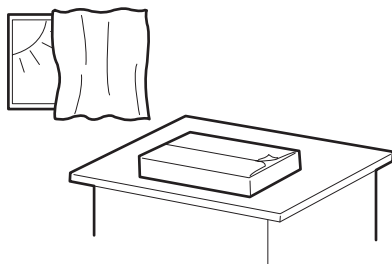
カット紙に印刷する場合、シートガイドから用紙をセットする方法とシートフィーダ(オプション)から用紙をセットする方法の2種類があります。1枚ずつ印刷する場合はシートガイド、一度に何枚も印刷する場合はシートフィーダにセットする方法が適しています。

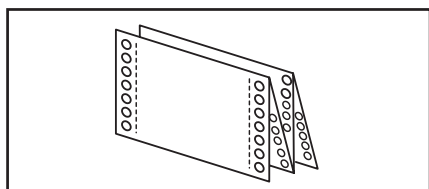
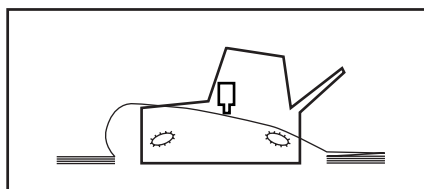
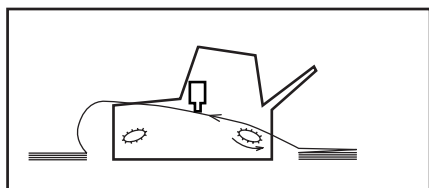
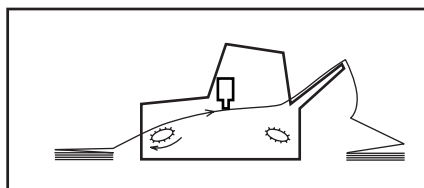
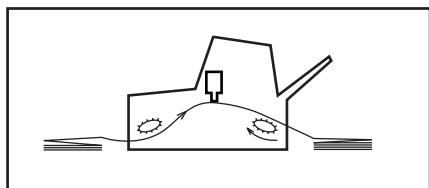
はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

はがきや封筒に印刷する場合、シートガイドから用紙をセットする方法とシートフィーダ*(オプション)から用紙をセットする方法の2種類があります。1枚ずつ印刷する場合はシートガイド、一度に何枚も印刷する場合はシートフィーダにセットする方法が適しています。

* シートフィーダで、封筒に印刷することはできません。シートガイドをご使用ください。

用紙について

印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください(用紙の規格については「付録B 用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)に説明しています)。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。

用紙を持つときは角を持たずに中央部分を持つようにしてください。角を持つと用紙が折れて紙づまりの原因になります。

残った用紙は包装紙に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように、平らな場所に置いてください。

連続紙をセットする

連続紙はプリンタ前面または背面のトラクタにセットして印刷します。MultiImpact 700EXに連続紙をセットして印刷する方法を次の手順で説明します。

- **使用できる連続紙の確認 41ページ**
  お手持ちの連続紙がMultiImpact 700EXで使用できる用紙であることを確認してください。

- **連続紙の置き方 42ページ**
  連続紙の置き方と注意事項について説明しています。

- **リアプッシュトラクタでの用紙のセット 43ページ**
  リアプッシュトラクタでの連続紙のセット、吸入方法、排出方法について説明しています。

- **フロントプッシュトラクタでの用紙のセット 52ページ**
  フロントプッシュトラクタでの連続紙のセット、吸入方法、排出方法について説明しています。

- **リアプルトラクタでの用紙のセット 57ページ**
  リアプルトラクタでの連続紙のセット、吸入方法、排出方法について説明しています。

- **連続紙の切り替え 64ページ**
  連続紙のセット方法の切り替え方について説明しています。

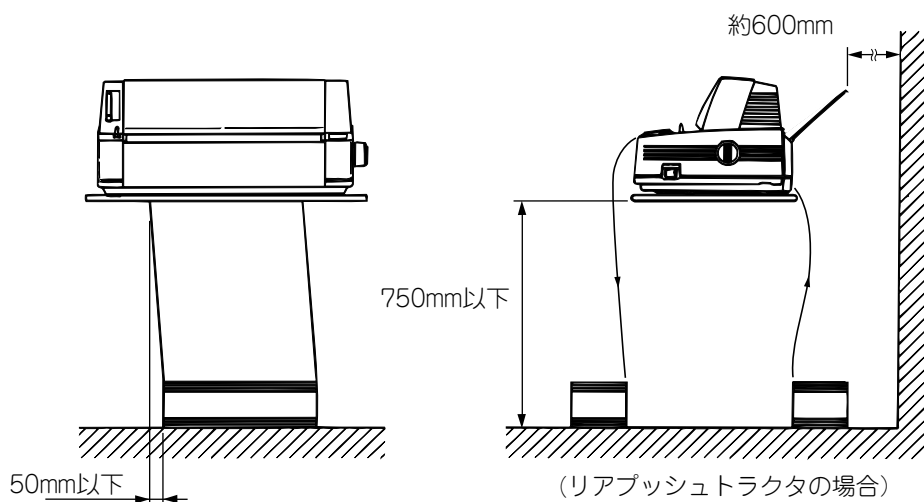
使用できる連続紙の確認

MultiImpact 700EXで使用できる連続紙の種類は次のとおりです。詳細は付録B「用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)をご覧になり、印刷可能範囲も併せて確認してください。

印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

用紙の種類	用紙幅	坪量(連量)または用紙の厚さ	複写枚数
普通紙	101〜406mm (4〜16インチ)	46.5〜157.0g/m^2 (40〜135kg相当)	—
複写式用紙 感圧紙 裏カーボン紙 ワンタイムカーボン紙	101〜406mm (4〜16インチ)	付録B 「複写枚数と坪量(連量)」(179ページ)を参照	8枚 (オリジナル+7枚)
ラベル紙	101〜406mm (4〜16インチ)	0.2mm以下 (台紙含む)	—

連続紙の置き方

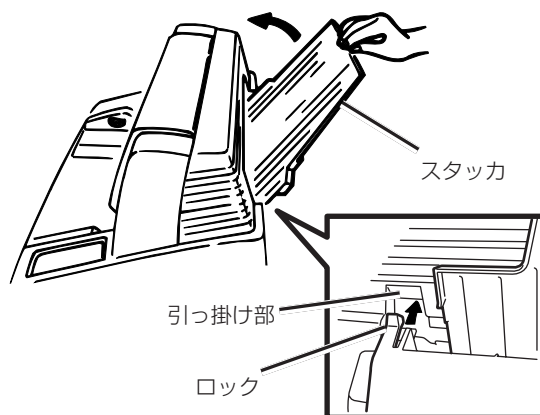
- 給紙および排出した連続紙は、プリンタの底面から下方向に750mm以内でスタックしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、50mm以下にしてください。
- リアプッシュトラクタの場合、プリンタの後部と机の縁を合わせてください。
- リアプルトラクタ、フロントプッシュトラクタの場合、プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印刷後の用紙スペース確保のため、壁から600mm以上離してください。
- プリンタケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

リアプッシュトラクタでの用紙のセット

連続紙をプリンタ背面からオートローディングで給紙し、プリンタ前面に排出する方式です。プリンタ前面にあるペーパカッタを使用できるので、通常使用する連続紙が1種類で、頻繁にカットする場合はこの方式が便利です。
また、フロントプッシュトラクタと併用することにより、2種類の連続紙を自動的に切り替えて使用することもできます。（この場合はもう1種類の連続紙はプリンタ前面からオートローディングで給紙し、プリンタ背面へ排出するセット方法となります。）

セットと吸入

1 **電源スイッチをONにする。**

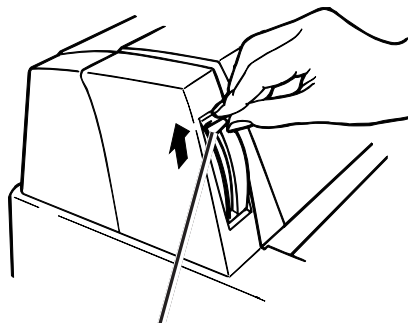
2 **スタッカを上に持ち上げてロックする。**

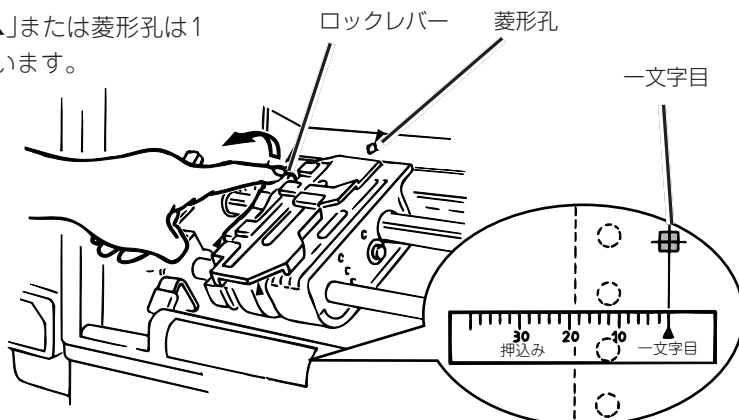
スタッカフレームの両脇のツメをプリンタ背面の引っかけ部分に引っかけます。（スタッカの取り付け方法は「2 スタッカを取り付ける」（22ページ）参照。）

3 **ディスプレイの下段に“トラクタ　リアPUSH”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

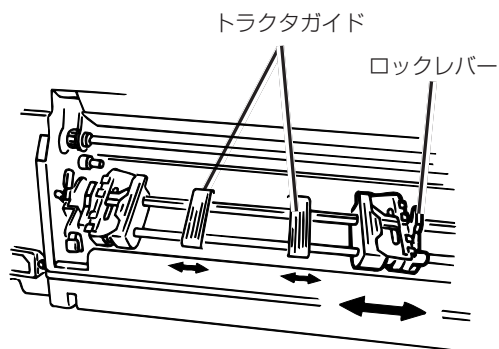
ト	ラ	ク	タ		リ	ア	P	U	S	H					

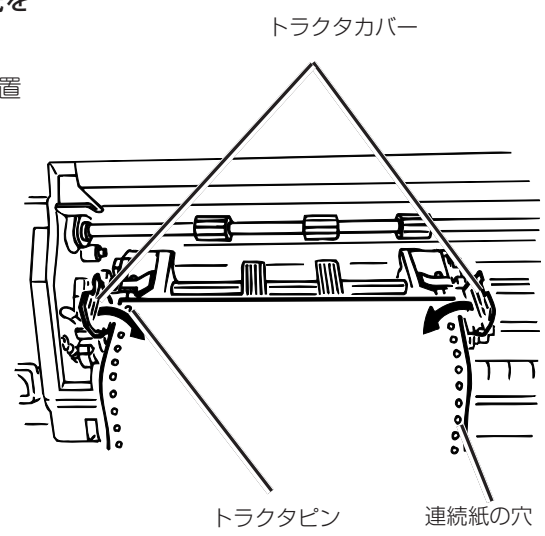
“トラクタ　リアPULL”と表示される場合は、リアトラクタの切り替えが必要です。切り替え方法は「連続紙の切り替え」（64ページ）を参照してください。
リアプルトラクタからリアプッシュトラクタへの切り替えは電源がOFFの状態で行ってください。電源スイッチがONの状態で切り替えを行うと「AL-89　TRACTOR」エラー（164ページ）になります。

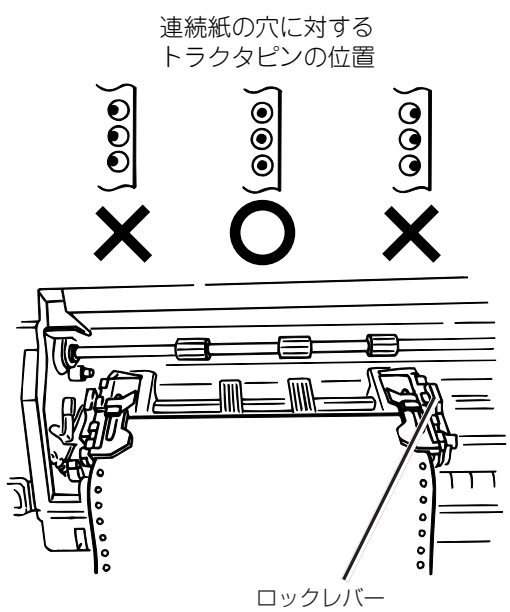
4 用紙厚設定レバーを「自動」に合わせる。

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)を参照してください。

5 プリンタ背面から見て左端のトラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印刷位置を合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

カバー上の「一文字目▲」または菱形孔は1文字目の中心を示しています。

6 プリンタ背面から見て右側のトラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動する。

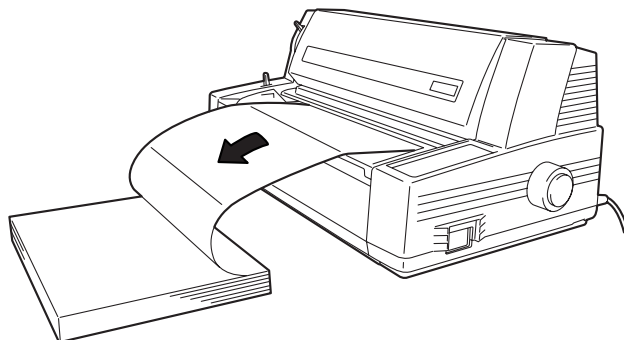
トラクタガイドは、下から持ち上げるようにして外し、中央に移動させ、下へ押してはめ込みます。

7 左右のトラクタカバーを開いて連続紙をセットし、トラクタカバーを閉じる。

左右の連続紙の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意してください。

8 プリンタ背面から見て右側のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

このとき、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎのないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

9 スタッカを元に戻し、[吸入/退避]スイッチを押す。

連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯して印刷可ランプが点灯します。

排出とスタック

印刷した連続紙はプリンタ前面に排出されるので、下図のようにスタックして(折りたたんで)ください。(連続紙の置き方については「連続紙の置き方」(42ページ)を参照してください。)

用紙のカット

リアプッシュトラクタ使用時に連続紙をカットするには、ミシン目のカット位置を用紙排出口上部にあるペーパカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の3つがあります。

通常時は、「自動カット位置送り機能」はOFFに設定されています。
なお、印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」、「自動カット位置送り機能」は働きません。

カット機能を使う

カット機能とは、連続紙のミシン目位置を用紙排出口上部にあるペーパカッタまで送り出し、手でミシン目をカットした後、次のページの先頭位置(用紙の吸入位置)まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙を無駄なく使用することができます。
カット機能を使ってきちんとミシン目位置でカットできるようにするには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定方法は「設定の手順」(106ページ)を参照してください。

1 **[排出/カット]スイッチを押す。**

連続紙がカット位置まで送られます。カット位置を微調整する必要がないときは手順4(47ページ)に進んでください。

[排出/カット]スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯)になります。

SEL
印刷可

3 **[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押すと、ディスプレイに“カット　イチ　ホセイ　トラクタ　リアPUSH”(フロントプッシュトラクタの場合は“カット　イチ　ホセイ　トラクタ　フロントPUSH”)と表示されるので、[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、ミシン目がペーパカッタの真下にくるように調節する。**

[▲]スイッチと[▼]スイッチの機能は次の表のとおりです。

ADJ.MODE
微調モード

カ	ッ	ト		イ	チ		ホ	セ	イ						
ト	ラ	ク	タ		リ	ア	P	U	S	H					

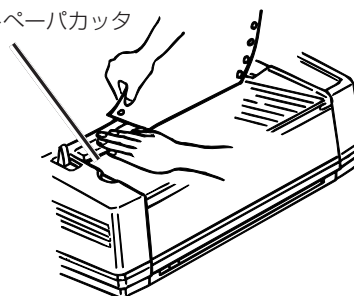
▲ LF 改行　または　▼ T.O.F 改頁

スイッチ	1回押す	1秒以上押す
[▲]スイッチ	約0.4mm(2/120インチ)順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼]スイッチ	約4.2mm(20/120インチ)逆方向に用紙を送る	(連続動作なし)

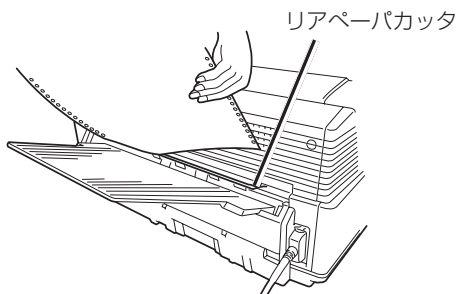
ヒント

- 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約ー4.2mm(ー20/120インチ)〜約4.2mm(20/120インチ)です。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

4 **用紙を引き上げ、ペーパカッタを利用して連続紙をカットする。**

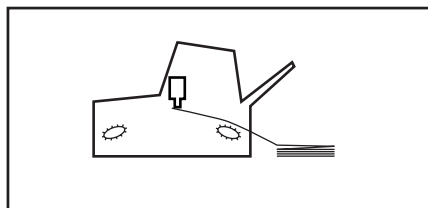
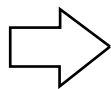
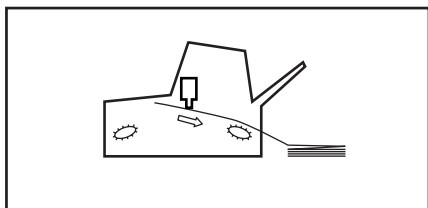
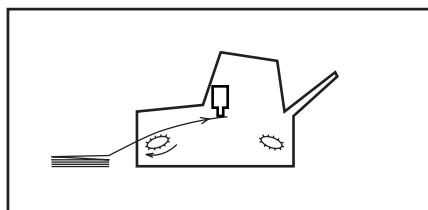
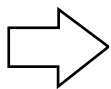
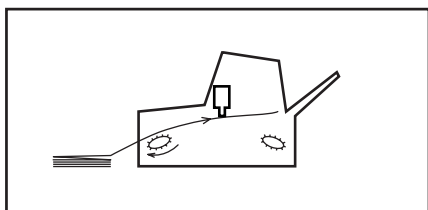
リアプッシュトラクタではプリンタ前面のフロントペーパカッタで用紙をカットします。

<リアプッシュトラクタの場合>

フロントプッシュトラクタではプリンタ背面のリアペーパカッタで用紙をカットします。

連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分は、ペーパカッタではきれいにカットできません。

<フロントプッシュトラクタの場合>

5 連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。

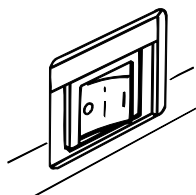
自動動作を待たなくても、もう一度[排出/カット]スイッチを押すと、用紙がすぐ戻ります。

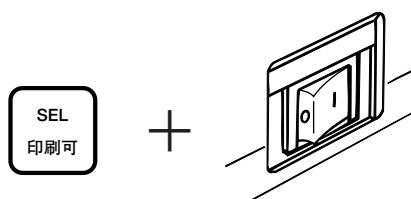
排出
カット

<リアプッシュトラクタの場合>

<フロントプッシュトラクタの場合>

自動カット位置送り機能を使う

印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。
メモリスイッチ4-2(MSW4-2)で自動カット位置送り機能をONにします。設定方法は以下のとおりです。

1 **電源をOFFにする。**

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押しながら電源をONにする。**

ディスプレイに“ハ゜ラメータ　セッテイ”と表示されたら[SEL/印刷可]スイッチから指を放します。

ハ	゜	ラ	メ	ー	タ		セ	ッ	テ	イ					

3 **[SEL/印刷可]スイッチを１回押す。**

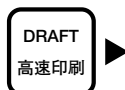
ディスプレイに“メモリスイッチ　セッテイ”と表示されます。

SEL
印刷可

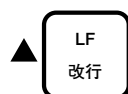
メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ				

4 **ディスプレイに“ＭＳＷ４ー2 00110000”と表示されるまで、[▶]スイッチを数回押す。**

[◀]を押すごとに、ひとつ前の設定項目に戻ることができます。

▶

M	S	W	4	ー	2										
0	0	1	1	0	0	0	0								

5 **[▲]スイッチを押し、ディスプレイに“MSW4ー2　01110000”と表示させる。**

▲

M	S	W	4	ー	2										
0	1	1	1	0	0	0	0								

6 [SEL/印刷可]スイッチを3回押して、メニューモードを終了する。

これで設定完了です。

また、必要に応じて下記の「補足説明」を参考にしてください。

補足説明

用紙がカット位置に送られた後、連続紙をカットした、しないにかかわらず、一定時間*で自動的に次の印刷位置まで用紙が戻ります。
カットできなかった場合はプラテンノブもしくは[排出/カット]スイッチを押して、もう一度用紙をカット位置まで送り直してカットしてください。

* あらかじめ、ハードウェア設定モードでカット位置からの自動戻り時間を「無し」にすることもできます。（設定方法は「スペシャルメニューモード」（112ページ）をご覧ください。）
自動戻り時間を「無し」に設定した場合は、用紙をカットした後[排出/カット]スイッチを押して、次の印刷位置まで用紙を戻してください。

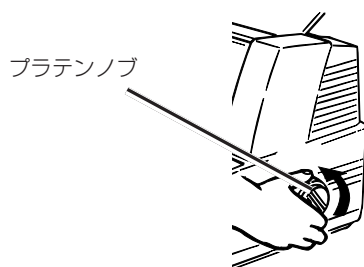
ヒント

頻繁に用紙のカットをされない場合は、障害が発生する可能性が高くなるので自動カット位置送り機能をOFFにして使用することをお勧めします。

プラテンノブを使う

プラテンノブを手で回して、手動で連続紙をカット位置まで送り出す方法です。

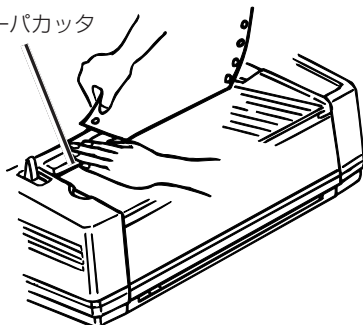
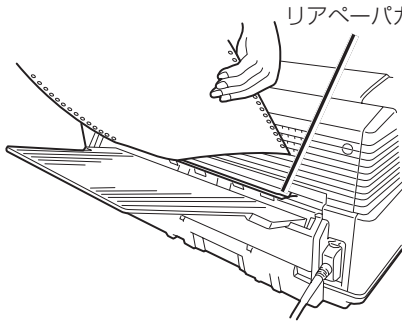
1 プリンタ前面のペーパカッタにミシン目がそろうまで、プラテンノブを反時計回りに回す。（リアプッシュトラクタの場合）

フロントプッシュトラクタの場合は、プラテンノブを時計回りに回してください。

〈リアプッシュトラクタの場合〉

〈フロントプッシュトラクタの場合〉

2 連続紙を引き上げ、ペーパカッタを利用してカットする。

リアプッシュトラクタではプリンタ前面のフロントペーパカッタで用紙をカットします。

フロントプッシュトラクタではプリンタ背面のリアペーパカッタで用紙をカットします。

〈リアプッシュトラクタでの用紙のカット〉

〈フロントプッシュトラクタでの用紙のカット〉

3 プラテンノブを時計回りに回して、連続紙を次の印刷開始位置まで戻す。（リアプッシュトラクタの場合）

フロントプッシュトラクタの場合はプラテンノブを反時計回りに回してください。

連続紙を取り除く

連続紙を取り除く場合は、[吸入/退避]スイッチを押し、連続紙の先端をセット位置まで一時退避させてから連続紙をトラクタから外します。

フロントプッシュトラクタでの用紙のセット

連続紙をプリンタ前面から給紙し、プリンタ背面に排出する方式です。使用する連続紙の種類が多く、連続紙を頻繁に取り替えてセットすることが多いが、カットすることが少ない場合はこの方式が便利です。
また、リアプッシュトラクタと併用することにより、2種類の連続紙を自動的に切り替えて使用することもできます。（この場合は、もう1種類の連続紙はプリンタ背面からオートローディングで給紙し、プリンタ前面へ排出するセット方法となります。）

セットと吸入

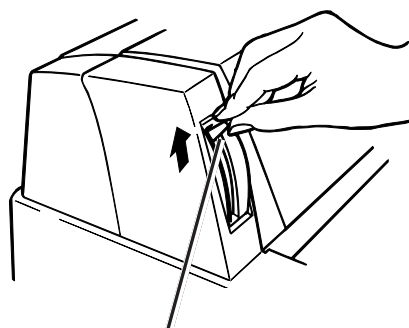
1 **電源スイッチをONにする。**

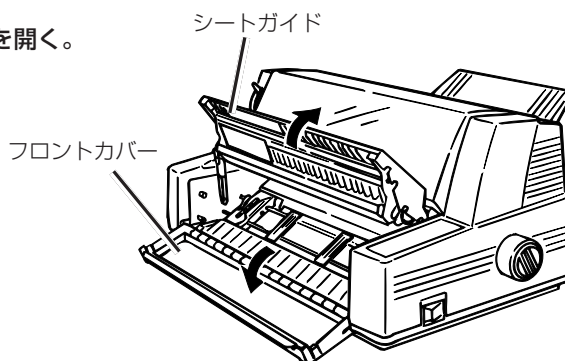
2 **ディスプレイの下段に“トラクタ　フロント PUSH”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

用紙
選択

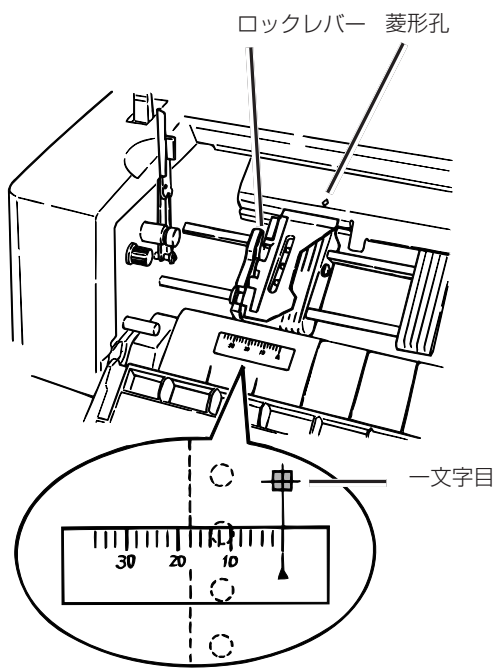
ト	ラ	ク	タ		フ	ロ	ン	ト	P	U	S	H			

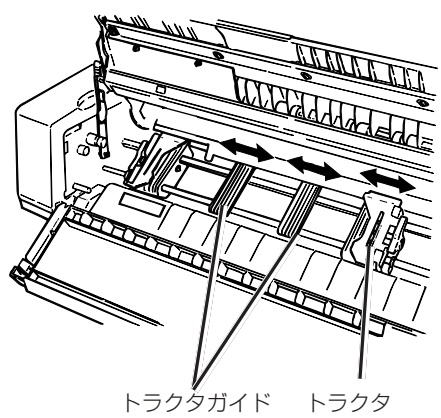
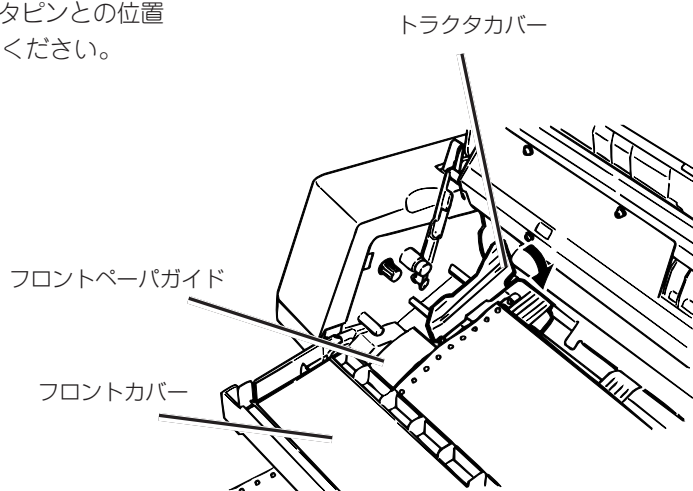
3 **用紙厚設定レバーを「自動」に合わせる。**

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」（86ページ）を参照してください。

4 **電源スイッチをOFFにする。**

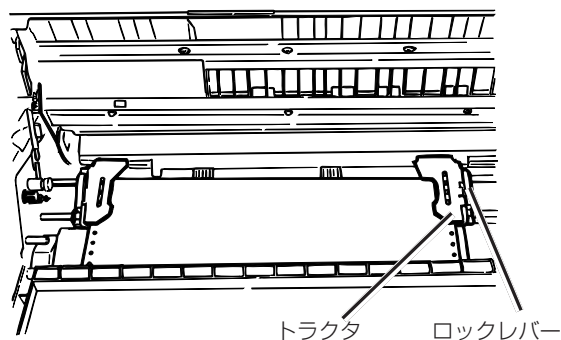
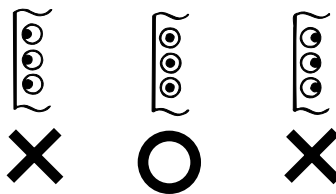
5 **シートガイドおよびフロントカバーを開く。**

6 プリンタ前面から見て左端のトラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印刷位置を合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

ヒント

フロントペーパガイド(L)上の「▲」は1文字目の中心を示しています。また、菱形孔も1文字目の中心を示しています。

7 プリンタ前面から見て右側のトラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動する。

トラクタガイドは、下から持ち上げるようにして外し、中央に移動させ下へ押してはめ込みます。

8 左右のトラクタカバーを開いて、連続紙をフロントペーパガイドとフロントカバーの間から挿入してセットし、トラクタカバーを閉じる。

左右の連続紙の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意してください。

9 プリンタ前面から見て右側のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎのないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

10 フロントカバーおよびシートガイドを閉じる。

ヒント

シートガイドを閉じるときは、シートガイドを上に持ち上げ左端の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。

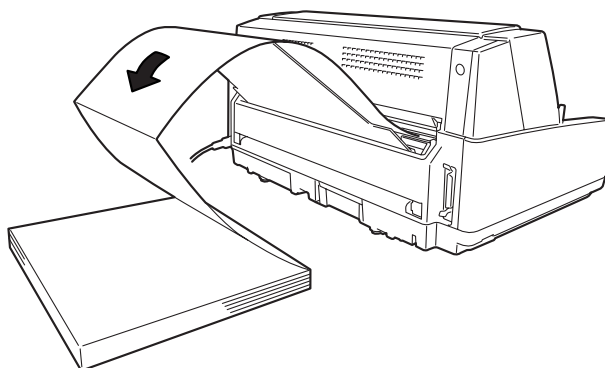
11 電源スイッチをONにする。

12 [吸入/退避]スイッチを押す。

連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯し印刷可ランプが点灯します。

排出とスタック

印刷した連続紙はプリンタ背面に排出されるので、下図のようにスタックして(折りたたんで)ください。

フロントプッシュトラクタの場合はスタッカの取り付け方法が異なります。「2 スタッカを取り付ける」(22ページ)を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。

用紙のカット

フロントプッシュトラクタ使用時に連続紙をカットするには、ミシン目カット位置をプリンタ背面の用紙排出口上部にあるリアペーパカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の3つがあります。

- カット機能を使う([排出/カット]スイッチを押す) ・・・46ページ
- 自動カット位置送り機能を使う ・・・・・・・・・・・・・49ページ
- プラテンノブを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50ページ

通常時は、「自動カット位置送り機能」はOFFに設定されています。
なお、印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」、「自動カット位置送り機能」は働きません。

連続紙を取り除く

連続紙を取り除く場合は、[吸入/退避]スイッチを押し、連続紙の先端をセット位置まで一時退避させてから連続紙をトラクタから外します。

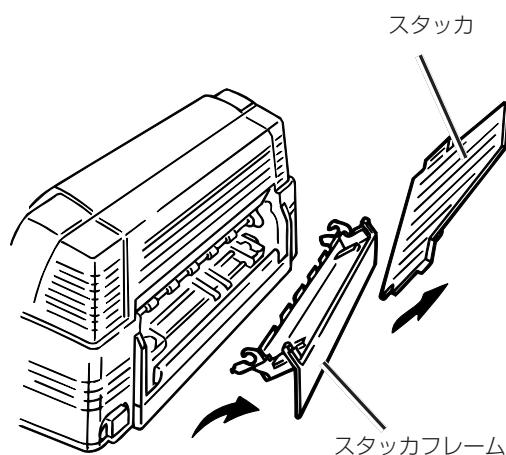
リアプルトラクタでの用紙のセット

連続紙をプリンタの前面から給紙し、プリンタ背面に排出する方式です。連続紙をリアトラクタで引っ張った状態で印刷されます。

セットと吸入

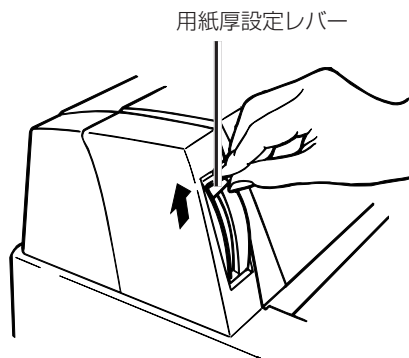
1 電源スイッチをONにする。

2 スタッカおよびスタッカフレームを外す。

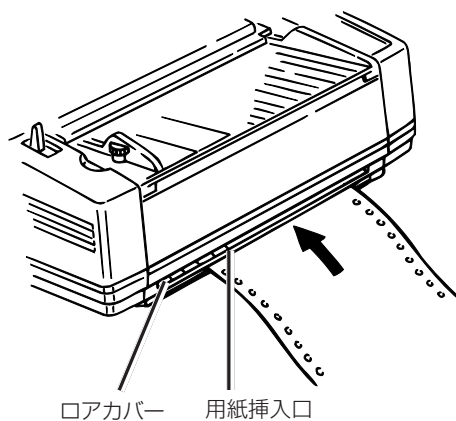
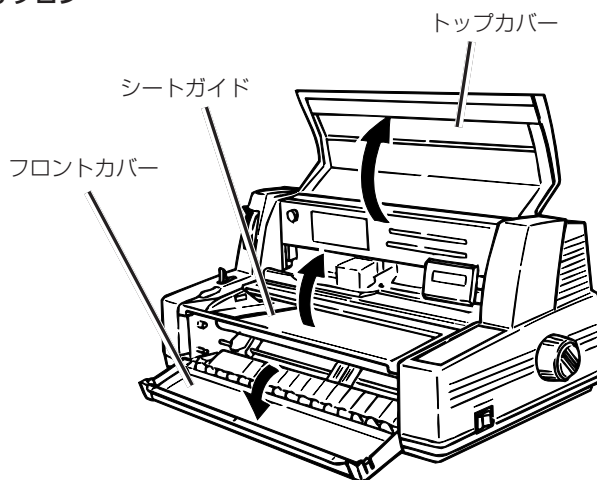
スタッカフレームは、少し上に持ち上げるようにして手前に引いて外してください。

3 ディスプレイの下段に“トラクタ　リア PULL”と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。

“トラクタ　リアPUSH”と表示される場合は、リアトラクタの切り替えが必要です。切り替え方法は「連続紙の切り替え」(64ページ)を参照してくだい。
リアプッシュトラクタからリアプルトラクタへの切り替えは電源がOFFの状態で行ってください。電源スイッチがONの状態で切り替えを行うと「AL-89　TRACTOR」エラー(164ページ)になります。

4 用紙厚設定レバーを「自動」(一番上の位置)に合わせる。

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)を参照してください。

5 電源スイッチをOFFにする。

6 印刷する面を上にして、ロアカバー下側の用紙挿入口から軽く突き当たるまで差し込む。

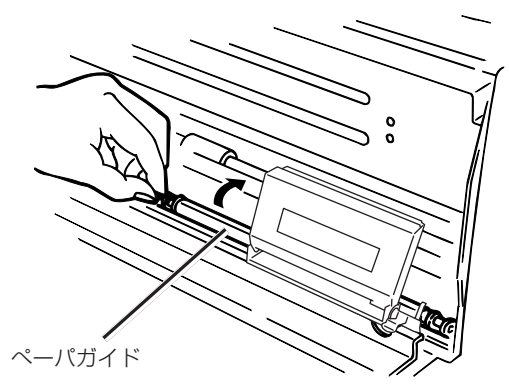
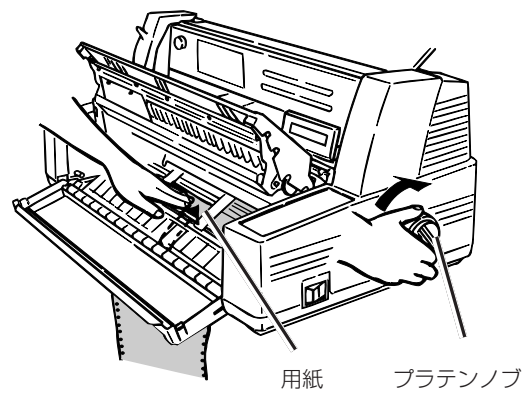
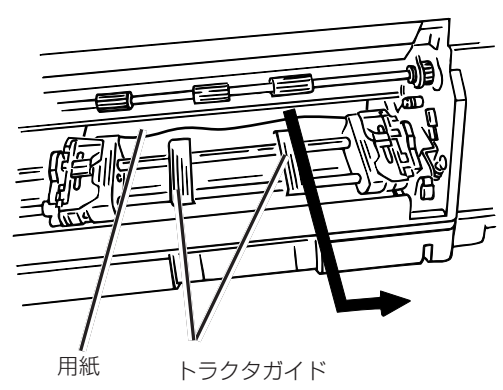
用紙は用紙挿入口の右端から差し込んでください。

7 トップカバー、シートガイド およびフロントカバーを開く。

8 ペーパガイドをプラテン側に静かに倒す。

印刷ヘッドがペーパガイドの前にあるときは印刷ヘッドを左に移動してください。

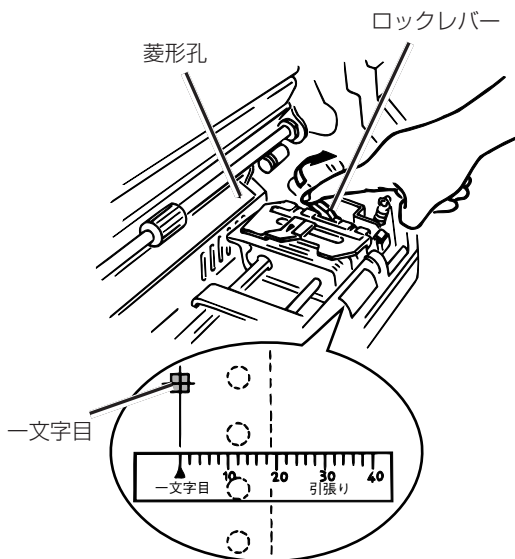
注意

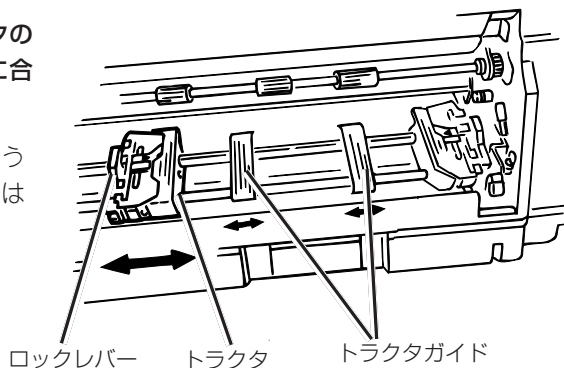
印刷直後は印刷ヘッドが高温になっているので、印刷ヘッドに触らないでください。

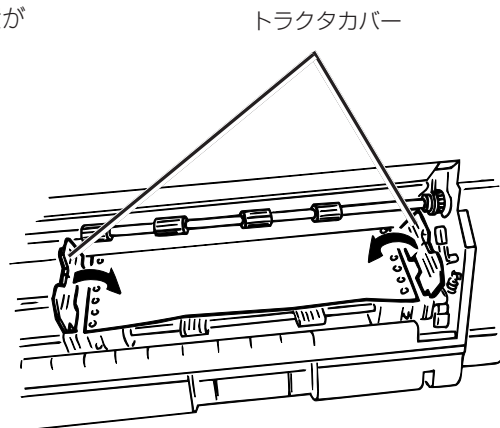
チェック

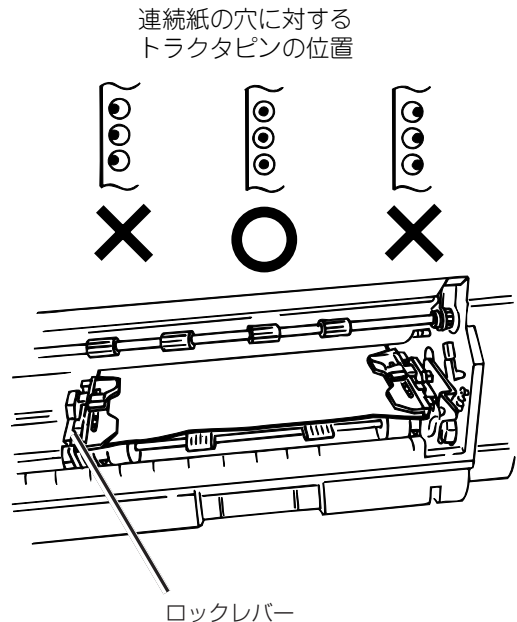
この操作は、忘れずに行ってください。ペーパガイドは用紙をリアトラクタへのルートに正しく導くためのガイドです。

9 用紙を手で押しながらプラテンノブを回して、用紙をプリンタ背面に送り出す。

10 トラクタの手前まで用紙を送り出したら、用紙を挿入側と排出側で持ち、プリンタの背面から見て右端にずらす。

11 プリンタ背面から見て右端のトラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印刷位置を合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

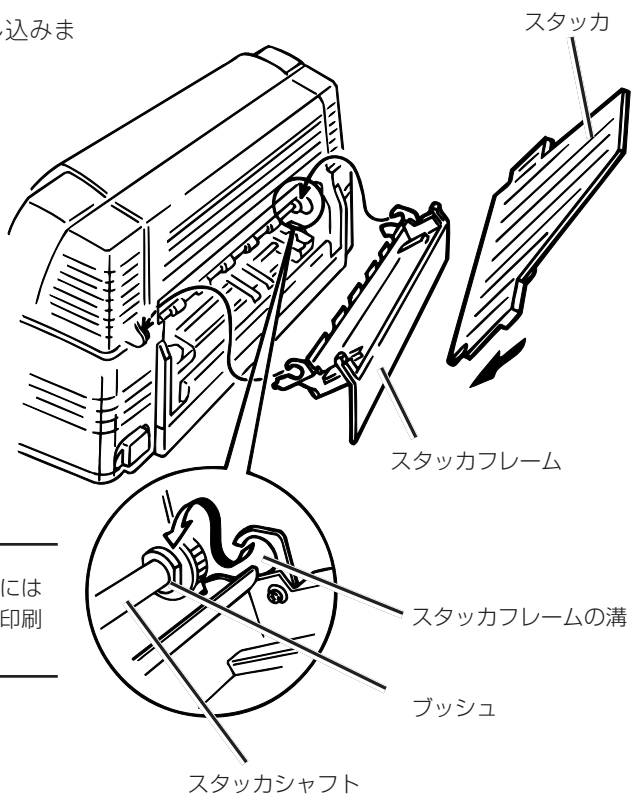
ヒント

カバー上の「一文字目▲」または菱形孔は1文字目の中心を示しています。

12 プリンタ背面から見て、左側のトラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動する。

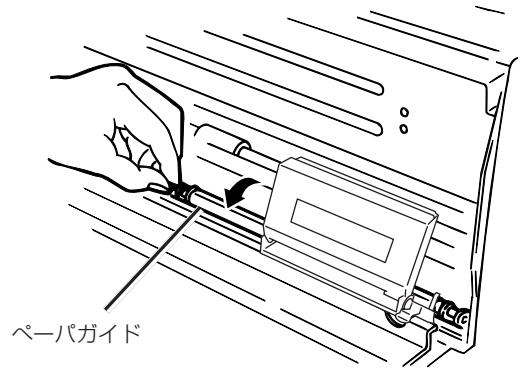
トラクタガイドは、下から持ち上げるようにして外し、中央に移動させ下へ押してはめます。

13 左右のトラクタカバーを開いて連続紙をセットし、トラクタカバーを閉じる。

左右の連続紙の穴とトラクタピンの位置がずれないように注意してください。

14 プリンタ背面から見て左側のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定する。

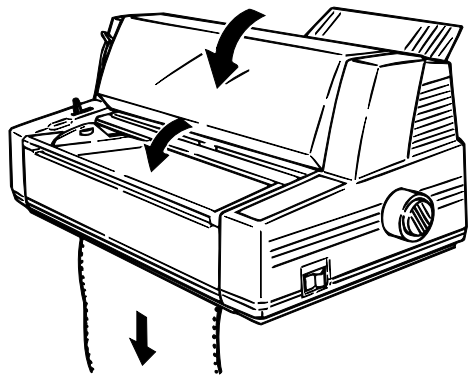
連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎのないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

15 スタッカフレームの溝をスタッカシャフトのブッシュに引っ掛けて取り付ける。

スタッカをスタッカフレームに差し込みます。

スタッカフレームは、ブッシュに確実にはめ込んでください。カット紙排出時、印刷汚れや破れの原因になります。

16 ペーパガイドを手前に戻す。

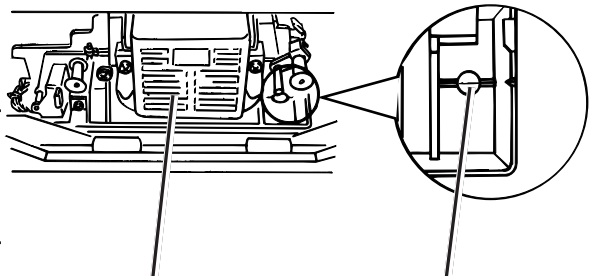
ペーパガイドの戻し忘れは「AL-90 GUIDE」エラー(164ページ)になりますので、戻し忘れのないようにしてください。

17 フロントカバー、シートガイドおよびトップカバーを閉じる。

挿入側の用紙を引っ張り、たるみや曲がりをなくします。

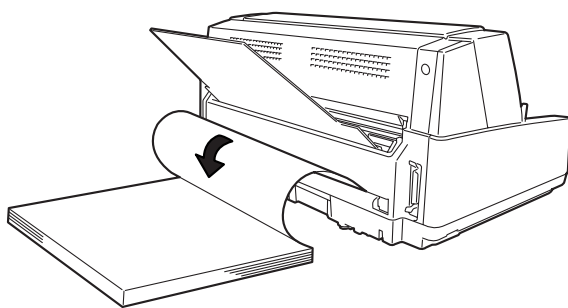
シートガイドを閉じるときは、シートガイドを上に持ち上げ、左端の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。

18 電源スイッチをONにする。

19 一文字目印刷位置を合わせる。

ディセレクト状態で[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押して用紙位置移動モードを起動します。[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して用紙を微小送りして合わせます。

用紙の位置合わせは用紙位置移動モードで行ってください。プラテンノブ操作で行うと、改行ずれが発生します。

20 電源スイッチをOFFにし、もう一度ONにする。

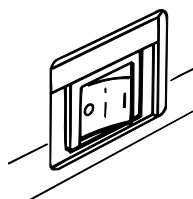
排出とスタック

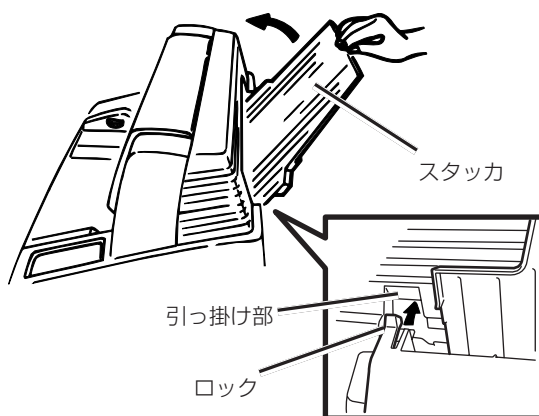
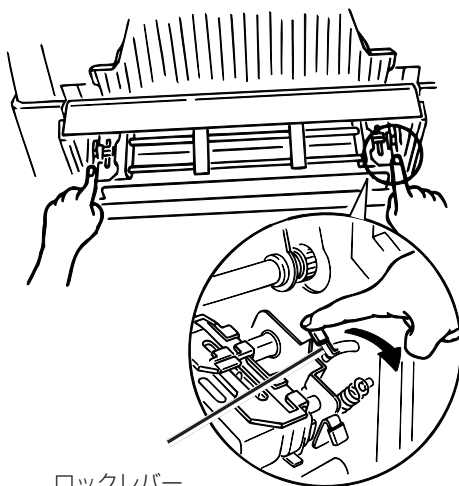
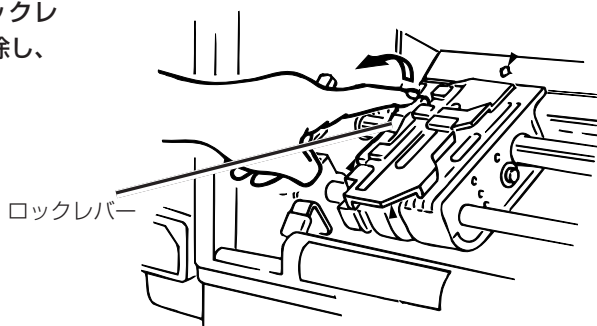
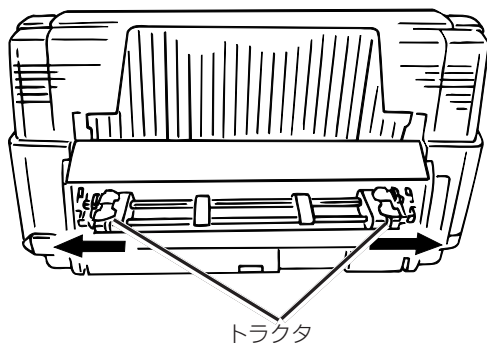
印刷した連続紙はプリンタ背面に排出されるので、下図のようにスタックして(折りたたんで)ください。(連続紙の置き方については「連続紙の置き方」(42ページ)を参照してください。)

連続紙の切り替え

このプリンタには、連続紙の紙送り方法として、フロントプッシュトラクタ、リアプッシュトラクタとリアプルトラクタがあります。
フロントプッシュトラクタとリアプッシュトラクタの切り替えは[用紙選択]スイッチを押すことで行うことができます。
リアプルトラクタとリアプッシュトラクタとの切り替えについては以下の手順で行ってください。また、切り替えを行う前に用紙は排出しておいてください。（連続紙の排出方法は「連続紙を取り除く」（56ページ）を参照してください。

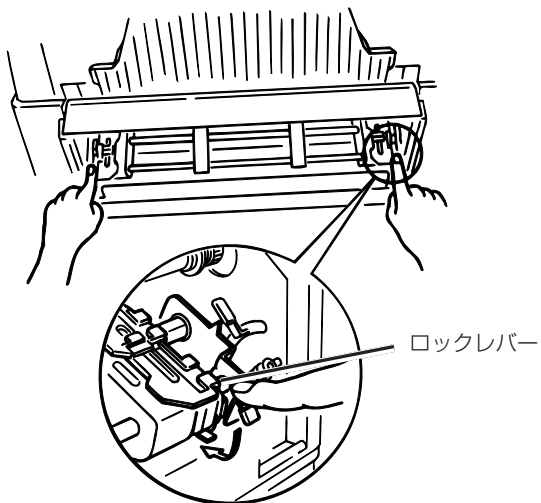
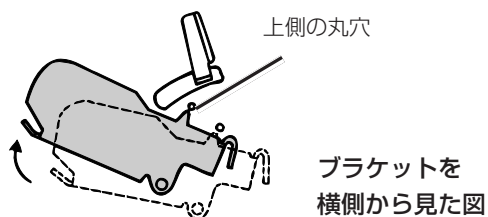
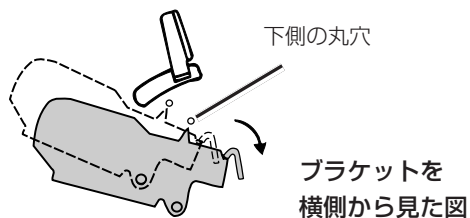
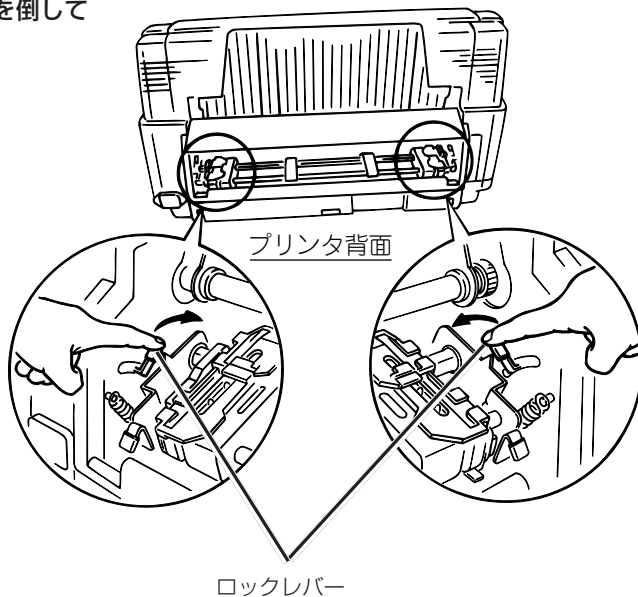
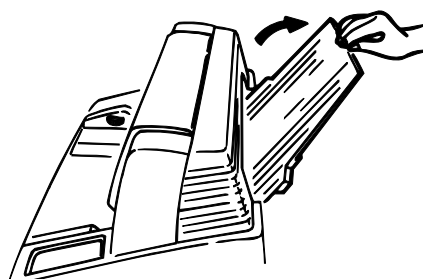
1 電源スイッチをOFFにする。

⚠ 注意

電源スイッチをOFFにしてください。電源スイッチをONにしたまま本作業を行うと突然プリンタが動作してけがをするおそれがあります。

2 スタッカをロックする。

スタッカフレームを持ち上げてスタッカフレームのツメをプリンタ背面の引っ掛け部に押し込みます。

3 奥にある左右のロックレバー(青)を手前に引いてロックを解除する。

4 手前にある左右のトラクタのロックレバー(白)を押し下げてロックを解除し、トラクタを両端に移動する。

5 手前にある左右のつまみ(青)を同時に矢印方向に押し下げる。

ヒント

左右のトラクタを両端に移動させないと、つまみを押し下げられません。

リアプッシュトラクタの場合は押し込んだ後、ブラケットの矢印が上側の丸穴と一致していることを確認してください。

リアプルトラクタの場合は押し込んだ後、ブラケットの矢印が下側の丸穴と一致していることを確認してください。

6 奥にある左右のロックレバー(青)を倒してロックする。

7 スタッカを元に戻す。

8 電源スイッチをONにし、ディスプレイの下段に"トラクタ　リアPUSH"または“トラクタ　リアPULL”と表示していることを確認する。

カット紙をセットする

カット紙はシートガイドまたはシートフィーダ(オプション)にセットすることができます。ここではシートガイドにセットする方法について説明します。シートフィーダにセットする方法は「シートフィーダ」(135ページ)をご覧ください。

使用できるカット紙の確認

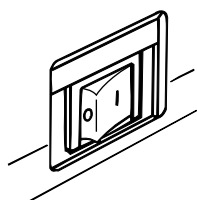
「付録B 用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)を参照して、お手持ちのカット紙がMultiImpact 700EXで使用できるものであることを確認してください。

用紙のセット

ここでは、カット紙のセット、はがき・往復はがきのセット、封筒のセットの方法について説明します。

カット紙のセット

ここでは普通紙のセットと吸入について説明します。はがきに印刷するときは「はがき・往復はがきのセット」(71ページ)、封筒に印刷するときは「封筒のセット」(75ページ)を参照してください。

1 電源スイッチをONにする。

2 **連続紙がセットされている場合は、印刷されたページをカットし、[吸入/退避]スイッチを押す。**

吸入
退避

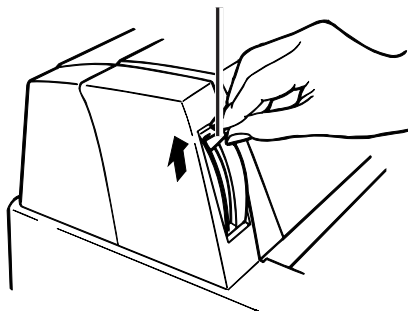
残った用紙は一時退避します。

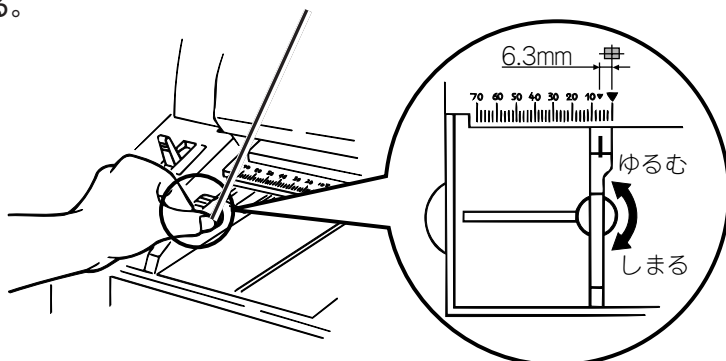
連続紙をカットした後、排出する場合は「連続紙を取り除く」(56ページ)、一時退避する場合は「カット紙と連続紙の切り替え」(80ページ)を参照してください。

3 **ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。**

用紙
選択

4 **用紙厚設定レバーを「自動」にする。**

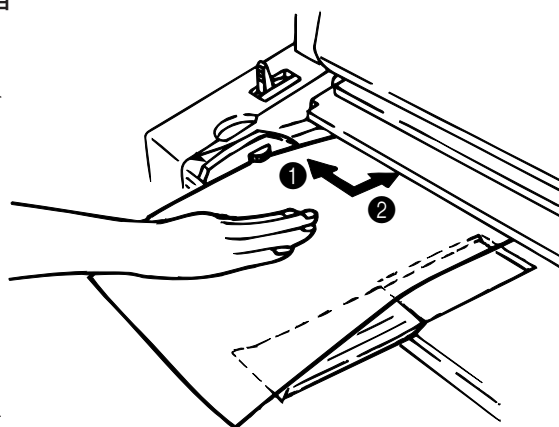
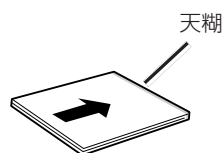
厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)を参照してください。

5 **ペーパガイドのつまみを反時計回りに回してゆるめ、用紙の左端位置に移動し、つまみを時計回りに回して固定する。**

つまみ
6.3mm
ゆるむ
しまる

- 目盛の「一文字目▼」マークは1文字目の中心になります。
- 目盛上の「▼」の位置にすれば、用紙左端より6.3(mm)の位置から印刷を開始します。
- A3横置きに印刷する場合は、ペーパガイドを目盛り上の40の位置に合わせてください。

6 用紙は印刷する面を表にして、左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込む。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

ヒント

一定時間とは、ハードウェア設定の「シートガイド吸入待ち時間選択」で設定した時間です。設定方法は125ページをご覧ください。

- シートガイド中央部にシートガイドサポートが装着されています。用紙長がA4縦(297mm)を超える用紙を使用するときは、シートガイドサポートを引き出してご使用ください。
- 用紙が曲がってセットされたり、印刷位置まで送られなかった場合には、リリースレバーを「開放」にして用紙を抜き取り、リリースレバーを「自動」に戻してセットし直してください。
- 複写式用紙を使用する場合は、印刷する面を上にし、天糊(のり)の方から挿入します。その際、用紙の方向と印刷データの向きを合わせる必要があります。オンラインマニュアルをご覧になり、用紙のフォーマットに合わせて「印刷する向き」を変更してください。

はがき・往復はがきのセット

はがき、往復はがきはカット紙と同じように、シートガイドにセットできます。印刷する際は「ハガキ印刷モード」(73ページ)に設定します。

オプションのシートフィーダを使えば、一度に何枚ものはがきをセットすることができます。シートフィーダの使い方は「シートフィーダ」(135ページ)をご覧ください。

使用できるはがき、往復はがきの確認

MultiImpact 700EXで使用できるはがきの種類は次のとおりです。
詳細は付録B「用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)をご覧になり、印刷可能範囲も合わせて確認してください。

はがきの種類	はがきサイズ	はがき坪量(連量)	用紙セット方向
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m² (135kg相当)	縦置き、横置き
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm		

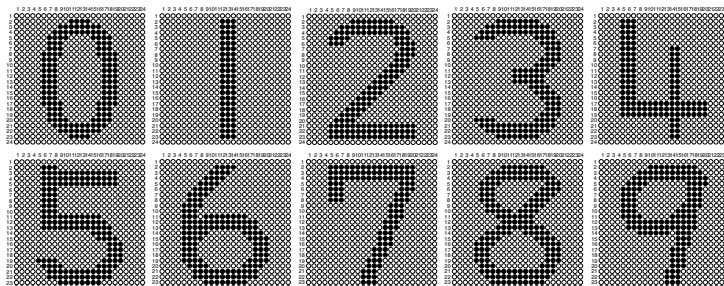
印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

はがき、往復はがきに印刷するときの注意

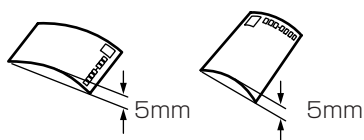
はがき、往復はがきに印刷するときは次のことに注意してください。

- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- 印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70％の場所で行ってください。

ヒント

- 宛先郵便番号を印刷する際にお手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。
- カスタマバーコードを印刷する際はプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルの「特殊文字の印刷」の中の「カスタマバーコードを印刷する」をお読みください。

はがき、往復はがきのカールについて

はがき、往復はがきがカールしていると正しく印刷できない場合があります。次のことに注意してください。

- はがきを保管するときは、はがきのカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。
- はがきがカールしているときは、カールを3mm以下になるように直し、凹部が上側になるようにセットしてください。
- はがきの両面に印刷するときは、片面印刷後、カールを直してから反対面に印刷してください。
- はがきを投函するときは、カールが5mm以下になるように直してください。カールが大きいと、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。

ハガキ印刷モードの選択とはがきのセットと吸入

次の手順で「ハガキ印刷モード」を設定し、シートガイドにはがきをセットします。

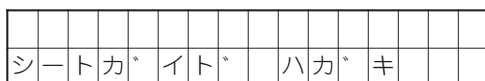
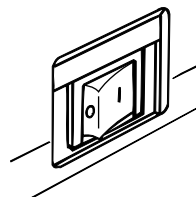
はがきをオプションのシートフィーダにセットするときは、「カット紙のセット」(138ページ)をご覧ください。

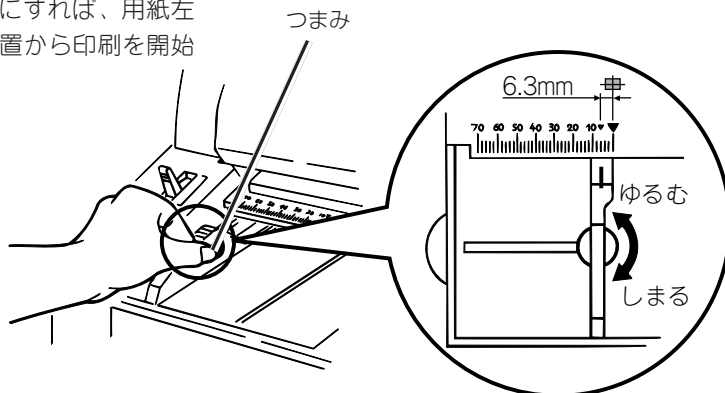
1 **ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。**

2 **プリンタの電源をOFFにする。**

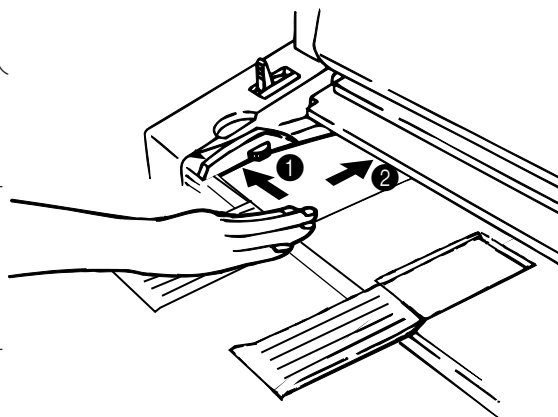
3 **[高速印刷]スイッチを押したまま電源をONにする。**

ディスプレイに“シートカ゛イト゛　ハカ゛キ”と表示されます。

これでプリンタは「ハガキ印刷モード」になります。

4 **ペーパガイドをペーパカッタの左端にある目盛りの「一文字目▼」位置から左方向に6.3mmずらした位置(小さい▽印付近)にセットする。**

- 目盛の「一文字目▼」マークは1文字目の中心になります。
- 目盛上の「▼」の位置にすれば、用紙左端より6.3(mm)の位置から印刷を開始します。

5 **印刷する面を表にし、はがきの左側をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまで、はがきを挿入する。**

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

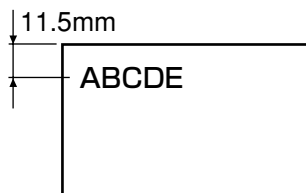
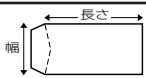
一定時間とは、ハードウェア設定の「シートガイド吸入待ち時間選択」で設定した時間です。設定方法は125ページをご覧ください。

往復はがきに印刷する場合も同じです。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、はがきへの印刷が開始されます。

チェック

- 上記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、電源をOFFにするか強制リセットすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください(120ページ参照)。
- はがきはペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、[排出/カット]スイッチを押して、いったんはがきを排出してからセットし直してください。
- メモリスイッチ4-8(MSW4-8)がONになっていると、はがきは自動吸入されません。この場合ははがきをセット後、[吸入/退避]スイッチを押してはがきを吸入させてください。

はがき吸入位置の微調整

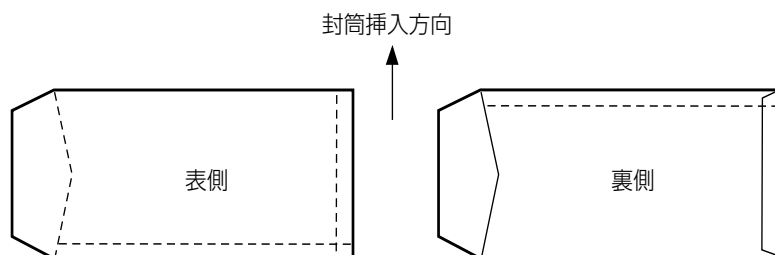
「ハガキ印刷モード」にすると、第1行目の文字中央位置がはがき先端から11.5mmの位置まで吸入されます。吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」(83ページ)をご覧ください。

封筒のセット

シートガイドに封筒をセットする方法について説明します。シートフィーダでは封筒の印刷はできません。

使用できる封筒の確認

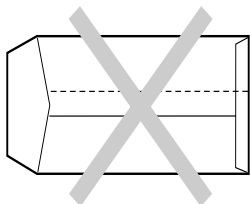
MultiImpact 700EXで印刷できる封筒の種類は次のとおりです。
詳細は付録B「用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)をご覧になり、印刷可能範囲も併せて確認してください。

印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

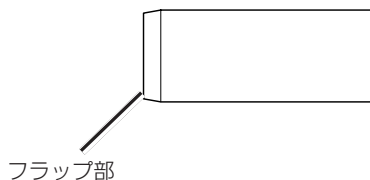
封筒の種類	封筒サイズ (長さ／幅)	封筒坪量*	封筒セット方向
長形4号	幅90mmX長さ205mm	50〜85g/m²	横置きのみ
長形3号	幅120mmX長さ235mm	50〜85g/m²	
角形3号	幅216mmX長さ277mm	70〜85g/m²	
角形2号	幅240mmX長さ332mm	70〜120g/m²	

* 単位は坪量[g/m²]で、坪量とは1m²の質量をグラムで表したものです。

封筒に関する注意

- クラフト紙、ケント紙などでできた封筒を使用してください。
- 裏の中央付近で重ね合わせた封筒、フラップ部にのり付けしてある封筒、二重封筒は使用できません。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。紙づまりの原因となります。
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- 封筒を保管するときは、封筒のカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。

例)裏面の中央付近を重ね合わせた封筒

封筒に印刷するときの注意

封筒に印刷するときは次のことに注意してください。

- 用紙厚設定レバーは「自動」やその他の値に設定すると、印刷が汚れることがあります。クラフト紙封筒70g/m^2、80g/m^2の場合は用紙厚設定レバーを「7」に設定してください。
- 封筒はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、[排出/カット]スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ4-8(MSW4-8)がONになっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、[吸入/退避]スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10〜35℃、環境湿度が45〜70%の場所で行ってください。
- フラップ部は折り曲げないでセットしてください。

封筒のセットと吸入

次の手順で封筒に印刷します。

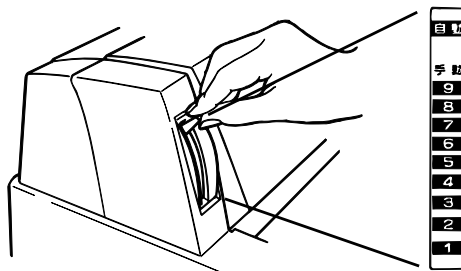
1 **ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示されるまで、[用紙選択]スイッチを押す。**

用紙
選択

シートカ゛イト゛

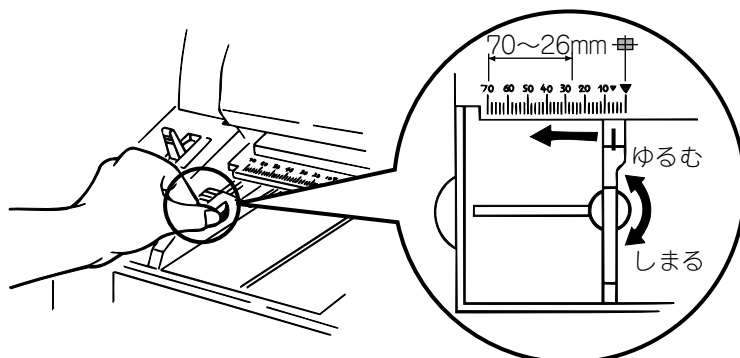
2 **用紙厚設定レバーを最大紙厚に合った位置に合わせる。**

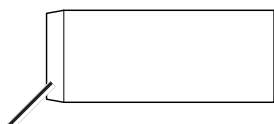
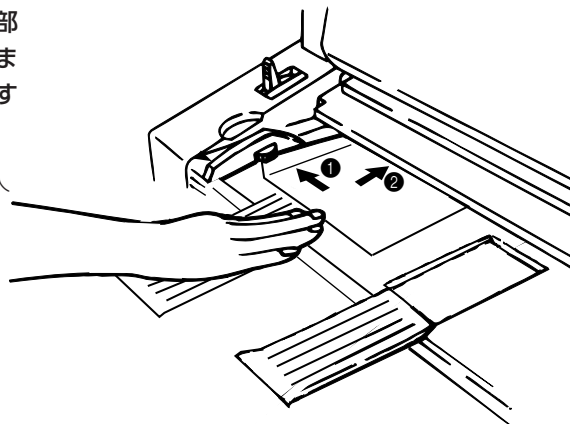
用紙厚レバーの位置については「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)をご覧ください。

「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)

ヒント

- 封筒を印刷する際は、「自動」に設定しないでください。
- クラフト紙封筒70g/m²、80g/m²の場合は用紙厚設定レバーを「7」に設定してください。

3 **ペーパガイドをセットする。**

ペーパガイドは左端から目盛り26mmの間でセットしてください。

4 印刷する面を表にして、封筒のフラップ部の左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまで、封筒を挿入する。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

フラップ部

一定時間とは、ハードウェア設定モードの「シートガイド吸入待ち時間選択」で設定した時間です。設定方法は125ページをご覧ください。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、封筒への印刷が開始されます。

カット紙の排出方法

印刷終了後のカット紙の排出先はシートガイドとスタッカの2通りがあります。それぞれの排出先を設定する方法については以下を参照してください。

複写式用紙に印刷する場合は、プリンタ背面のスタッカに排出してください。複写式用紙をシートガイドへ排出すると紙づまりを起こす原因になります。

シートガイドに排出する

通常、カット紙は自動的にシートガイドに排出されますので、何も設定する必要はありません。

スタッカに排出する

スタッカに排出する場合は次のいずれかの方法で設定してください。スタッカには約200枚(A4サイズ坪量64g/m²(連量55kg相当)の用紙の場合)のカット紙をスタックする(積み重ねる)ことができます。

- メモリスイッチ4-6(MSW4-6)をONにして[排出/カット]スイッチを押す。(メモリスイッチの詳しい設定方法は「スペシャルメニューモード」(112ページ)をご覧ください。)
- 制御コードによってスタッカ側への排出を指定する。(詳しくはプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルの「新制御コードのコマンド仕様」をご覧ください。)

カット紙と連続紙の切り替え

ここでは、リアプッシュトラクタまたはフロントプッシュトラクタ使用時のカット紙と連続紙の切り替えについて説明します。リアプルトラクタ使用時にはカット紙への切り替えはできません。

カット紙から連続紙への切り替え

カット紙をセットしている状態から、連続紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順を示します。

1 カット紙を取り除く。

［排出/カット］スイッチを押してカット紙を排出します。シートガイドに排出された用紙は取り除いてください。

排出
カット

2 連続紙をセットする。

連続紙のセット方法は「連続紙をセットする」（40ページ）を参照してください。

3 ディスプレイの下段に"トラクタ　リア　ＰＵＳＨ"または"トラクタ　フロント　PUSH"と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙
選択

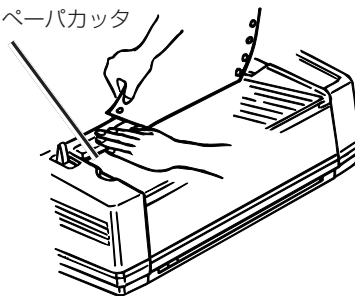
トラクタ　フロントPUSH

連続紙からカット紙への切り替え

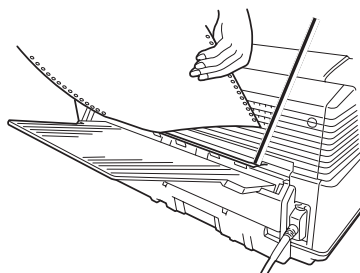
リアプッシュトラクタまたはフロントプッシュトラクタで連続紙をセットしている状態からカット紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順を示します。

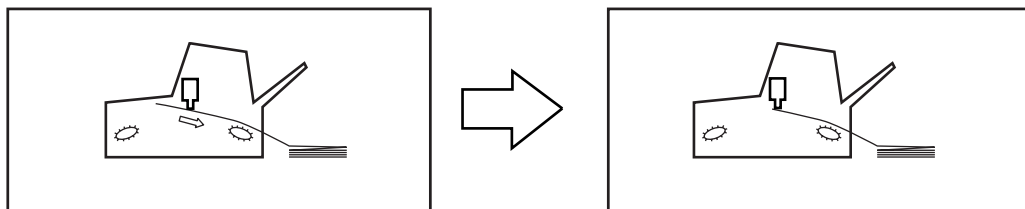
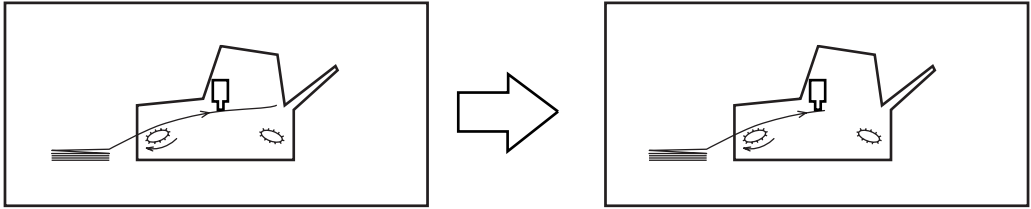
1 印刷の終了した連続紙を、印刷したページの終わりでカットする。

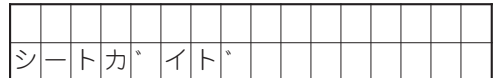
リアプッシュトラクタではプリンタ前面のフロントペーパカッタで用紙をカットします。

フロントプッシュトラクタではプリンタ背面のリアペーパカッタで用紙をカットします。

＜リアプッシュトラクタの場合＞

＜フロントプッシュトラクタの場合＞

- 連続紙のカットはミシン目にそって、まっすぐカットしてください。
- プリンタ前面または背面に連続紙が大量に排出されている場合は、カットせずに連続紙を戻すと紙づまりの原因となります。連続紙をカットしてから作業を行ってください。

2 [吸入/退避]スイッチを押し、連続紙を一時退避させる。

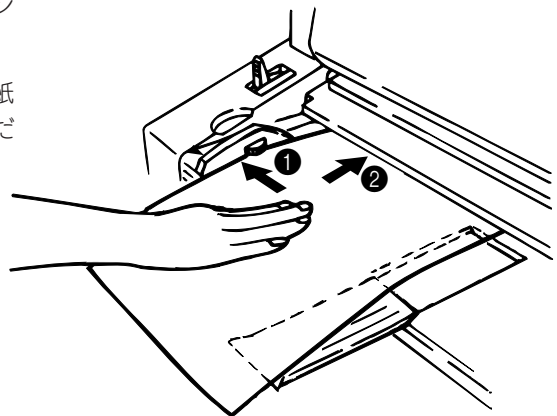
連続紙がセット位置に戻ることを「一時退避」といいます。

＜リアプッシュトラクタの場合＞

＜フロントプッシュトラクタの場合＞

3 ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。

シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

4 カット紙をセットする。

用紙は印刷する面を表にして、左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

カット紙が自動的に吸入され、印刷可ランプが点灯します。

カット紙の詳しいセット方法は「カット紙をセットする」(68ページ)を参照してください。

用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はリアプッシュトラクタ、フロントプッシュトラクタ、シートガイド、シートフィーダ、はがきのそれぞれに設定できます。たとえばカット紙吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのカット紙の吸入位置になりますが、連続紙やはがきの吸入位置には影響しません。
シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整については、144ページをご覧ください。

次の方法で微調整を行ってください。

1 用紙をセット・吸入する。

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、[吸入/退避]スイッチを押して用紙を吸入します。

吸入
退避

2 [SEL/印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

SEL
印刷可

3 [ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押して微調モードにした後、[▲]スイッチと[▼]スイッチを使って用紙吸入位置を微調整する。

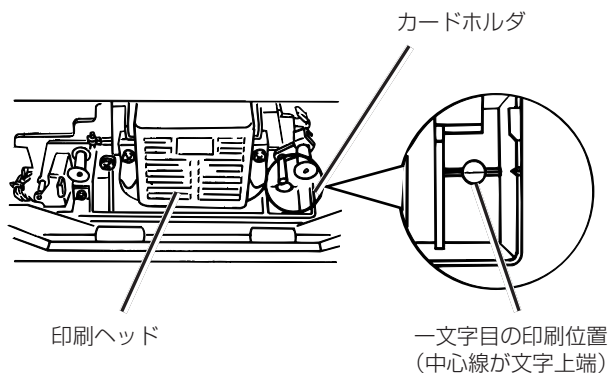
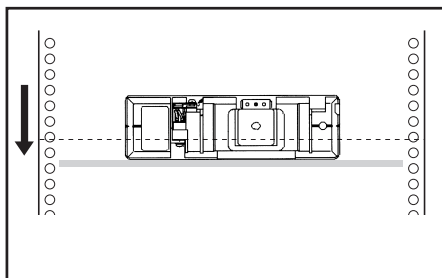
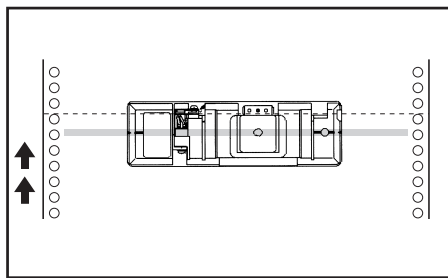
ディスプレイ上段に、右のように表示されます。

まず[▼]スイッチで用紙を多めに戻してから[▲]スイッチで微調整するようにしてください。

カードホルダの右にある丸穴に第1印刷行が来るので、用紙吸入位置を調整するときの目安にしてください。

セ	ッ	ト		T	O	F		X	X	X	.	X	m	m	

ヒント

- カードホルダは、インクリボンカートリッジを取り外すと見やすくなります。
- 用紙吸入直後以外は吸入位置の微調整はできません。

① 多めに戻す

② 少しずつ送る

[▲]スイッチと[▼]スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1回押す	1秒以上押す
[▲]スイッチ	約0.4mm(2/120インチ)順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼]スイッチ	約4.2mm(20/120インチ)逆方向に用紙を送る	(連続動作なし)

4 [SEL/印刷可]スイッチを押す。

新しい吸入位置がMultiImpact 700EXに記憶されます。

補足説明

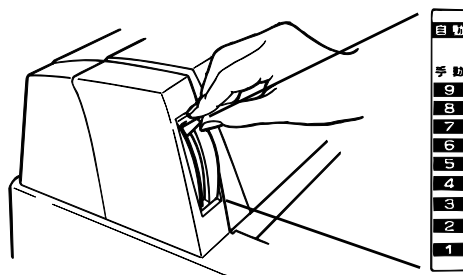
- [▲]スイッチを押し続けると約0.4mm(2/120インチ)単位で連続して用紙送りができます。用紙吸入の工場設定値は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第1印刷行までの距離
カット紙・封筒(シートガイド使用時)	9.73mm(文字下端まで)
カット紙(シートフィーダ使用時)	
連続紙	25.4mm(文字下端まで)
はがき	11.5mm(文字中央まで)

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行(文字下端)までの距離が0〜32.1mmになる範囲です。印刷範囲については付録B「印刷範囲」(180ページ)を参照してください。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ3-3(MSW3-3)で切り替えることができます(123ページ参照)。「記憶しない」設定の場合、次の用紙吸入時は前の微調位置に戻ります。
- シートガイドで設定した微調整量はシートフィーダでは無効となります。シートフィーダ使用時に改めて微調整を設定する必要があります。
- 用紙吸入位置はメニューモードの「書式設定」、あるいは添付のリモートパネルからも調整できます。

用紙の厚さに応じた調整方法

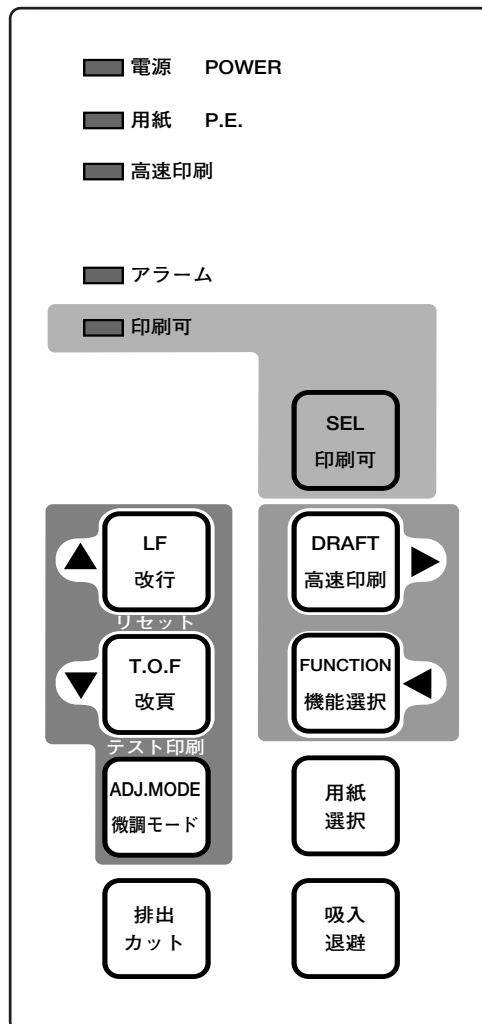
このプリンタは、セットされた用紙の厚さを自動的に測定して最適な印刷圧に調整するオートギャップ調整機能(自動紙厚調整)を備えています。
ただし、用紙の厚さが一様でない特殊な用紙を使用する場合、この機能が十分働きません。
特殊な用紙を使用する場合は、下表に従って用紙厚設定レバーの位置を用紙の厚さに応じてセットしてください。

高複写印刷モード以外でレバー位置8，9を使用した場合、および用紙の厚さと異なったレバー位置で使用した場合、用紙送りおよび印刷ヘッドに不具合を生じるおそれがあります。

用紙種類			用紙厚設定レバーの位置								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
単紙	坪量 52〜81g/m²(連量 45〜70kg)未満		○								
単紙	坪量 81〜128g/m²(連量 70〜110kg)未満			○							
単紙	坪量 128〜156g/m²(連量 110〜135kg)				○						
単紙	はがき					○					
単紙	封筒								○		
複写紙	坪量 40g/m²(連量 34kg)の感圧紙	2枚		○							
複写紙		3枚			○						
複写紙		4枚				○					
複写紙		5枚					○	○			
複写紙		6枚							○		
複写紙		7枚								○	
複写紙		8枚									○
用紙全体の厚さ(mm)			0.06〜0.1	0.1〜0.15	0.15〜0.2	0.2〜0.25	0.25〜0.3	0.3〜0.35	0.35〜0.4	0.4〜0.45	0.45〜0.48

メニューモードで設定変更する

操作パネル

メニューモードを使う前に、まず操作パネルについて知っておく必要があります。操作パネル上には、9個のスイッチと5個のランプがあります。メニューモードでプリンタのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ランプはMultiImpact 700EXの状態やエラーを知らせます。各スイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。

操作パネル

スイッチの基本機能

操作パネルには9個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。その他の機能については、「スイッチの応用機能」(92ページ)をご覧ください。

SEL/印刷可

SEL/印刷可スイッチを押すごとにセレクト状態(データを受信して印刷できる状態、印刷可ランプ点灯)とディセレクト状態(データを受信せず印刷しない状態、印刷可ランプ消灯または点滅)に交互に切り替えます。

- 印刷中にこのスイッチを押すと、印刷が一時的に停止します。もう一度押すと印刷を再開します。
- 微調整モード時にこのスイッチを押すと、設定値をメモリに保存し、セレクト状態に復帰します。

L.F/改行

L.F/改行スイッチを1回押すごとに、用紙を1行分送ります。スイッチを1秒以上押し続けると、連続して用紙を送ることができます。

- 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
- 1行は約4.2mm(1/6インチ)です。
- 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。

T.O.F/改頁

あらかじめ設定された用紙長分の改行を行います。1回押すごとに設定された用紙長に従って次ページの第一印刷行へ改行します。

- 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
- 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。

ADJ.MODE/微調モード

吸入量およびカット位置の微調整を行います。また、[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押しながら[FUNCTION/機能選択]スイッチを押すと、複写力の選択を行うことができます(92ページ)。

- 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
- スイッチを押すと微調モードに入ります。
- 用紙吸入直後またはカット位置送り直後に、このスイッチを押した後、[▲]スイッチ(L.F/改行)または[▼]スイッチ(T.O.F/改頁)を押して上下方向の微調整を行います。(詳しくは、「用紙吸入位置の微調整」(83ページ)をご覧ください。)
- 用紙がセットされている状態で用紙吸入直後以外のとき、[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押すと、用紙位置移動モードになります。このときディスプレイに"ヨウシイチ　チョウセイ"と表示されます。[▲]スイッチ(L.F/改行)または[▼]スイッチ(T.O.F/改頁)を押して上下方向の微調整を行います。

排出/カット

用紙の排出またはカットを行います。

- 連続紙使用時に[排出/カット]スイッチを押すと、連続紙をカット位置まで送ります。もう一度押すと、連続紙を吸入位置まで戻します。(逆方向)
- カット紙使用時に[排出/カット]スイッチを押すと、用紙を排出します。

DRAFT/高速印刷

高速印刷の選択、解除を行います。高速印刷を選択すると、印刷速度を上げて印刷時間を短縮できます。

- スイッチを押すごとに高速印刷の選択/解除を行います。
- 高速印刷が選択されているときは高速印刷ランプが点灯します。
- 高速印刷を選択すると、プリンタは通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので、印刷品質は通常より劣ります。

印刷中は、[DRAFT/高速印刷]スイッチを押さないでください。高速印刷の選択/解除は、印刷が終了していることを確認してから行ってください。

FUNCTION/機能選択

- ディセレクト状態でメニューモードへ切り替えます。
- メニューモードまたはスペシャルメニューモードにおいて、前の機能項目をディスプレイに表示します。
- テスト印刷モードにおいて、現在実行中の印刷モードから次の印刷モードに切り替えます。

用紙選択

用紙の給紙方法を選択します。選択方法は、[用紙選択]スイッチを押して使用する給紙方法をディスプレイに表示します。

給紙方法の種類

- トラクタ フロントPUSH
- トラクタ リアPUSH
- トラクタ リアPULL
- シートガイド
- シートフィーダ(オプション装着時)
- シートガイド　ハガキ*
- シートフィーダ　ハガキ*(オプション装着時)

* ハガキ印刷モード使用時のみ選択可能

吸入/退避

用紙の吸入または退避(排出)を行います。

選択した給紙方法と用紙の状態によって、プリンタの[吸入/退避]の動作が異なります。各設定および用紙の状態での吸入/退避スイッチの機能については、下の表を参照してください。

ディスプレイ	用紙の状態	スイッチの機能
トラクタ フロントPUSH トラクタ リアPUSH	用紙あり	連続紙の退避
	用紙なし	連続紙の吸入
トラクタ リアPULL	ー	ー
シートガイド	用紙セット後	用紙吸入*
	用紙あり	用紙排出
	用紙なし	無効
シートフィーダ	用紙あり	用紙排出後吸入
	用紙なし	用紙吸入

* メモリスイッチ4-8(MSW4-8)OFF(工場設定値)でオートローディング方式に設定している場合は、用紙が自動吸入するため[吸入/退避]スイッチを押すと用紙排出します。

スイッチの応用機能

スイッチには「改行する」、「用紙を選択する」などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

複写力の選択

MultiImpact 700EXは用紙の厚さに応じて自動的に印刷ヘッドと用紙の間隔を調整しますが、複写枚数の多い用紙に印刷するなど、より強い複写力(印刷圧)を必要とする場合は複写力を選択することができます。ただし複写力を強くすると、印刷速度が遅くなります。なお、電源をOFFにしても複写力の設定は消えません。

[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押しながら、[FUNCTION/機能選択]スイッチを押す。

現在の設定状態がディスプレイに表示されます。[ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押したまま[FUNCTION/機能選択]スイッチを押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

ディスプレイの表示と内容は次のとおりです。

ディスプレイ	内容
ツウシ゛ョウ	プリンタが自動で調整します。 通常はこの設定でお使いください。(工場設定)
フクシャ	複写用紙を使用して、さらに複写力を必要とする場合に選択します。

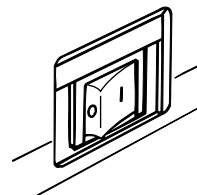
スペシャルメニューモード

MultiImpact 700EXには、プリンタの内部設定を変更するための2つのモードがあります。

- メニューモード：比較的頻繁に設定変更を行う項目（書式設定など）
- スペシャルメニューモード：あまり設定変更を行わない項目（メモリスイッチ設定など）

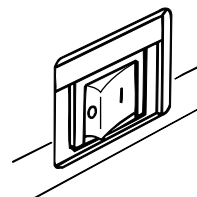
次の方法でスペシャルメニューモードに入ります。

[SEL/印刷可]スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。

ディスプレイに"ハ゜ラメータセッテイ"と表示されます。

ハガキ印刷モード

はがきに適した印刷位置に自動的にはがきを吸入します。

[DRAFT/高速印刷]スイッチを押しながら、電源スイッチをONにする。

DRAFT
高速印刷
▶ +

設定内容のリセット

メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします。ただし、スペシャルメニューモードのハードウェア調整で設定した値はリセットされません。

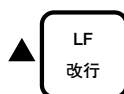
1 **[L.F/改行]スイッチを押しながら電源をONにする。**

ディスプレイに「メモリスイッチ　クリア？　Y：LF　N：TOF」とリセットの再確認を促すメッセージが表示されます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		ク	リ	ア	？				
		Y	：	L	F		N	：	T	O	F				

2 **[L.F/改行]スイッチを押す。**

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は[T.O.F/改頁]スイッチを押します。

テスト印刷

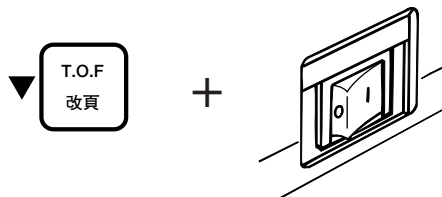
インクリボンカートリッジを交換した後、またはプリンタが故障して、その処置が済んだ後、動作確認をするためにテスト印刷を行います。

1 **用紙をセットする。**

用紙のセット方法については2章「用紙をセットする」(37ページ)をご覧ください。

2 [T.O.F/改頁]スイッチを押しながら、電源スイッチを押す。

ディスプレイに“テストインサツ”と表示され、テスト印刷が開始されます。

- テスト印刷を中断したい場合は[SEL/印刷可]スイッチを押します。
- テスト印刷を終了したい場合は[SEL/印刷可]スイッチを押しながら[L.F/改行]スイッチを2回押します。

テ	ス	ト	イ	ン	サ	ツ									

強制リセット

強制リセットは電源ONの状態にプリンタを戻します。強制リセットを行うとプリンタ内にデータが残っていた場合は消去します。

[SEL/印刷可]スイッチを押しながら[L.F/改行]スイッチを2回押す。

プリンタは強制的に電源ON直後の状態に戻ります。

ヒント

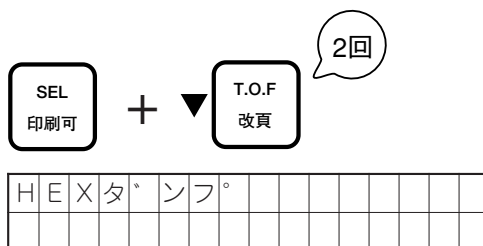
- シートフィーダを装着している場合でプリンタ内にカット紙が吸入されているときは、用紙を排出後、初期化動作を行います。
- 印刷中では、現在印刷中の行の印刷動作終了後に初期化動作を行います。このとき受信バッファ内の印刷データはクリアされます。
- 紙づまり等のアラームおよび復旧不可能エラー発生時は無効です。

HEXダンプモード切り替え

MultiImpact 700EXが受信したデータを16進コードとデータに対応する英数カタカナ文字で印刷します。HEXダンプモードはプログラムで正しく印刷できないときなど、その原因を見つけるために使用します。

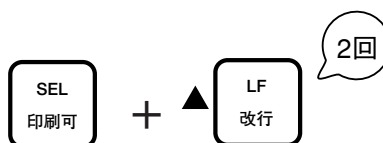
カバーオープンまたは排出アラーム中はHEXダンプモード切り替えを行うことはできません。

1 **[SEL/印刷可]スイッチを押したまま[T.O.F/改頁]スイッチを2回押す。**

HEXダンプモードに切り替わると、ディスプレイに"HEXタ゛ンフ゜"と表示されます。

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが点灯し、印刷可能状態になります。

これでプリンタが受信したデータを16進コードとデータに対応する英数カタカナ文字で印刷されます。

3 **HEXダンプモードを終了するときは、[SEL/印刷可]スイッチを押しながら[L.F/改行]スイッチを2回押してプリンタを強制リセットする。**

ランプの表示

操作パネルには5個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンタの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
電源 POWERランプ	緑	点灯	プリンタの電源がONになっています。
		消灯	プリンタの電源がOFFになっています。
用紙 P.E.ランプ	赤	点灯	用紙がセットされていない状態です。
		点滅	● カット紙がシートガイドに排出されたままの状態です。 ● アラームランプとの同時点滅で用紙ジャム、連続紙ジャム、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。
		消灯	用紙がセットされている状態です。
高速印刷ランプ	橙	点灯	高速印刷モード状態です。
		消灯	通常印刷モード状態です。
アラームランプ	赤	点灯	エラーが発生しました。「修理に出される前に」（11ページ）をご覧ください。ただし、ディスプレイに“AL-89 TRACTOR ハ゜ワーOFFシテクダ゛サイ”または“AL-90 GUIDE ハ゜ワーOFFシテクダ゛サイ”と表示された場合は「エラー表示が出ているときは」（164ページ）をご覧ください。
		点滅	● リリースレバーアラーム、用紙アラームなどの復旧可能エラー状態です。 ● 用紙P.Eランプとの同時点滅は用紙ジャム、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。 「エラー表示が出ているときは」（164ページ）をご覧ください。
		消灯	アラーム、エラーなし状態です。
印刷可	緑	点灯	プリンタがセレクト状態（印刷可能状態）です。
		点滅	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）で、未印刷のデータがプリンタ内に残っています。
		消灯	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）です。

ディスプレイの表示

液晶表示盤のディスプレイには、下図のようにプリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」(163ページ)をご覧ください。

例

<table>
<tr><td>ヨ</td><td>ウ</td><td>シ</td><td></td><td>セ</td><td>ン</td><td>タ</td><td>ク</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>シ</td><td>ー</td><td>ト</td><td>カ</td><td>゛</td><td>イ</td><td>ト</td><td>゛</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

ディスプレイ通常表示(1/2)

表示の種類	表示	表示の意味
電源をONにしたとき、または初期化動作中の表示	イニシャライズ゛　チュウ	プリンタを初期状態に戻しています。
印刷可能状態の表示	セレクト	プリンタが印刷可能な状態になっています。
印刷不可状態の表示	テ゛ィセレクト	プリンタが印刷不可能な状態になっています。
テスト印刷中の表示	テストインサツ	テスト印刷中です。
HEXダンプ中の表示	HEXタ゛ンフ゜	HEXダンプモードになっています。
印刷モードに関する表示	XXX　ツウシ゛ョウ	通常印刷モードになっています。
	XXX　コウソク	高速印刷モードになっています。
	XXX　フクシャ	高複写印刷モードになっています。
用紙モードに関する表示	シートカ゛イト゛	給紙方法がシートガイドになっています。
	シートカ゛イト゛　ハカ゛キ	給紙方法がシードガイドハガキ印刷モードになっています。
	シートフィータ゛	給紙方法がシートフィーダになっています。
	シートフィータ゛　ハカ゛キ	給紙方法がシートフィーダハガキ印刷モードになっています。
	トラクタ　フロントPUSH	給紙方法がフロントプッシュトラクタになっています。
	トラクタ　リアPUSH	給紙方法がリアプッシュトラクタになっています。
	トラクタ　リアPULL	給紙方法がリアプルトラクタになっています。
用紙無し状態での表示	ヨウシヲ　セット　シテクタ゛サイ	用紙がセットされていないために印刷できない状態になっています。
データ/動作保持状態の表示	テ゛ータカ゛ノコッテイマス ヨウシヲ　セット　シテクタ゛サイ	プリンタ内部にデータが残ったまま用紙無し状態になっています。
	テ゛ータカ゛ノコッテイマス セレクト　シテクタ゛サイ	プリンタ内部にデータが残ったままディセレクト状態になっています。

ディスプレイ通常表示(2/2)

表示の種類	表示	表示の意味
印刷動作制限状態	ヘッド゛コウオン カタホウコウインサツチュウ	印刷ヘッドが高温になっているため片方向印刷になっています。
	ヘッド゛コウオン シバ゛ラク　オマチクタ゛サイ	印刷ヘッドが高温になっているため印刷動作を停止しています。温度が下がるまでしばらお待ちください。
	SPモータ　コウオン シバ゛ラク　オマチクタ゛サイ	SPモータが高温になっているため印刷動作を停止しています。温度が下がるまでしばらくお待ちください。
	インサツDUTY ブ゛ンカツインサツチュウ	高密度印刷のため、分割印刷をしています。

ディスプレイ表示(特殊状態)

表示の種類	表示	表示の意味
用紙吸入位置の微調整	セット　ＴＯＦ　ＸＸＸ．Ｘmm	吸入位置の微調整モード中です。 XXX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
	セット　ＴＯＦ　　０．０mm ホセイハンイ　オーバ゛ー	吸入位置の微調整モード中です。 補正範囲下限値を超えました。
	セット　ＴＯＦ　３２．１mm ホセイハンイ　オーバ゛ー	吸入位置の微調整モード中です。 補正範囲上限値を超えました。
カット位置微調整	カット　イチ　ホセイ トラクタ　リアＰＵＳＨ	連続紙カット位置微調整モード中です。
	カット　イチ　ホセイ　−２０ ホセイハンイ　オーバ゛ー	連続紙カット位置微調整モード中です。 補正範囲下限値を超えました。
	カット　イチ　ホセイ　＋２０ ホセイハンイ　オーバ゛ー	連続紙カット位置微調整モード中です。 補正範囲上限値を超えました。
連続紙カット位置	ヨウシ　カット　デ゛キマス	連続紙がカットできる位置になっています。
用紙位置移動	ヨウシ　イチ　チョウセイ	用紙位置移動モードです。
メモリスイッチ初期化	メモリ　スイッチ　クリア？ Ｙ：ＬＦ　Ｎ：ＴＯＦ	メモリスイッチ初期化実行確認中です。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニューモードについては100ページをご覧ください。	

メニューモード

ここではメニューモードの変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します。

設定項目		初期値
書式設定	用紙長	66行
	レフトマージン	0桁
	ライトマージン	136桁
	吸入位置　フロントプッシュトラクタ	25.4mm（文字下端）
	吸入位置　リアプッシュトラクタ	25.4mm（文字下端）
	吸入位置　シートガイド	9.7mm（文字下端）
	吸入位置　シートフィーダ	9.7mm（文字下端）
	吸入位置　ハガキ	11.5mm（文字中央）
	カット紙位置補正	0桁
書式選択		書式0
書体選択		明朝体
クワイエットモード		OFF
設定値印刷		－

ヒント

- 機能項目や各機能を選択するスイッチは、押し続けても連続的には切り替わりません。
- ディスプレイの末尾に＊で示された設定値は現在の設定値です。

メニューモードの入り方と終了方法

メニューモードの入り方

1 電源をONにする。

2 [SEL/印刷可]スイッチを押してディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯したことを確認してください。

3 [FUNCTION/機能選択]スイッチを押す。

メニューモードに入ります。

メニューモードの終了方法

[SEL/印刷可]スイッチを押す。

メニューモードで設定した値をメモリに書き込み、メニューモードを終了します。

次の場合は、制御コードにより設定された値はクリアされます。

- 設定が変更された場合
- 設定値印刷を実行した場合

メニューモード時のスイッチ機能

プリンタがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

<table>
<tr><th colspan="2">スイッチ</th><th rowspan="2">機能</th></tr>
<tr><th>通常の状態</th><th>メニューモード時</th></tr>
<tr><td>FUNCTION/機能選択</td><td>◀</td><td rowspan="2">機能設定項目の選択スイッチとして機能する。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値や項番が増減します。</td></tr>
<tr><td>DRAFT/高速印刷</td><td>▶</td></tr>
<tr><td>L.F/改行</td><td>▲</td><td rowspan="2">設定値の変更スイッチとして機能する。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値や項番が増減します。</td></tr>
<tr><td>T.O.F/改頁</td><td>▼</td></tr>
<tr><td colspan="2">SEL/印刷可</td><td>メニューモードで設定して値をメモリに書き込み、メニューモードを終了させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記以外のスイッチ</td><td>無効</td></tr>
</table>

メニューツリー

メニューモードの入り方
電源投入後、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で
［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
図中の ←は［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［L.F/改行］スイッチを押す
図中の →は［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［T.O.F/改頁］スイッチを押す
［FUNCTION/機能選択］
スイッチを押す
ショシキ セッテイ
ショシキ センタク
ショシキ0＊
ショタイ センタク
ミンチョウタイ＊
クワイエット モード
OFF＊
セッテイチ インサツ
ショシキ セッテイ
ショシキ0
ショシキ セッテイ
ショシキ1
ショシキ セッテイ
ショシキ2
ショシキ セッテイ
ショシキ3
ショシキ センタク
ショシキ1
ショシキ センタク
ショシキ2
ショシキ センタク
ショシキ3
ショタイ センタク
ゴシックタイ
クワイエット モード
ON
［L.F/改行］スイッチまたは
［T.O.F/改頁］スイッチを押す
セッテイチ インサツ
インサツチュウ
印刷終了後、
戻る
［SEL/印刷可］
スイッチを押す
メニューモードの終了

図中の ←は［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［L.F/改行］スイッチを押す
図中の →は［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［T.O.F/改頁］スイッチを押す
キュウニュウイチ XXX
XX. Xmm*
この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。
これらの画面は「ショシキ０」のときは表示されません。
A
B
C
ヨウシチョウ 66*
ヨウシチョウ 67
ヨウシチョウ 99
ヨウシチョウ 1
ヨウシチョウ 65
レフトマージンハバ 0*
レフトマージンハバ 1
レフトマージンハバ 135
ライトマージンハバ 136*
ライトマージンハバ 1
ライトマージンハバ 135
キュウニュウイチ TRフロント 25. 4mm (1インチ) *
キュウニュウイチ TRフロント XX. Xmm*
キュウニュウイチ TRフロント 0mm
キュウニュウイチ TRフロント 3. 18mm (1/8インチ)
キュウニュウイチ TRフロント 3. 8mm
キュウニュウイチ TRフロント 4. 23mm (1/6インチ)
キュウニュウイチ TRフロント 6. 03mm
キュウニュウイチ TRフロント 6. 35mm (1/4インチ)
キュウニュウイチ TRフロント 8. 47mm (1/3インチ)
キュウニュウイチ TRフロント 9. 7mm
キュウニュウイチ TRフロント 12. 7mm (1/2インチ)
キュウニュウイチ TRリア 25. 4mm (1インチ) *
キュウニュウイチ TRリア XX. Xmm*
キュウニュウイチ TRリア 0mm
キュウニュウイチ TRリア 3. 18mm (1/8インチ)
キュウニュウイチ TRリア 3. 8mm
キュウニュウイチ TRリア 4. 23mm (1/6インチ)
キュウニュウイチ TRリア 6. 03mm
キュウニュウイチ TRリア 6. 35mm (1/4インチ)
キュウニュウイチ TRリア 8. 47mm (1/3インチ)
キュウニュウイチ TRリア 9. 7mm
キュウニュウイチ TRリア 12. 7mm (1/2インチ)
キュウニュウイチ CSG 9. 7mm*
キュウニュウイチ CSG 12. 7mm (1/2インチ)
キュウニュウイチ CSG 25. 4mm (1インチ)
キュウニュウイチ CSG XX. Xmm
キュウニュウイチ CSG 0mm
キュウニュウイチ CSG 3. 18mm (1/8インチ)
キュウニュウイチ CSG 3. 8mm
キュウニュウイチ CSG 4. 23mm (1/6インチ)
キュウニュウイチ CSG 6. 03mm
キュウニュウイチ CSG 6. 35mm (1/4インチ)
キュウニュウイチ CSG 8. 47mm (1/3インチ)
［SEL/印刷可］スイッチを押す
メニューモードの終了

図中の ←は［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す　図中の ↓は［L.F/改行］スイッチを押す

図中の →は［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す　図中の ↓は［T.O.F/改頁］スイッチを押す

キュウニュウイチ XXX
XX.Xmm*

この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。

3 メニューモードで設定変更する

設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（108ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「書式選択」書式0の「用紙長」を99にする。（初期設定値は66）

1 **電源をONにする。**

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押してディセレクト状態にする。**

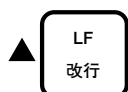
SEL
印刷可

印刷可ランプが消灯していることを確認してください。

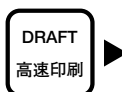
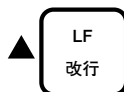
3 **[FUNCTION/機能選択]スイッチを押す。**

メニューモードに入ります。

シ	ョ	シ	キ		セ	ッ	テ	イ							

4 **[▲]スイッチを押し、右のように表示されていることを確認する。**

シ	ョ	シ	キ		セ	ッ	テ	イ							
シ	ョ	シ	キ	0											

5 **[▶]スイッチを押し、右のように表示されることを確認する。**

ヨ	ウ	シ	チ	ョ	ウ										
6	6	*													

6 **[▲]スイッチを“ヨウシチョウ　99”となるまで押して、右のように表示されることを確認する。**

ヨ	ウ	シ	チ	ョ	ウ										
9	9														

7 **[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

設定変更した値をメモリに書き込みメニューを終了します。

設定の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容を説明します。
設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

書式設定

書式に関する情報（用紙長、マージン幅など）を設定します。書式の設定は4通り（書式0〜書式3）まで登録できます。

（1）　用紙長（1〜【66】〜99）

用紙長を改行幅、約4.2mm（1/6インチ）単位で設定します。現在の改行量には影響されません。

（2）　レフトマージン（【0】〜135）

レフトマージン幅を約2.5mm（1/10インチ）単位で設定します。
書式0のときは表示されません。

（3）　ライトマージン（1〜【136】）

ライトマージンの幅を約2.5mm（1/10インチ）単位で設定します。
書式0のときは表示されません。

（4）　吸入位置　フロントプッシュトラクタ（単位はmm）

（0, 3.18, 3.8, 4.23, 6.03, 6.35, 8.47, 9.7, 12.7,【25.4】）
フロントプッシュトラクタの吸入位置（印刷可能な第１行位置）を選択します。

（5）　吸入位置　リアプッシュトラクタ（単位はmm）

（0, 3.18, 3.8, 4.23, 6.03, 6.35, 8.47, 9.7, 12.7,【25.4】）
リアプッシュトラクタの吸入位置（印刷可能な第１行位置）を選択します。

（6）　吸入位置　シートガイド（単位はmm）

（0, 3.18, 3.8, 4.23, 6.03, 6.35, 8.47,【9.7】, 12.7, 25.4）
シートガイドの吸入位置（印刷可能な第１行位置）を選択します。

（7）　吸入位置　シートフィーダ（単位はmm）

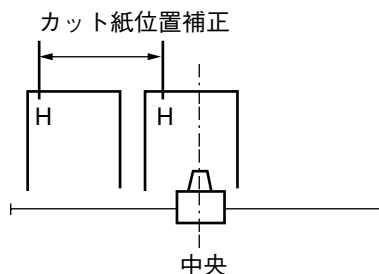
（0, 3.18, 3.8, 4.23, 6.03, 6.35, 8.47,【9.7】, 12.7, 25.4）
シートフィーダの吸入位置（印刷可能な第１行位置）を選択します。

（8）　吸入位置　はがき（単位はmm）

（0, 3.18, 3.8, 4.23, 6.03, 6.35, 8.47,【11.5】, 12.7, 25.4）
はがきの吸入位置（印刷可能な第１行位置）を選択します。
ハガキ印刷モード時のシートガイド、シートフィーダのどちらにも適用されます。

(9) カット紙位置補正(【0】〜68)

カット紙の中央基準データを左端基準プリンタで印刷するための補正をします。補正値はパイカピッチ基準での文字数で設定します。

中央基準の設定値を下表に示します。

参考値

用紙幅	補正値
B4ヨコ	0
A4ヨコ	11
B4タテ、B5ヨコ	19
A4タテ、A4ヨコ	28
B5タテ	34
A5タテ	40
はがき	50

(10) 書式クリア

現在設定されている書式番号の内容を初期値に戻します。

(11) 設定実行

現在設定されている書式番号の用紙長、レフトマージン幅、ライトマージン幅、吸入位置、カット紙位置補正の設定値をメモリに書き込みます。

(12) 設定中止

現在設定されている書式番号の用紙長、レフトマージン幅、ライトマージン幅、吸入位置、カット紙位置補正の設定値のメモリへの書き込みを中止します。

書式選択

(【書式0】, 書式1, 書式2, 書式3)

どの書式で印刷するかを選択します。[◀]スイッチまたは[▶]スイッチを押して、現在選択されている書式番号を表示させた後、[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して設定したい書式番号を選択します。

書体選択

(【明朝体】, ゴシック体)

明朝体またはゴシック体のどちらかの書体を選択します。この設定は電源OFFまたは強制リセットを実行すると[明朝体]に戻ります。

クワイエットモードの設定

(【OFF】, ON)

クワイエット(低騒音印刷)モードを選択します。通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので印刷品質は通常より劣ります。また印刷時間が通常より長くかかります。

設定状態の印刷

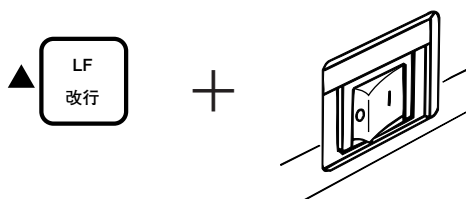
メニューモードおよびスペシャルメニューモードの設定値一覧を印刷します。

リセット方法

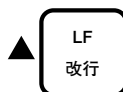
メニューモードを使ってプリンタの設定を変更した場合、このリセットを行うと一度にすべての設定内容をリセットし、工場設定値に戻します。

1 **電源スイッチをOFFにする。**

2 **[L.F/改行]スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

ディスプレイには“メモリスイッチ　クリア？　Y：LF　N：TOF”とリセットの再確認を促すメッセージが表示されます。

3 **[L.F/改行]スイッチを押す。**

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は[T.O.F/改頁]スイッチを押します。

スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードで変更できる設定項目およびスペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

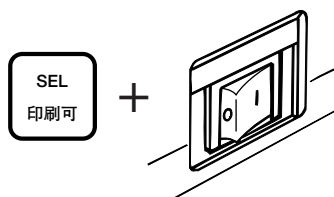
設定モード	機能項目	初期値
パラメータ設定	漢字コード表	1978年版
	フォント1	標準
	フォント2	標準
	カット紙	固定用紙長
	ハガキ印刷	OFF
メモリスイッチ設定	「メモリスイッチ設定モード」（121ページ）参照	
ハードウェア設定	シートガイド吸入待ち時間選択	2秒
	シートガイド吸入速度選択	通常
	カット紙カールならし動作選択	無効
	カット位置からの戻り時間選択	8秒
	連続紙送り速度選択	通常
	連続紙ならし動作選択	幅広
ハードウェア調整	罫線確認印刷	―
	罫線ぞろえ	HD NHS CND：漢字7P相当 DR CND：コンデンス
	カット紙LF改行ピッチ補正	0
	連続紙フロントプッシュ下端印刷補正	0
	連続紙リアプッシュ下端印刷補正	0
	連続紙リアプル下端印刷補正	0

スペシャルメニューモードの入り方と終了方法

スペシャルメニューモードの入り方

[SEL/印刷可]スイッチを押しながら電源をONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“ハ゜ラメータ セッテイ”とディスプレイに表示されます。

用紙なしの場合でもスペシャルメニューモードに入ることができます。

スペシャルメニューモードの終了方法

1 **[SEL/印刷可]スイッチを何回か押して、ディスプレイに“ハード゛ ウェア チョウセイ”を表示させる。**

SEL 印刷可

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

スペシャルメニューモードを終了します。

SEL 印刷可

スペシャルメニューモード時のスイッチ機能

プリンタがスペシャルメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

<table>
<tr><th colspan="2">スイッチ</th><th rowspan="2">機能</th></tr>
<tr><th>通常の状態</th><th>スペシャルメニューモード時</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">SEL/印刷可</td><td>このスイッチを押しながら 電源をONにし、スペシャルメニューモードに入ります。</td></tr>
<tr><td>設定モードの選択スイッチとして機能します。*[1]</td></tr>
<tr><td>ハードウェア調整モード時はスペシャルメニューモード終了スイッチとなります。</td></tr>
<tr><td>DRAFT/高速印刷</td><td>▶</td><td rowspan="2">機能項目の選択スイッチとして機能します。*[2]</td></tr>
<tr><td>FUNCTION/機能選択</td><td>◀</td></tr>
<tr><td>L.F/改行</td><td>▲</td><td rowspan="2">設定値の変更スイッチとして機能します。*[2]</td></tr>
<tr><td>T.O.F/改頁</td><td>▼</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記以外のスイッチ</td><td>無効</td></tr>
</table>

*[1] 一方向のみで逆方向には選択できません。

*[2] これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値や項番が増減します。

メニューツリー

スペシャルメニューモードの入り方
［SEL/印刷可］を押しながら電源スイッチをONにする
図中の ←は［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［L.F/改行］スイッチを押す
図中の →は［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［T.O.F/改頁］スイッチを押す
［SEL/印刷可］スイッチ
パ゛ラメータ セッテイ
［FUNCTION/機能選択］スイッチ
または
［DRAFT/高速印刷］スイッチ
カンジ゛コート゛ ヒョウ 1978*
フォント1 ヒョウジ゛ュン*
フォント2 ヒョウジ゛ュン*
カットシ コテイヨウシチョウ*
ハガ゛キ インサツ OFF*
カンジ゛コート゛ ヒョウ 1983
フォント1 イタリック
フォント2 イタリック
カットシ フリーフォーマット
ハガ゛キ インサツ ON
カンジ゛コート゛ ヒョウ 1990
フォント1 クーリエ
フォント2 クーリエ
フォント1 ゴ゛シック
フォント2 ゴ゛シック
フォント1 OCR−B
フォント2 OCR−B
［SEL/印刷可］スイッチを押す
メモリスイッチ セッテイ
MSW1−1 00000000
MSW1−2 00000000
MSW1−3 00000000
MSW1−4 00000000
MSW1−1 10000000
MSW1−2 01000000
MSW1−3 00100000
MSW1−4 00010000
MSW1−5 00000000
MSW1−6 00000000
MSW1−7 00000000
MSW1−8 00000000
MSW1−5 00001000
MSW1−6 00000100
MSW1−7 00000010
MSW1−8 00000001
MSW2−1 00000000
MSW2−2 00000000
MSW2−3 00000000
MSW2−4 00000000
MSW2−1 10000000
MSW2−2 01000000
MSW2−3 00100000
MSW2−4 00010000
MSW2−5 00000000
MSW2−6 00000000
MSW2−7 00000000
MSW2−8 00000000
MSW2−5 00001000
MSW2−6 00000100
MSW2−7 00000010
MSW2−8 00000001
A
B
C
D
E
I

図中の ←は［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［L.F/改行］スイッチを押す
図中の →は［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［T.O.F/改頁］スイッチを押す
A
E
MSW3−1 00000000
MSW3−2 00000000
MSW3−3 00000000
MSW3−4 00000000
F
MSW3−1 10000000
MSW3−2 01000000
MSW3−3 00100000
MSW3−4 00010000
［SEL/印刷可］スイッチを押す
F
MSW3−5 00000000
MSW3−6 00000000
MSW3−7 00000000
MSW3−8 00000000
G
MSW3−5 00001000
MSW3−6 00000100
MSW3−7 00000010
MSW3−8 00000001
G
MSW4−1 00000000
MSW4−2 00000000
MSW4−3 00000000
MSW4−4 00000000
H
MSW4−1 10000000
MSW4−2 01000000
MSW4−3 00100000
MSW4−4 00010000
H
MSW4−5 00000000
MSW4−6 00000000
MSW4−7 00000000
MSW4−8 00000000
I
MSW4−5 00001000
MSW4−6 00000100
MSW4−7 00000010
MSW4−8 00000001
［FUNCTION/機能選択］スイッチを押す
ハードウェア セッテイ
または
［DRAFT/高速印刷］スイッチを押す
K
シートガイドキュウシジカン 2ビョウ*
シートガイドキュウシソクド ヒョウジュン*
カットシ ナラシ ムコウ*
カットイチ モドリジカン 8ビョウ*
J
シートガイドキュウシジカン 1ビョウ
シートガイドキュウシジカン 0.5ビョウ
シートガイドキュウシジカン 5ビョウ
シートガイドキュウシジカン 4ビョウ
シートガイドキュウシジカン 3ビョウ
シートガイドキュウシソクド テイソク
カットシ ナラシ ユウコウ
カットイチ モドリジカン 15ビョウ
カットイチ モドリジカン ムゲン
J
レンゾクシ オクリソクド ヒョウジュン*
レンゾクシ ナラシ ハバヒロ*
K
レンゾクシ オクリソクド テイソク
レンゾクシ ナラシ ハバセマ
L

スペシャルメニューモード終了
ディスプレイは“イニシャライズ゛　チュウ”と表示後、
通常表示に戻る

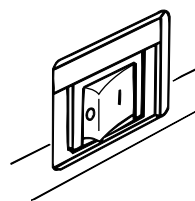
設定の手順

スペシャルメニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。
例以外の設定を変更したい場合は、「設定の詳細」（120ページ）を見ながら例を参考にして設定を変更してください。

例：「ハードウェア設定」の「シートガイド吸入待ち時間選択」を5秒にする。
（初期設定値は［2秒］）

1 **電源をOFFにする。**

2 **［SEL/印刷可］スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

スペシャルメニューモードに入り、ディスプレイに“ハ゜ラメータ　セッテイ”と表示されます。

3 **［SEL/印刷可］スイッチを2回押し、ディスプレイに“ハード゛ウェア　セッテイ”と表示されたことを確認する。**

4 **［ ▶］スイッチを押し、ディスプレイに“シートカ゛イト゛キュウシシ゛カン　2ヒ゛ョウ＊”と表示されることを確認する。**

▶

シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛	キ	ュ	ウ	シ	シ	゛	カ	ン
2	ヒ	゛	ョ	ウ	＊										

5

[▼]スイッチを押し、ディスプレイに“シートカ゛イト゛キュウシシ゛カン　5ヒ゛ョウ”と表示されることを確認する。

シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛	キ	ュ	ウ	シ	シ	゛	カ	ン
5	ヒ	゛	ョ	ウ											

6

[SEL/印刷可]スイッチを押して、ディスプレイに“ハート゛ウェア　チョウセイ”と表示されることを確認する。

ハ	ー	ト	゛	ウ	ェ	ア		チ	ョ	ウ	セ	イ			

7

[SEL/印刷可]スイッチを押す。

SEL
印刷可

スペシャルメニューモードを終了します。

設定の詳細

ここでは、スペシャルメニューモードで設定できる内容を説明します。
設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

パラメータ設定モード

フォントの選択、カット紙用紙長の固定・自由の設定、ハガキ印刷モードの設定などを行います。

（1）　漢字コード表の設定（【1978年版】, 1983年版, 1990年版）

漢字コード表を選択します。

（2）　フォント1およびフォント2の選択（【標準】, イタリック, クーリエ, ゴシック, OCR-B）

制御コードによって設定できるANK文字フォントを選択します。

（3）　カット紙用紙長の固定・自由の設定（【固定用紙長】, フリーフォーマット）

カット紙の用紙長を固定するか自由とするかを切り替えます。

（4）　ハガキ印刷モードの設定（【OFF】, ON）

通常モードにするかハガキ印刷モード（吸入位置11.5mm）にするかを選択します。

メモリスイッチ設定モード

このプリンタには32個のメモリスイッチ(Memory Switch:MSW)が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態(ON/OFF)を切り替えることにより、プリンタの様々な設定を変更することができます。メモリスイッチとは電源スイッチのように機械的なものではなく、設定内容を電気的に切り替え、記憶するものです。

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ*により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンを切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	受信バッファ容量の切り替え	16Kバイト	無し	ON
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CR	CR、LF、VT、FF	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュ無し	スラッシュ付き	OFF
	2	用紙無し検出方法の切り替え	印刷時検出	常時検出	OFF
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	シートフィーダのオートギャップ調整	スループット重視動作	1枚毎動作	OFF
	5	印刷モードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向最短	片方向	OFF
MSW3	1	LANアダプタの接続	未接続	接続	OFF
	2	未使用			
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC・aのみ	ESC・a、LF、US、VT	OFF
	5	未使用			
	6	未使用			
	7	数字「0」の字体（2バイトコード系）	スラッシュ無し	スラッシュ付	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	未使用			
	2	自動カット位置送り機能の切り替え	無効	有効	OFF
	3	カット機能の用紙送り量	固定長	ページ先頭位置＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向	片方向	両方向	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	通常印刷	高速印刷	OFF
	6	カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え	排出方向指定による	後方排出	OFF
	7	カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え	排出方向指定による	後方排出	OFF
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

* MSW1-1〜1-3の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります。

（1） MSW1-1　　各国文字の切り替え（【OFF】, ON）

（2） MSW1-2　　各国文字の切り替え（【OFF】, ON）

（3） MSW1-3　　各国文字の切り替え（【OFF】, ON）

MSW1-1～MSW1-3の3つのメモリスイッチを組み合わせて、各国の文字に切り替えます。メモリスイッチの組み合わせを次の表に示します。

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

（4） MSW1-4　　受信バッファ容量の切り替え（OFF, 【ON】）

受信バッファをなし（0）にするか、有り（16Kバイト）にするかを切り替えます。*

* 受信バッファ有りの場合、同期コマンドによる受信同期機能は無効です。

（5） MSW1-5　　DC1、DC3コード処理の切り替え（【OFF】, ON）

制御コードDC1、DC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。

（6） MSW1-6　　自動復改の切り替え（【OFF】, ON）

バッファフル印刷を行うとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

（7） MSW1-7　　印刷指令コードの切り替え（【OFF】, ON）

印刷指令コードをどの制御コードに割り当てるかを設定します。

（8） MSW1-8　　CR機能の切り替え（【OFF】, ON）

制御コードCRを受信したとき、復帰のみの動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

（9） MSW2-1　　数字「0」（1バイトコード系）の字体（【OFF】, ON）

8ビットコード表、7ビットコード表において、数字「0」の書体を“0”と印刷するか、“Ø”と印刷するかを切り替えます。

（10） MSW2-2　　用紙無し検出方法の切り替え（【OFF】, ON）

リアプッシュトラクタ、フロントプッシュトラクタ、リアプルトラクタ、シートガイド使用時に、用紙無し検出を印刷時のみ行うか、常時行うかを切り替えます。用紙無し検出をON（常時）にすると、用紙がセットされていないときに印刷可ランプが消灯します。

(11) MSW2-3　ドット対応グラフィックドット数の初期設定(【OFF】, ON)

ドット対応グラフィックドット数の横ドット数の初期設定をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

(12) MSW2-4　シートフィーダのオートギャップ(【OFF】, ON)

シートフィーダを使用時、オートギャップ調整動作をスループット重視で行うか、1枚毎に行うかを切り替えます。スループット重視を選択した場合、セレクト移行後、最初の1枚のみオートギャップ調整動作をし、それ以降の用紙は一度ディセレクトにならない限り1枚目のギャップにて印刷します。

(13) MSW2-5　印刷モードの初期設定(【OFF】, ON)

印刷モードの初期設定をHDパイカにするか、HSパイカにするか切り替えます。

(14) MSW2-6　7/8ビットデータの切り替え(【OFF】, ON)

インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを切り替えます。グラフィック(ドット列印刷)モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定にかかわらず8ビット有効です。

(15) MSW2-7　印刷桁数の切り替え(【OFF】, ON)

1行に印刷する文字数を、パイカ文字幅で136桁にするか、80桁にするかを切り替えます。80桁に指定した場合、用紙のセット位置は左端基準の第1桁から第80桁が印刷範囲となります。

(16) MSW2-8　印刷方向の初期設定(【OFF】, ON)

印刷方向を両方向最短印刷にするか、片方向印刷にするかを切り替えます。

(17) MSW3-1　LANアダプタの接続(【OFF】, ON)

オプションのLANアダプタ「型番　PR-NP-02T2」、「型番　PR-NP-03TR2」および、USBプリンタケーブル「型番　PR-CA-U02」を使用する場合、ONにします。

(18) MSW3-3　用紙吸入位置の記憶(【OFF】, ON)

用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するか、しないかを切り替えます。ONにした場合、微調モードで微調整した値は記憶しないので、電源再投入後または強制リセット時に工場設定値に戻ります。

(19) MSW3-4　シートフィーダの吸入コード(【OFF】, ON)

シートフィーダの吸入コードは、一般的に吸入命令(ESCa)を使用しますが、改行コード(LF、VT、複数改行)でも吸入を実行するか、しないかを切り替えます。

(20) MSW3-7　数字「0」(2バイト系)の字体(【OFF】, ON)

漢字コード表において、数字「0」の書体を“0”と印刷するか“Ø”と印刷するかを切り替えます。

(21) MSW3-8　ミシン目スキップの初期設定(【OFF】, ON)

電源ON時に連続紙のミシン目の前後約25.4mm(1インチ)の印刷をスキップするか、しないかを切り替えます。この機能は連続紙使用時に有効で、ONにするとスキップします。また、VFUコマンドによってボトムライン設定時は、その設定が優先されます。

(22) MSW4-2　自動カット位置送り機能の切り替え(【OFF】, ON)

印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。OFFにすると自動カット位置送りは無効となります。送り量はMSW4-3に関係なく、固定長送りとなります。

(23) MSW4-3　カット機能の用紙送り量(OFF, 【ON】)

カット時の用紙送り量を固定長にするか、ページ先頭位置＋固定長にするかを切り替えます。
[排出/カット]スイッチによるカット位置送りのみ有効です。

(24) MSW4-4　ドット列印刷モードの印刷方向(OFF, 【ON】)

ドット列印刷モードの印刷方法を、片方向にするか両方向にするかを切り替えます。MSW2-8で片方向印刷を指定している場合、MSW4-4をON(両方向)にしてもドット列印刷方向は片方向となります。

(25) MSW4-5　高速印刷モードの初期設定(【OFF】, ON)

電源ON時に高速印刷を選択するか、解除するかを切り替えます。

(26) MSW4-6　カット紙(シートガイド)の排出方向の切り替え(【OFF】, ON)

シートガイド使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定(スタッカに排出)するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は前方排出(シートガイドに排出)します。

(27) MSW4-7　カット紙(シートフィーダ)の排出方向の切り替え(【OFF】, ON)

シートフィーダ使用時に、排出方向を後方排出固定(スタッカに排出)するか、排出方向指定コマンドに従うかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は、後方排出となります。

(28) MSW4-8　オートローディング方式(シートガイド自動吸入方式)の切り替え(【OFF】, ON)

シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするか、オート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では[吸入/退避]スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから一定時間(ハードウェア設定モードのシートガイド吸入待ち時間選択で設定した時間)経過後に自動的に吸入されます。

ハードウェア設定モード

シートガイド吸入待ち時間選択、シートガイド吸入速度選択、連続紙送り速度選択などの設定を行います。

(1) シートガイド吸入待ち時間選択(0.5秒, 1秒,【2秒】, 3秒, 4秒, 5秒)

シートガイド使用時の吸入方式がオート方式のとき、センサが用紙を検出してから吸入を開始するまでの時間を選択します。

(2) シートガイド吸入速度選択(【標準】, 低速)

シートガイド使用時の用紙の吸入速度を選択します。

(3) カット紙カールならし動作選択(【無効】, 有効)

カット紙の吸入時および改行時のカット紙先端ならし動作の有無を切り替えます。

(4) カット位置からの戻り時間設定(【8秒】, 15秒, 無限)

カット位置からの戻り時間を設定します。自動カット位置送り、[排出/カット]スイッチによるカット位置送りの両方に適用されます。

(5) 連続紙送り速度選択(【標準】, 低速)

連続紙の改行速度を選択します。

(6) 連続紙ならし動作選択(【幅広】, 幅狭)

連続紙のならし動作の幅を選択します。

ハードウェア調整モード

改行ピッチ補正、連続紙の下端印刷補正などの調整を行います。

（1） 罫線ぞろえ確認印刷

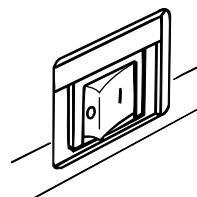
罫線ぞろえ確認印刷を行います。以下の手順に従ってください。

1 用紙をセットする。

カット紙または連続紙をセットしてください。用紙のセット方法については2章「用紙をセットする」(37ページ)を参照してください。

2 電源スイッチをOFFにする。

3 [SEL/印刷可]スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、ディスプレイに“ハ゜ラメータ　セッテイ”と表示されます。

ハ゜ラメータ　セッテイ

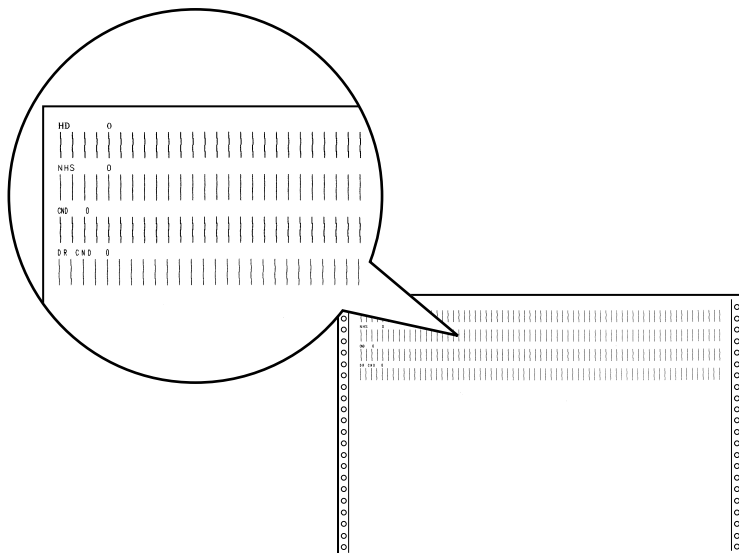
4 [SEL/印刷可]スイッチを3回押し、ディスプレイに“ハード゛ウェア　チョウセイ”と表示されることを確認する。

ハード゛ウェア　チョウセイ

5 [▶]スイッチを押し、ディスプレイに“ケイセン　カクニン　インサツ”と表示されることを確認する。

ケイセン　カクニン　インサツ

6 [▼]スイッチまたは[▲]スイッチを押す。

次のように罫線ぞろえ確認印刷が出力されます。(連続紙の場合)

(2) 罫線ぞろえHD(−10〜【0】〜+10)

漢字、HDパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.053mm(1/480インチ)単位で、−0.53mm(−10/480インチ)から+0.53mm(+10/48インチ)まで可能です。「(1) 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

(3) 罫線ぞろえNHS(−10〜【0】〜+10)

高速印刷漢字、高速印刷HDパイカ、NHSパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.053mm(1/480インチ)単位で、−0.53mm(−10/480インチ)から+0.53mm(+10/480インチ)まで可能です。「(1) 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

(4) 罫線ぞろえコンデンス(−10〜【0】〜+10)

漢字7P相当の罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.053mm(1/480インチ)単位で、−0.53mm(−10/480インチ)から+0.53mm(+10/480インチ)まで可能です。「(1) 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

(5) 罫線ぞろえコンデンス(高速印刷)(−10〜【0】〜+10)

コンデンス、高速印刷漢字7P相当の罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.053mm(1/480インチ)単位で、−0.53mm(−10/480インチ)から+0.53mm(+10/480インチ)まで可能です。「(1) 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

(6) カット紙LFピッチ補正(−10〜【0】〜+10)

カット紙のプレプリントのフォーマットに改行が合わない場合に適正な補正値に調整します。

(7) 連続紙(フロントプッシュトラクタ)下端印刷補正(−20〜【0】〜+20)

連続紙(フロントプッシュトラクタ)用紙下端の印刷位置が合わない場合に適正な補正値に調整します。下端印刷補正は、連続紙の用紙なし検出センサが用紙なし検出後の残りの印刷可能量を補正します。調整は下から上の方向に対して約0.21mm(1/120インチ)単位で、−4.23mm(−20/120インチ)から+4.23mm(+20/120インチ)まで可能です。

(8) 連続紙(リアプッシュトラクタ)下端印刷補正(−20〜【0】〜+20)

連続紙(リアプッシュトラクタ)用紙下端の印刷位置が合わない場合に適正な補正値に調整します。下端印刷補正は、連続紙の用紙なし検出センサが用紙なし検出後の残りの印刷可能量を補正します。調整は下から上の方向に対して約0.21mm(1/120インチ)単位で、−4.23mm(−20/120インチ)から+4.23mm(+20/120インチ)まで可能です。

(9) 連続紙(リアプルトラクタ)下端印刷補正(−20〜【0】〜+20)

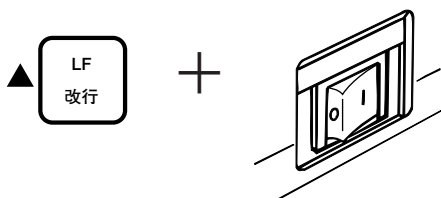
連続紙(リアプルトラクタ)用紙下端の印刷位置が合わない場合に適正な補正値に調整します。下端印刷補正は、連続紙の用紙なし検出センサが用紙なし検出後の残りの印刷可能量を補正します。調整は下から上の方向に対して約0.21mm(1/120インチ)単位で、−4.23mm(−20/120インチ)から+4.23mm(+20/120インチ)まで可能です。

リセット方法

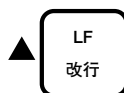
スペシャルメニューモードを使ってプリンタの設定を変更した場合、このリセットを行うと一度にすべての設定内容をリセットし、工場設定値に戻します。ただし、ハードウェア調整で設定した値はリセットされません。

1 **電源スイッチをOFFにする。**

2 **[L.F/改行]スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

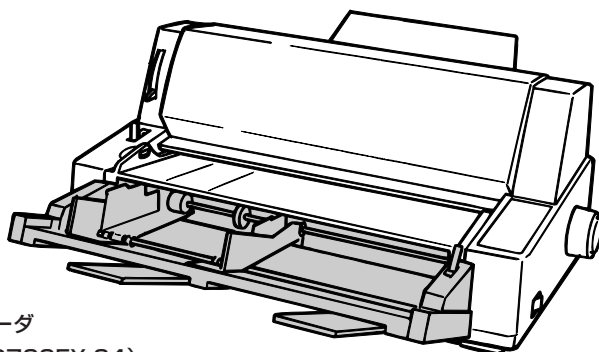
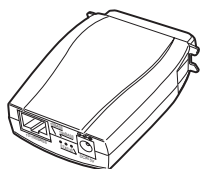
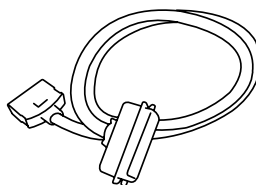
ディスプレイには“メモリスイッチ　クリア？　Y：LF　N：TOF”とリセットの再確認を促すメッセージが表示されます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		ク	リ	ア	？				
		Y	：	L	F		N	：	T	O	F				

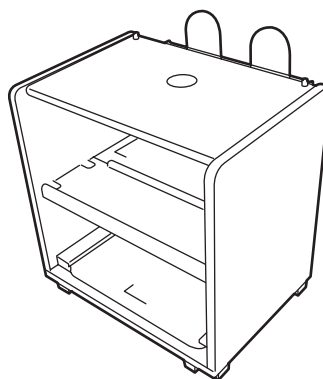
3 **[L.F/改行]スイッチを押す。**

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は[T.O.F/改頁]スイッチを押します。

4

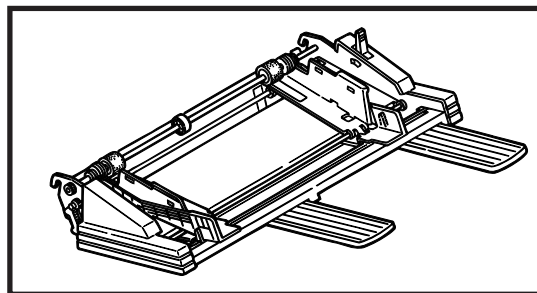
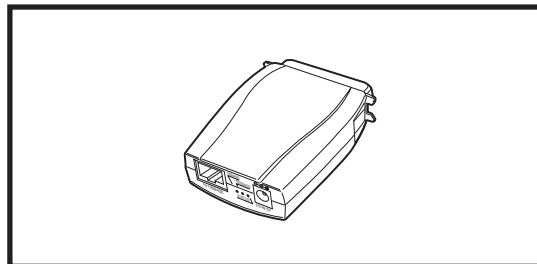
オプション

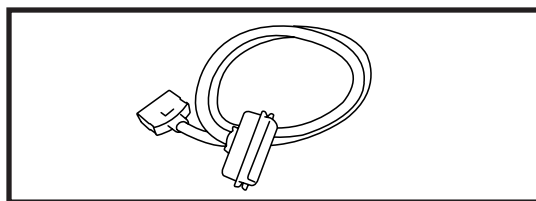
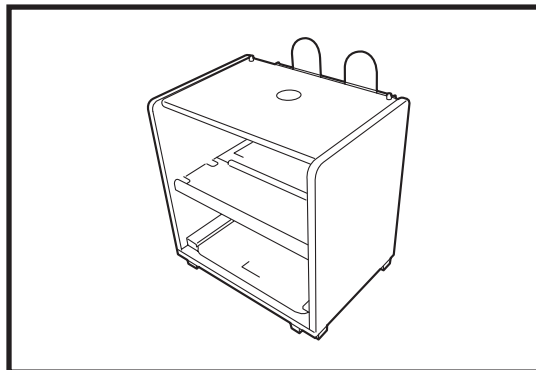
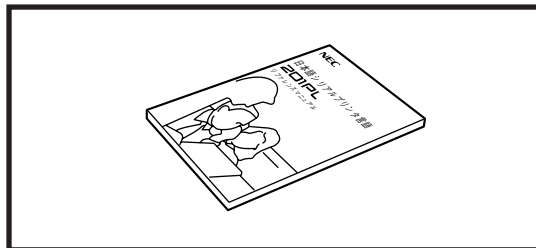
オプション一覧

シートフィーダ
（型番 PR-D700EX-04）

プリントサーバ（LANアダプタ）
（型番 PR-NP-07）

プリンタケーブル
（147ページ参照）

日本語シリアルプリンタ言語201PL
リファレンスマニュアル
（型番 PC-PR201PL-RM）

プリンタ卓
（型番 PR-D700EX-09）

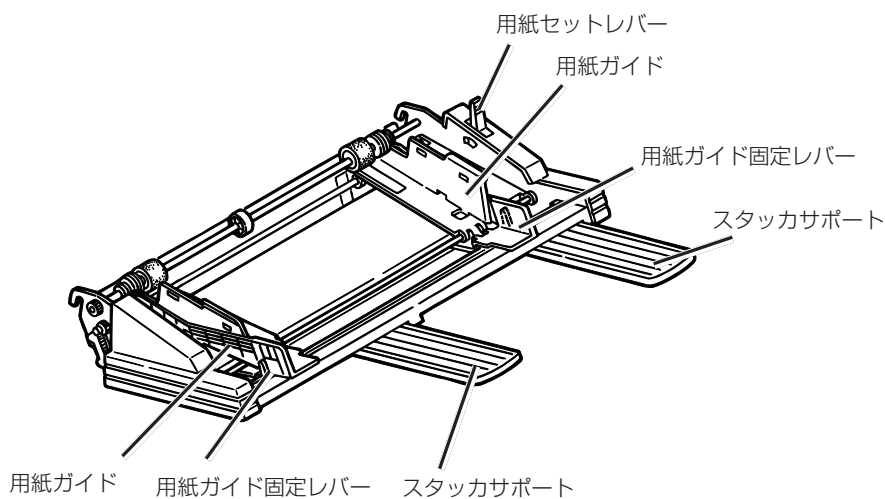
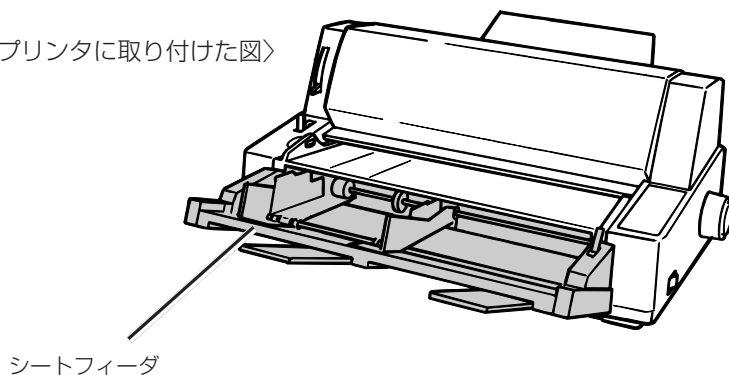
オプション品の紹介

オプション品を購入されるときは、MultiImpact 700EXをお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

- **シートフィーダ**
  (型番 PR-D700EX-04)
  カット紙やはがきを自動的に給紙します。
  カット紙を約450枚までセットできます(A4サイズの用紙で坪量64.0g/m²(連量55kg)の場合)。
  複写式用紙は6枚綴りのものを約30組までセットできます(A4サイズの複写式用紙の場合)。

- **プリントサーバ(LANアダプタ)**
  (型番 PR-NP-07)
  パラレルインタフェース直付け型のLANアダプタです。

対応しているOSのバージョンについてはLANアダプタの説明書を参照してください。

- **プリンタケーブル**
  147ページの表に従ってお持ちのコンピュータに合ったケーブルを選んでください。

- **プリンタ卓**
  （型番 PR-D700EX-09）
  プリンタを置く台です。

- **日本語シリアルプリンタ言語201PL**
  リファレンスマニュアル
  （型番 PC-PR201PL-RM）
  NEC日本語シリアルプリンタの制御コード（201PL）についての解説書です。

シートフィーダ

プリンタにシートフィーダを取り付けることにより、カット紙、はがきおよび複写紙を自動的に連続給紙できます。

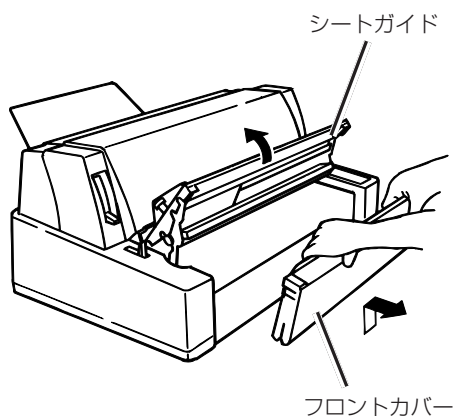
各部の名称

シートフィーダの取り付け・取り外し

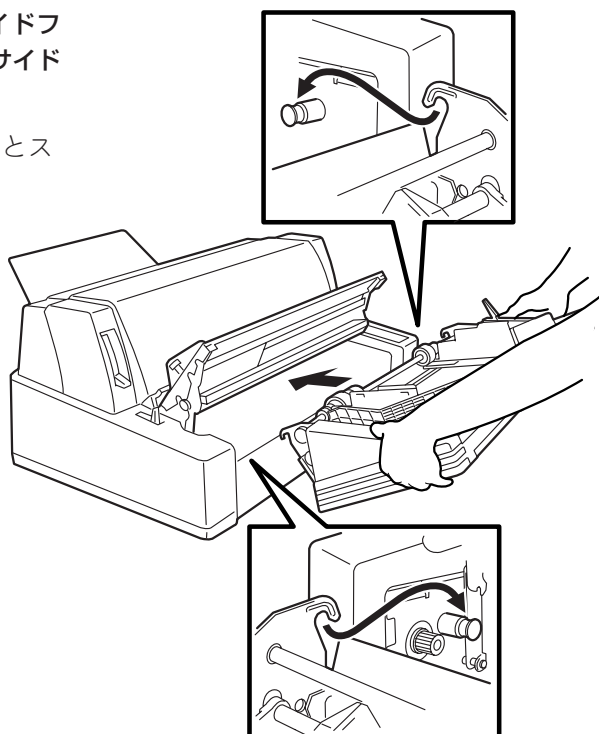
シートフィーダの取り付け、取り外しの前は、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。

1 プリンタの電源スイッチをOFFにする。

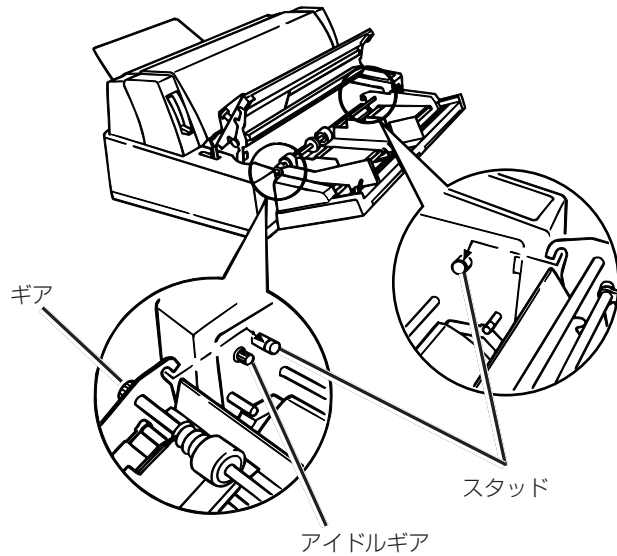
2 シートガイドを開き、フロントカバーをまっすぐ上に引いて取り外す。

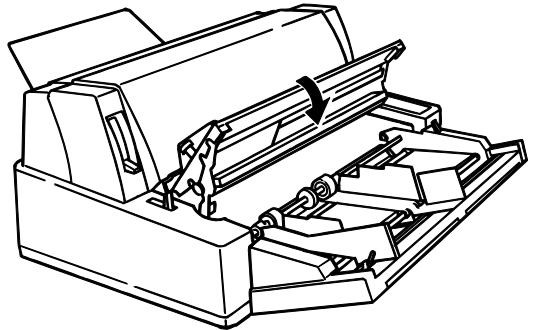
ヒント

取り外したフロントカバーはシートフィーダを取り外して使うときに使用します。大切に保管してください。

3 シートフィーダを両手で持ち、サイドフレームの切り欠き部分をプリンタ両サイドのスタッドに差し込む。

このとき、左側のサイドフレームとスタッドの溝を合わせます。

4 スタッドを支点にして押し下げる。

✔チェック

このとき、左側のギアがアイドルギアと噛み合っていることを確認します。

5 シートガイドを閉じる。

シートガイドを閉じるときは、シートガイドを上に持ち上げ、左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。

ヒント

シートフィーダの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

カット紙のセット

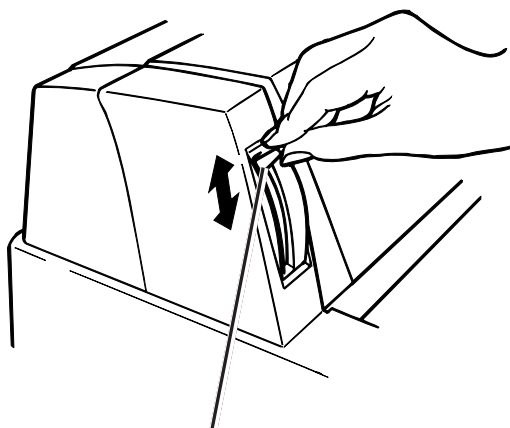
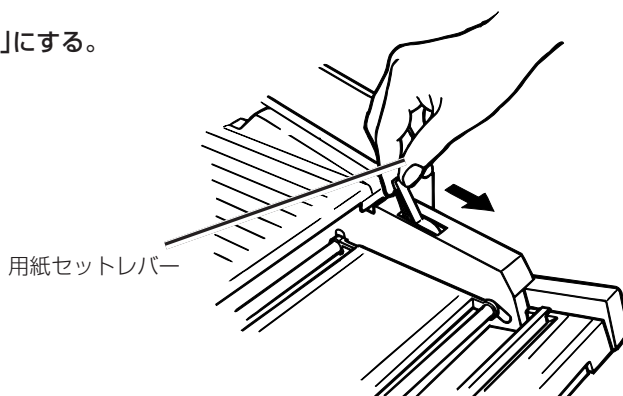
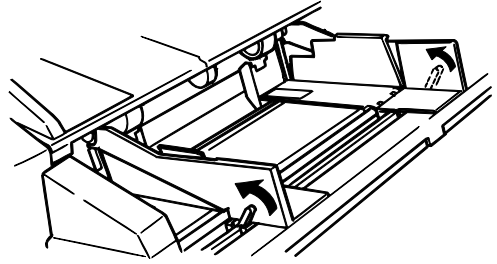
カット紙は、まとめてシートフィーダにセットします。次の手順に従って用紙をセットしてください。使用できる用紙は、カット紙、はがきおよび複写紙です。封筒は使用できません。用紙の挿入方向、 用紙の規格については、「付録B 用紙の規格と印刷範囲」(178ページ)を参照してください。

1 **電源スイッチをONにする。**

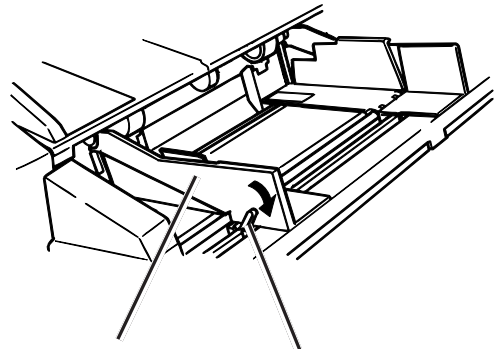
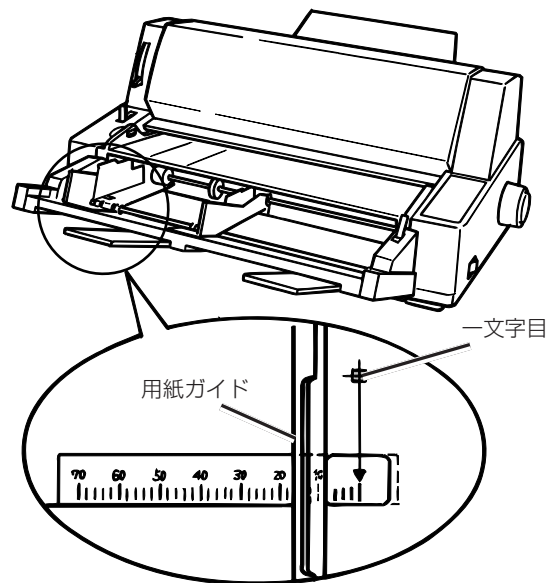
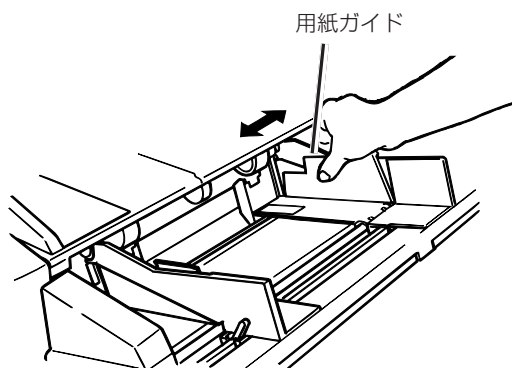
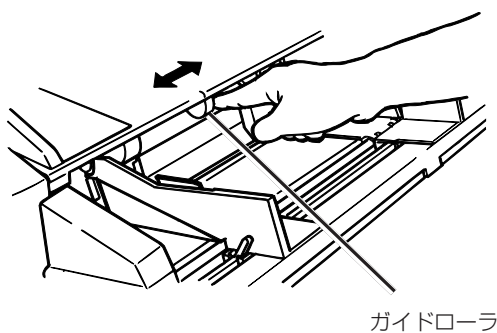
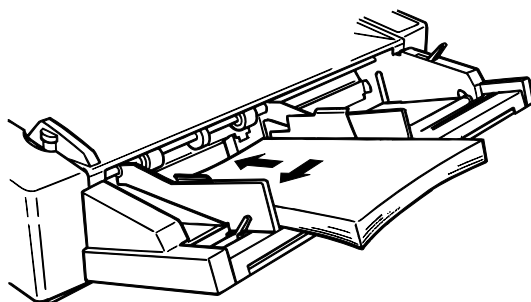
2 **ディスプレイの下段に“シートフィーダ゛”と表示されるまで[用紙選択]スイッチを押す。**

用紙
選択

3 **用紙厚調整レバーを「自動」に合わせる。**

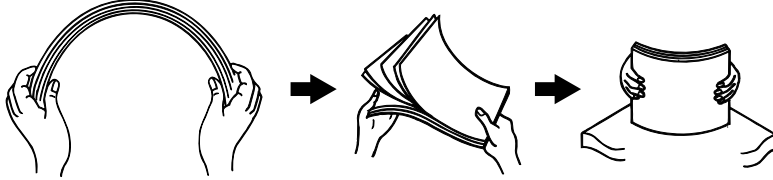
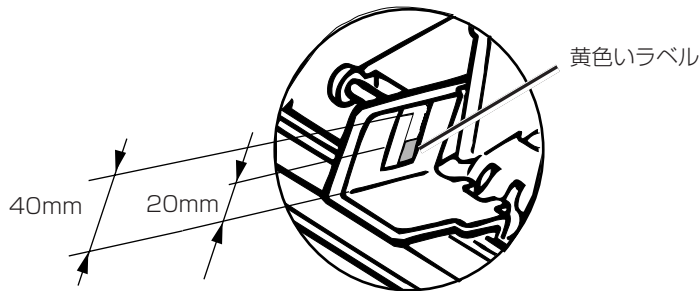
カット紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(86ページ)を参照してください。

4 **用紙セットレバーを「RESET」にする。**

5 左右の用紙ガイド固定レバーを「RELEASE」にする。

6 シートフィーダ上の目盛の「▼」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド(左)の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを手前側「LOCK」にして固定する。

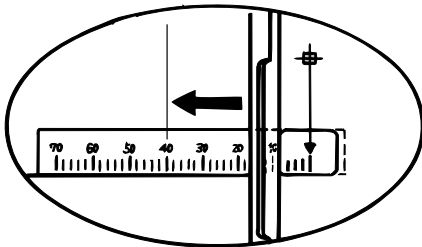
「▼」マークは1文字目の中心を示しています。

書式の印刷をする場合は、用紙ガイド(左)を右へ突き当てて固定してください。

7 用紙ガイド(右)をセットする用紙の幅よりやや広めの位置まで移動させる。

8 ガイドローラを用紙幅の中央にセットする。

9 用紙は印刷する面を表にして、左端を用紙ガイド(左)に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込む。

チェック

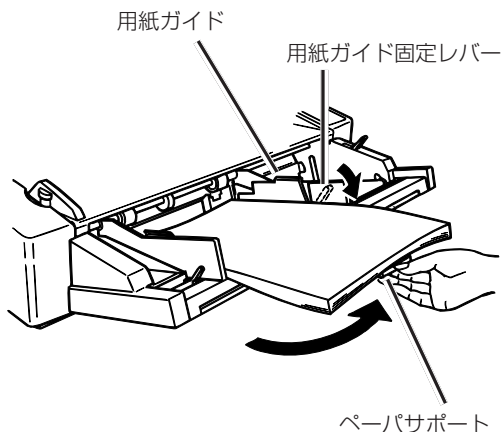
用紙幅が100mm以上の用紙を使用してください。

ヒント

- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。

- 折り目, しわ, 傷, 反りがあるもの, 用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質, 厚さ, 大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 用紙のつぎ足しは行わないでください。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が40mm以下です。
- B4のような大きなサイズの場合は、総紙厚20mm以下にしてください。(用紙ガイドの黄色の目印以下です。)目安は坪量64.0g/m²(連量55kg相当)の用紙で約220枚です。

- 一般紙の場合、坪量64.0g/m²紙(連量55kg相当)で約450枚です。

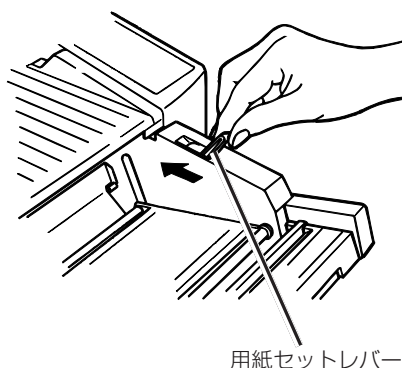
  はがきの場合、官製はがきで約150枚です。
- A3横置きにする場合は、ペーパガイド(左)を目盛り上の40の位置に合わせてください。

- 官製はがきの両面に印刷する場合は、片面の印刷後、反りをなくしてから反対側の面を印刷してください。

10 用紙ガイド(右)を用紙幅に合わせ、用紙ガイド固定レバーを手前側「LOCK」にして固定する。

用紙のサイズおよび長さに応じてペーパサポートを引き出します。

11 用紙セットレバーを静かに「SET」にする。

以上で、用紙のセットは完了です。

ヒント

- 用紙セットレバーを「SET」にしてもセット状態にならない場合がありますが、給紙動作が開始されるとセット状態に自動的に切り替わります。
- 用紙セットレバーが「RESET」のままで給紙動作を行わないでください。
- 印刷済みの用紙が総紙厚約16mm(A4サイズ200枚)になったらスタッカから用紙を取り除いてください。
- メモリスイッチ2-4(MSW2-4)がONの状態で、異なる用紙種類を使用しときは用紙厚を毎回検出するため印刷速度が遅くなります。メモリスイッチ2-4(MSW2-4)をOFFにすると、印刷速度を早くすることができます。
- 電源がONの状態で厚さの異なる用紙をセットした場合は[SEL/印刷可]スイッチを押し、いったんディセレクト状態にした後、再度[SEL/印刷可]スイッチを押してセレクト状態にしてください。印刷開始前に自動用紙厚測定を行います。(メモリスイッチ2-4(MSW2-4)がOFFの時のみ)

12 [吸入/退避]スイッチを押す。

用紙が吸入されます。

吸入
退避

用紙の排出

印刷したカット紙はスタッカまたはシートガイドに排出することができます。それぞれの排出先を設定する方法は以下を参照してください。

複写式用紙に印刷した場合は、プリンタ背面のスタッカに排出してください。シートガイド上に排出すると紙づまりなどを起こす原因となります。

スタッカに排出する

通常自動的にプリンタ背面のスタッカに排出されるので、何も指定する必要はありません。
スタッカに一度にスタックできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が16mm以下です（坪量64.0g/m²(連量55kg相当）の用紙の場合はA4カット紙約200枚スタックできます）。

あらかじめメモリスイッチ4-7（MSW4-7）をONにすると、ソフトウェアからシートガイドに排出させるコマンドを送っても常にスタッカに排出されます。（メモリスイッチの設定方法は、「スペシャルメニューモード」（112ページ）をご覧ください。）

シートガイドに排出する

メモリスイッチ4-7（MSW4-7）をOFFにし、排出方向指定コマンドにより指定してください。
ただしこの場合は、排出した用紙を取り除かないと次の用紙を吸入できません。

4 オプション

シートフィーダでの用紙の吸入位置の微調整

シートフィーダ使用時の用紙吸入位置の微調整は以下の手順で行います。なお、シートガイドで設定した用紙吸入位置微調量は、シートフィーダでは無効ですので、改めて設定し直してください。

ヒント

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行(文字下端)までの距離が0〜32.1mmになる範囲です。
- 微調モード中に[▼]スイッチを押した場合、用紙は最大5mmまでしか戻りません。更に多く用紙を戻したい場合は、いったん用紙を排出してから再度微調整を行ってください。

1 [吸入/退避]スイッチを押す。

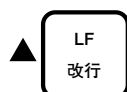
カット紙を吸入します。

2 [SEL/印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

3 [ADJ.MODE/微調モード]スイッチを押して微調モードにした後、[▲]スイッチと[▼]スイッチを使って用紙吸入位置を微調整する。

ディスプレイ上段に、右のように表示されます。

まず[▼]スイッチで用紙を多めに戻してから[▲]スイッチで微調整するようにしてください。

4 微調整が終了したら[SEL/印刷可]スイッチを押す。

新しい吸入位置がプリンタに記憶されます。

シートフィーダ使用時の注意

シートフィーダを使用するときは次のことに注意してください。

- 用紙がプリンタ内に残ったまま電源をONにしたり、ソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、その用紙は自動的に排出されます。
- 電源ON時や強制リセット時には、ホッパに用紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙ランプは消灯しています。
- シートフィーダを使ってテスト印刷を行うときは、あらかじめ用紙を吸入しておく必要はありません。[改頁]スイッチを押しながら電源をONにすると、用紙が自動的に吸入されてテスト印刷が始まります。(用紙があらかじめ吸入されていた場合は、プリンタはその用紙を排出してから新しい用紙を吸入してテスト印刷を開始します。)
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- ペーパサポートの上に用紙などの物を載せないでください。

LANアダプタ

MultiImpact 700EXには各種のネットワークに接続するLANアダプタ（型番 PR-NP-07）がオプションで用意されています。

LANアダプタの詳しい取り扱いについては、LANアダプタに添付の取扱説明書をご覧ください。

プリンタケーブル

MultiImpact 700EXには、プリンタケーブル（コンピュータとプリンタをつなぐケーブル）が添付されていません。次の表をご覧になり、適切なプリンタケーブルを別途お買い求めください。

コンピュータ本体		プリンタケーブル
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）		PC-PRCA-01（1.5m） PC-CA205（4m）*[1]
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CanBeJam CEREB 98FINE PC-H98シリーズ*[3]	PC-CA202（1.5m）*[2] PC-CA204（4m）
	PC-98XA・XL・XL[2]・RL*[3]	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインタフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203（4m）
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ*[3] SV-98シリーズ	PC-CA204（4m）
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202（1.5m）*[2] PC-CA204（4m）
	上記以外の20ピンパラレルインタフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19（1.5m）
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202（1.5m）*[2] PC-CA204（4m）
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202（1.5m）*[2] PC-CA204（4m）

*[1] PC98-NXシリーズでのみ使用可

*[2] PC-H98-K05と同等、長さ1.5m

*[3] ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可

チェック

- コンピュータ本体とプリンタとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタ共有器などを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションの「LANアダプタ」と専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピュータについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

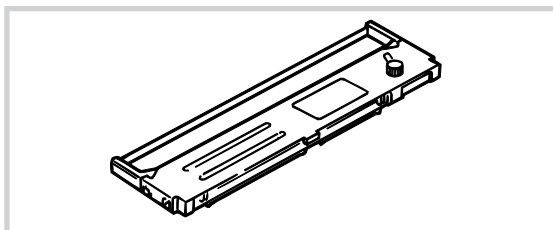
日常の保守

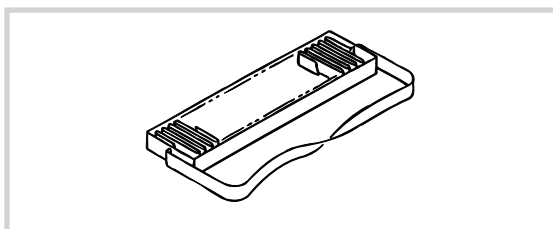
インクリボンカートリッジの購入

MultiImpact 700EXでは下記の型番のインクリボンカートリッジを使用しています。
NEC指定以外のインクリボンカートリッジの使用は印刷ヘッドの寿命を縮めたり、印刷障害およびプリンタ本体の故障の原因となる場合があります。この場合、無償修理の対象外となります。指定のインクリボンカートリッジをご購入の上、ご使用ください。
インクリボンカートリッジは本プリンタをお買い求めになった販売店でお求めください。

印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジは使用期限内にお使いください。

- **インクリボンカートリッジ**
  (型番 PR-D700EX-01)

  黒単色印刷のためのインクリボンカートリッジです(プリンタ購入時に1個標準添付されています)。MultiImpact 700EXでは上記の型番のインクリボンカートリッジをお使いください。

- **交換用インクリボン(黒)**
  (型番 PR-D700EX-05)

  インクリボンカートリッジ(型番 PR-D700EX-01)の交換用インクリボンです。インクリボン交換の手順は「インクリボンの交換」(154ページ)をご覧ください。

インクリボンカートリッジの交換

ここではインクリボンカートリッジの取り外しとインクリボンの交換方法について説明します。印刷結果が薄くなったときには、インクリボンを交換してください。

チェック

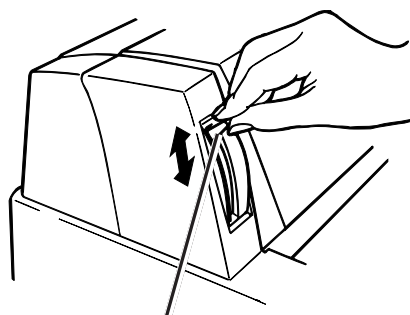
- インクリボンの交換はインクリボンカートリッジを取り外して行います。
- インクリボンを交換してインクリボンカートリッジを使用できるのは、一個のインクリボンカートリッジにつき5回までです。それ以上でのご使用はプリンタの故障の原因となるおそれがあります。新しいインクリボンカートリッジをご使用ください。

インクリボンカートリッジの取り外し

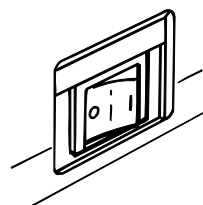
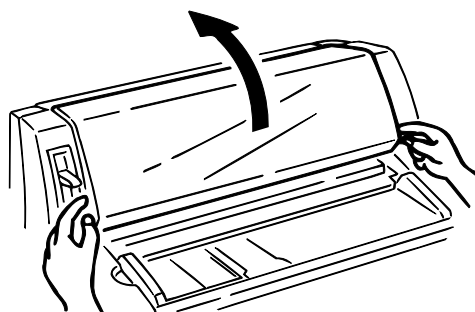
次の手順でインクリボンカートリッジを取り外します。取り付けは1章「6 インクリボンカートリッジを取り付ける」(26ページ)を参照してください。

1 用紙厚設定レバーを「8」または「9」に移動する。

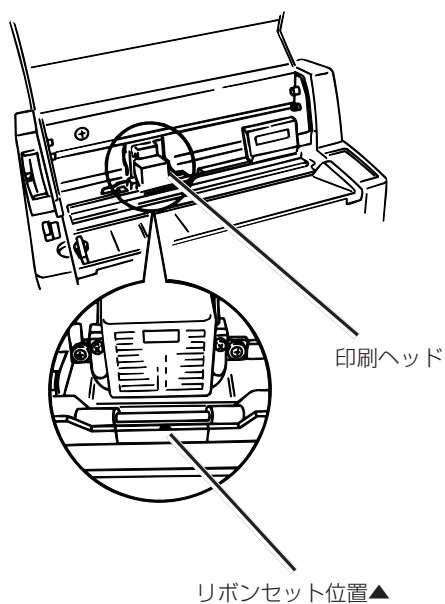
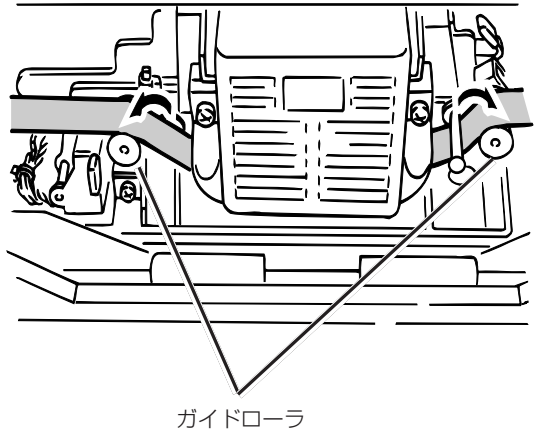
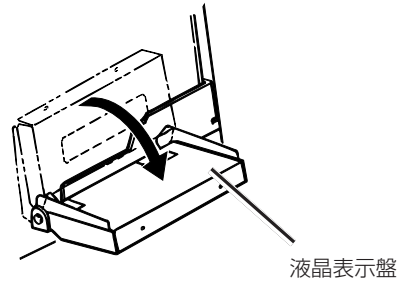
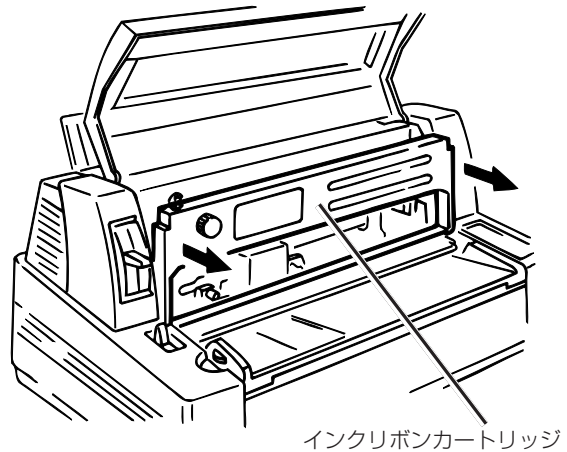
ヒント

電源がONになっていないと用紙厚設定レバーを操作することはできません。電源がONになっていることを確認して、レバーを動かしてください。

2 電源スイッチをOFFにする。

⚠ 注意

電源をONにしたまま、インクリボンカートリッジの交換をしないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

3 トップカバーを開く。

4 印刷ヘッドを、「リボンセット位置▲」に移動する。

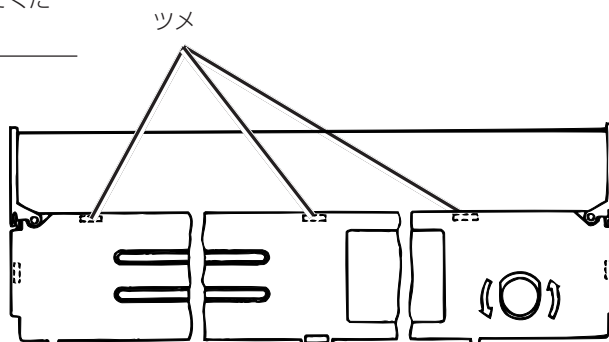
⚠ 注意

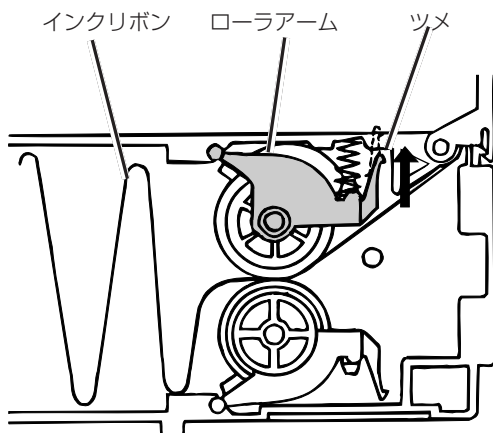
印刷直後には印刷ヘッドが高温になっていますので、印刷ヘッドに触らないでください。インクリボンカートリッジの取り付けは、印刷ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 印刷ヘッド左右のガイドローラを外側に倒し、インクリボンを外す。

6 液晶表示盤を手前に倒す。

7 インクリボンカートリッジの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を手前に引いて外す。

インクリボンの交換

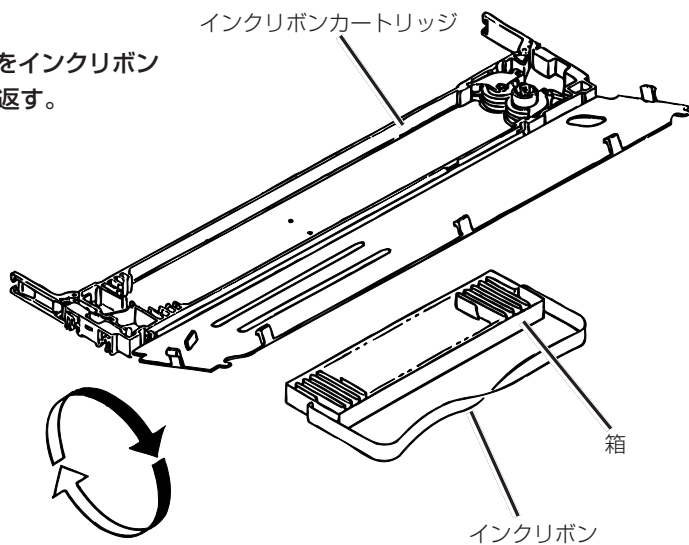
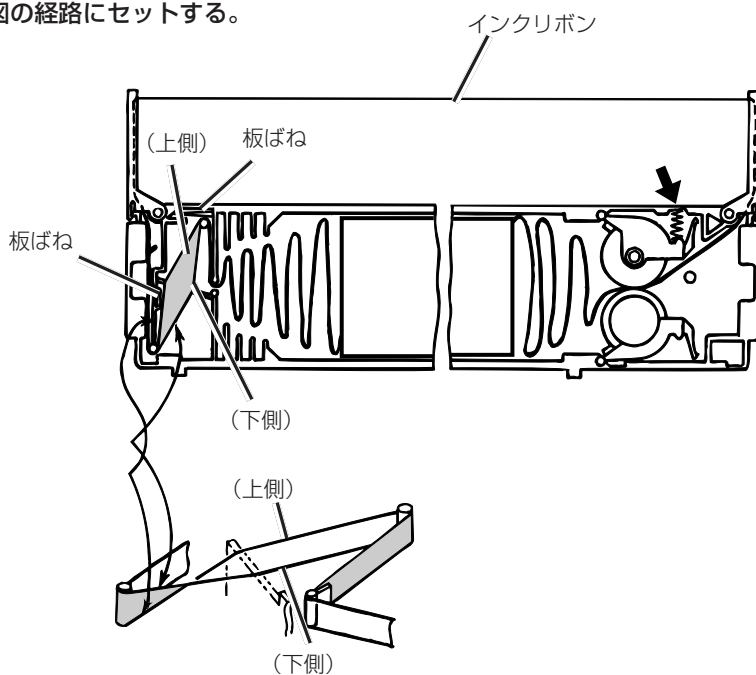
次の手順でインクリボンカートリッジ内のインクリボンを交換してください。インクリボンは、MultiImpact 700EX指定の交換用インクリボン(型番 PR-D700EX-05)をご使用ください。NEC指定以外のインクリボンの使用は印刷ヘッドの寿命を縮めたり、印刷障害およびプリンタ本体の故障の原因となる場合があります。この場合、無償修理の対象外となります。

1 **インクリボンカートリッジ のふたに付いているツメ(3か所)を外し、ふたを開く。**

ヒント

インクリボンをセットするときは手が汚れないように付属の手袋を使用してください。

2 **ローラアームを図の矢印方向に押してツメをフレームに引っ掛ける。**

3 **使用済みのインクリボンを捨て、インクリボンカートリッジ の中および周囲, ローラ周辺のインクリボンくず、 繊維くずを取り除く。**

4 新しいインクリボンのビニールを取り除き、インクリボンを箱から20〜30cm程度引き出す。

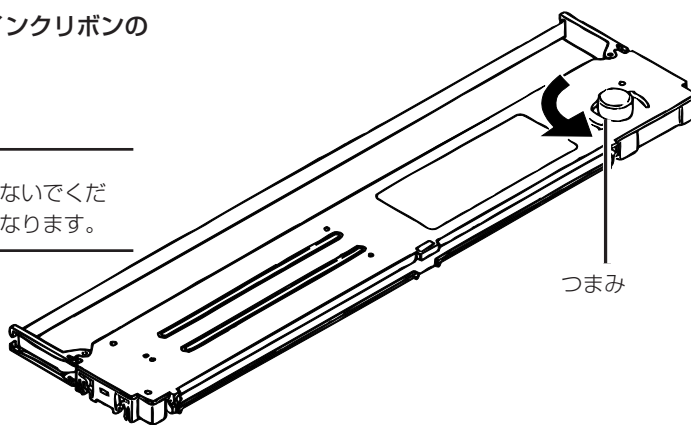
5 インクリボンカートリッジ をインクリボンの箱にかぶせて、一緒に裏返す。

6 インクリボンを図の経路にセットする。

7 インクリボンカートリッジ からインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除く。

8 ローラアームのツメを外す。

9 インクリボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないこと、ローラアームがフレームから浮き上がっていないこと確認してふたを閉じる。

10 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取る。

✔チェック

つまみを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

ヒント

- つまみを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- インクリボンの交換は1つのインクリボンカートリッジ に対して5回までです。インクリボンを5回交換したら、インクリボンカートリッジ を交換してください。交換の手順は「インクリボンカートリッジを取り付ける」(26ページ)を参照してください。

プリンタを運搬するときは

MultiImpact 700EXを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

⚠注意 MultiImpact 700EXの重さは本体だけで約35kgあります。一人で持つと腰を痛めることがありますので、運搬するときは二人で持つようにしてください。

5 日常の保守

1 電源スイッチをOFFにする。

プリンタおよびコンピュータの電源をOFFにします。

2 トップカバーを開けて、インクリボンカートリッジを取り外す。

「インクリボンカートリッジの取り外し」(151ページ)を参照してください。

3 ゴムダンパとキャリッジ押さえを取り付ける。

ゴムダンパおよびキャリッジ押さえは以下の手順により装着してください。

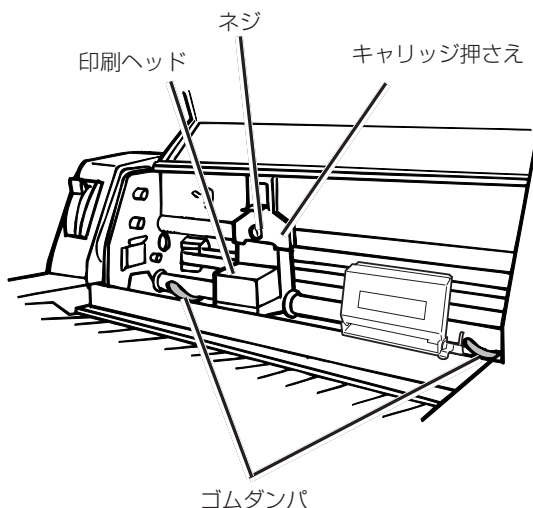
❶ 用紙を取り除き、用紙厚設定レバーを「自動」に合わせる。

❷ トップカバーを閉じて、電源をONにする。

❸ 電源を入れた状態からトップカバーを開ける。

印刷ヘッドがリトラクトし、リボン取り付け付け位置に移動します。

❹ ❸の状態で、電源をOFFにする。

❺ ゴムダンパおよびキャリッジ押さえを装着する。

✔チェック

ゴムダンパおよびキャリッジ押さえを装着せずに運搬した場合、印刷ヘッドとプラテン間のすき間(GAP)が狂ってしまい、アラームが発生し正常な印刷ができなくなる可能性があります。

4 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

✔チェック

電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張ると電源コードを破損するおそれがあります。

5 プリンタケーブルを取り外す。

プリンタからケーブルを外すときは、プリンタの外側の留め金具と、アース端子を留めているねじを外してからケーブルを抜きます。

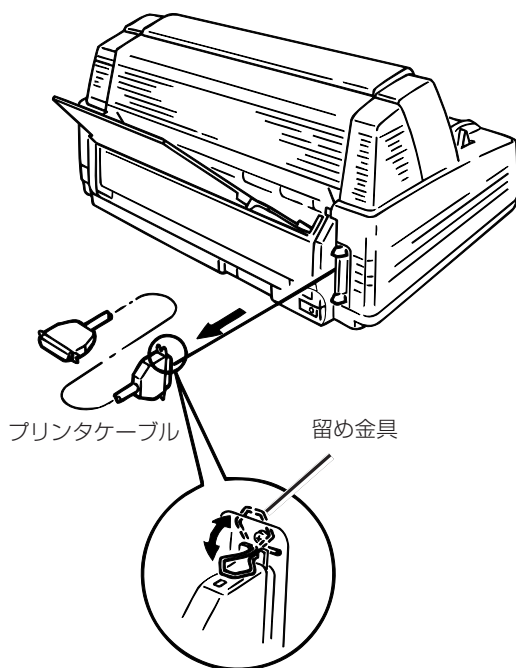
6 スタッカを取り外す。

7 オプションを取り外す。

オプションを取り付けていれば、取り外してください。取り外し方は4章「オプション」(131ページ)をご覧ください。

8 梱包する。

梱包材を取り付け、プリンタおよび付属品を箱に入れます。

これで運搬準備完了です。

プリンタの清掃

警告 プリンタを分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが落ちにくい場合は、次のような方法できれいにしてください。

1 プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。

2 シートガイドとスタッカを取り外す。

3 中性洗剤を薄めたぬるま湯（または水）に柔らかい布を浸し、よく絞る。

4 プリンタの汚れた部分を手順3の布で少し強めにこすって汚れをとる。

5 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度拭く。

6 最後に、乾いた布で拭く。

チェック

- シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質を傷めたり、変色の原因になることがあります。
- プリンタ内部は水などでぬらさないようにしてください。故障の原因となります。内部にゴミや異物があるときは、掃除機で吸い取ってください。
- プリンタ内部は機械部分の寿命を高めるために油を塗布しているところがあります。内部には手を触れないようにしてください。

プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジの処理について

プリンタを廃棄する

プリンタの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。
また、NECでも法人のお客様に販売したプリンタを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンタを有償でお客様から再資源化拠点まで回収しております。

回収を依頼される場合の連絡先

- NECロジスティクス株式会社　第1LSP事業部
  TEL　0120-802310（フリーダイヤル）
  FAX　0120-801722
  〒183-8501　東京都府中市日新町1-10

- NECフィールディング株式会社　保守ビジネス推進本部　第一ビジネス推進部
  TEL　03-3457-7161
  FAX　03-3457-1808
  〒108-0073　東京都港区三田一丁目4番28号（三田国際ビル）

- 株式会社シンシア　リサイクル事業部
  TEL　03-3799-5320
  FAX　03-3799-5322
  〒140-0003　東京都品川区八潮3-2-10

インクリボンカートリッジの処理について

NECでは、資源の有効活用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製インクリボンカートリッジの回収を行っております。恐れ入りますが、使い終りましたインクリボンカートリッジがございましたら、全国のNECサービス窓口（添付のサービス網一覧参照）のカウンターにお持ち頂き、回収にご協力をお願いいたします。

* 詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3rをご覧ください。

お近くにNECサービス窓口がない場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

故障かな？
と思ったときは

故障かな？と思ったときは

ここでは、プリンタにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

- 操作パネルのアラームランプ、用紙ランプのいずれかが点灯または点滅し、ディスプレイにエラーを示す表示が出ているときは、「エラー表示が出ているときは」(163ページ)をご覧になり、処置してください。
- エラー表示が出ていないのにプリンタが正常に動作しないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(165ページ)をご覧になり、処置してください。

処置を終えたら、必要に応じて「7 テスト印刷をする」(32ページ)に従ってプリンタが正しく動作することを確認してください。

示された処置を行ってもプリンタが回復しない場合は、「アフターサービスについて」(10ページ)をお読みになり、サービス窓口にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になると、アラームランプ、用紙ランプのいずれかが点灯または点滅し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

MultiImpact 700EXのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンタの故障が考えられます。「アフターサービスについて」(10ページ)をお読みになり、サービス窓口にご相談ください。

エラー表示(1/2)

□・・・点灯　(点滅)・・・点滅　■・・・消灯

LED表示		液晶表示盤	アラームの内容と処置方法
アラーム	用紙		
点滅	■	リリースレバ゛ー　アラーム レバ゛ーヲ　キリカエテクダ゛サイ	**リリースレバーが「開放」になっています。** →リリースレバーを「自動」にしてください。
点滅	■	ヨウシ　アラーム ヨウシヲ　カクニンシテクダ゛サイ	**使用している用紙の種類とプリンタで設定している給紙方法が違っています。** →用紙を取り替えるか、操作パネルスイッチで給紙方法の設定を変更してください。
点滅	■	カバ゛ーオープ゜ン カバ゛ーヲ　トシ゛テクダ゛サイ	**トップカバーが開いています。** →トップカバーを閉じてください。
点滅	■	ヘ゜ーパ゜ーガ゛イド゛クローズ゛ ガ゛イド゛ヲ　ヒライテクダ゛サイ	**ペーパガイドが閉じています。** →ペーパガイドを開いてください。
点滅	■	シートガ゛イド゛オープ゜ン ガ゛イド゛ヲ　トシ゛テクダ゛サイ	**シートガイドが開いています。** →シートガイドを閉じてください。
点滅	点滅	ヨウシ　ツ゛マリ	**シートガイドまたはシートフィーダ使用時に、印刷ヘッドまで用紙が吸入されませんでした。** **シートフィーダ使用時に、規定より長い用紙を検出しました。** →用紙を正しくセットし直してください。 紙づまりの場合は、詰まった用紙を取り除いてから[SEL/印刷可]スイッチを押して、用紙をセットし直してください。
点滅	点滅	ヨウシ　ハイシュツ　エラー	**シートガイド使用時またはシートフィーダ使用時に用紙排出が正しく行われませんでした。** →紙づまりの場合は、詰まった用紙を取り除いてから[SEL/印刷可]スイッチを押して、用紙をセットし直してください。
点滅	点滅	ヨウシ　タイヒ　エラー	**連続紙の退避が正しく行われませんでした。** →連続紙をカットするか、[吸入/退避]スイッチを数回押して連続紙をセット位置に戻してください。 紙づまりの場合は、詰まった用紙を取り除いてから[SEL/印刷可]スイッチを押してください。
点滅	■	カイキ゛ョウハンイ　オーバ゛ー	**ページ先頭位置から逆方向に改行しようとしました。** →ページ先頭位置を超えない印刷データを送信してください。 アラームは、[SEL/印刷可]スイッチ、[排出/カット]スイッチ、[吸入/退避]スイッチ、[T.O.F/改頁]スイッチ、[用紙選択]スイッチのいずれかを押すと解除できます。
点滅	点滅	ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシ　ハイシュツ　エラー	**用紙切り替え中にカット紙排出が正しく行われませんでした。** →紙づまりの場合は、詰まった用紙を取り除いてから[SEL/印刷可]スイッチを押してください。

エラー表示(2/2)

□・・・点灯　◇・・・点滅　■・・・消灯

LED表示		液晶表示盤	アラームの内容と処置方法
アラーム	用紙		
◇	◇	ヨウシ　キリカエチュウ レンゾ゛クシ　ジ゛ョキョマチ	**用紙切り替え中に連続紙の退避が正しく行われませんでした。** →連続紙をカットするか、［吸入/退避］スイッチを数回押して連続紙をセット位置に戻してください。 紙づまりの場合は、詰まった用紙を取り除いてから［SEL/印刷可］スイッチを押してください。
■	◇	ヨウシ　キリカエチュウ カットシ　ヌキトリマチ	**用紙切り替え中に排出されたカット紙がシートガイドに残っています。** →カット紙を取り除いてください。
■	◇	ヨウシヲ　トッテ　クダ゛サイ	**用紙がシートガイドに残っています。** →用紙を取り除いてください。
□	◇	ＡＬ―89　ＴＲＡＣＴＯＲ ハ゜ワー　ＯＦＦ　シテクダ゛サイ	**電源がONの状態でリアトラクタの切り替えが行われました。** →電源をOFFにしてリアトラクタの切り替えを行ってください。
□	◇	ＡＬ―90　ＧＵＩＤＥ ハ゜ワー　ＯＦＦ　シテクダ゛サイ	**ペーパガイドが閉じています。** →電源をOFFにしてペーパガイドを開き、再度電源をONにしてください。62ページ手順16を参照してください。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示がでていないのに、プリンタが思うように動作しない場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。

症　状	確認と処置
電源ランプが点灯しない。	**電源コードがコンセントから抜けていませんか。** →　電源をOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	電源がOFFになっていませんか。 →　電源をONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 →　コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。（スイッチがないときは、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
電源ランプがいったん点灯した後消灯してしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない。	**コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。** →　プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、サービス窓口にご相談ください。
印刷動作をしない。	**[印刷可]ランプが消灯していませんか。** →　[印刷可]スイッチを押して[印刷可]ランプを点灯させてください。
	[用紙]ランプが点灯していませんか。 →　用紙を正しくセット・吸入して[印刷可]スイッチを押してください。
	プリンタケーブルが外れていませんか。 →　プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
印刷音はしているのに印刷されない。	**インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。** →　正しく取り付け直してください。
印刷速度が急に遅くなった。	**長時間印刷を続けていませんか。** →　ディスプレイに“ヘッド゛コウオン”と表示されます。印刷ヘッドが高温になったため、両方向最短印刷から片方向印刷に切り替えています。印刷ヘッドの温度が下がれば元の印刷速度に戻りますので、しばらくお待ちください。
	紙厚の厚い用紙を使っていませんか(複写紙の場合は総紙厚)。 →　用紙の厚さによって、少し印刷速度が遅くなります。
印刷が欠ける。	**インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。** →　正しく取り付け直してください。
	インクリボンがたるんだり、印刷ヘッドから外れかけたりしていませんか。 →　インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。
印刷が横一列に欠ける。	印刷ヘッドのピンが折れています。サービス窓口にご相談ください。

症　状	確認と処置
左右端の文字が印刷されない。	**印刷範囲より狭い用紙に印刷を行いませんでしたか。** →　印刷範囲に合った用紙をセットし直してください。
印刷が薄い。	**インクリボンのインクが薄くなったり、波を打つような状態になっていませんか。** →　新しいインクリボンカートリッジと交換してください。
シートガイドから吸入されない。	**用紙はしっかりと差し込まれていますか。** →　突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。
	ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示されていますか。 →　[用紙選択]スイッチを何回か押して、ディスプレイの下段に“シートカ゛イト゛”と表示させてください。
シートガイドから曲がって吸入される。	**用紙はペーパガイドに沿ってまっすぐにしっかりと差し込まれていますか。** →　突き当たる感じがするまで、用紙をペーパガイドに沿ってまっすぐにしっかりと差し込んでください。
	ペーパガイドの位置は正しいですか。 →　ペーパガイドを正しくセットしてください。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 →　新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 →　規格内の用紙を使用してください(「付録B　用紙の規格と印刷範囲」(178ページ参照)。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない。	**ディスプレイの下段に“シートフィータ゛”と表示されていますか。** →　[用紙選択]スイッチを何回か押して、ディスプレイの下段に“シートフィータ゛”と表示させてください。
	用紙が正しくセットされていますか。 →　用紙をセットし直してください。
	シートフィーダは正しく取り付けられていますか。 →　シートフィーダを正しく取り付け直してください。
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送れない。	**セットする用紙が多すぎませんか。** →　セットする枚数を減らしてください。ホッパに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m²(連量55kg)のA4サイズの用紙の場合で約450枚です。
	スタッカに用紙がたまりすぎていませんか。 →　スタッカの印刷済み用紙を取り除いてください。スタッカに一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m²(連量55kg)A4サイズの用紙で200枚以下です。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 →　新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 →　規格内の用紙を使用してください(「付録B　用紙の規格と印刷範囲」(178ページ参照)。

症　状	確認と処置
連続紙が吸入されない。	**用紙がトラクタから外れていませんか。** →用紙をトラクタに正しくセットしてください。
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中で引っかかってしまう。	**用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。左右でずれていませんか。** →　用紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合うようにセットし直してください。
	左右のトラクタの間隔が狭いために用紙がたるんでいませんか。 →　左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。
	セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。 →　用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。（「連続紙の置き方」（150ページ）参照）
	用紙が何かに引っかかっていませんか。 →　用紙が引っかかっているものを取り除いてください。
	用紙は規格に合っていますか。 →　規格内の用紙を使用してください（「付録B 用紙の規格と印刷範囲」（178ページ）参照）。
ミシン目スキップがずれてしまう。	**用紙長の設定が使用している用紙の用紙長に合っていますか。** →　連続紙の用紙長を正しく設定してください（「設定の詳細（メニューモード）」（108ページ）参照）。

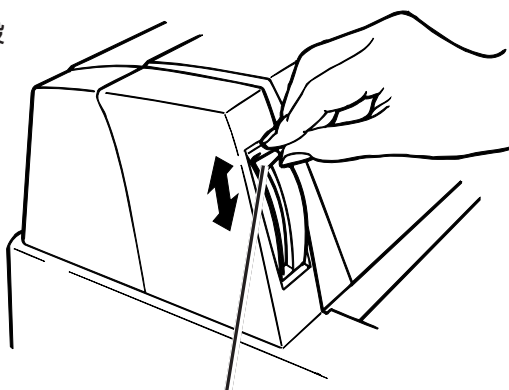
以上のことを確認して、それぞれの処置方法に従っても症状が改善されない場合は、「アフターサービスについて」（10ページ）をお読みになり、サービス窓口にご相談ください。

紙づまりのときは

連続紙の紙づまり

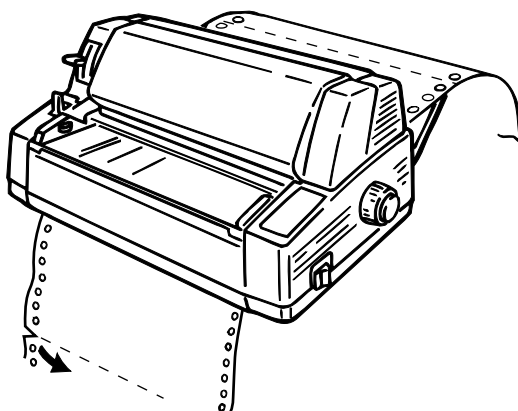
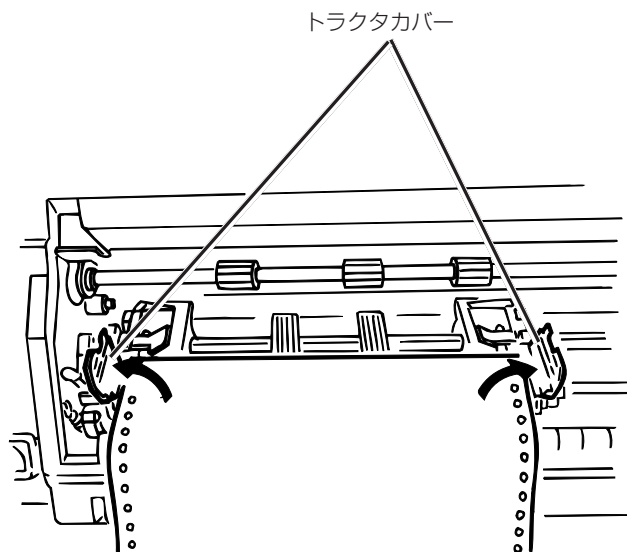
1 **電源スイッチをONにした状態で、用紙厚設定レバーを「8」または「9」にする。**

ヒント

電源スイッチがONになっていないと、用紙厚設定レバーを操作できません。

2 **電源スイッチをOFFにする。**

⚠ 注意

電源をONにしたまま作業しないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

3 **印刷前の連続紙を切り取る。**

4 トラクタから連続紙を外す。

5 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前または後ろ側に引き出す。

破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を2〜3枚重ねてトラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

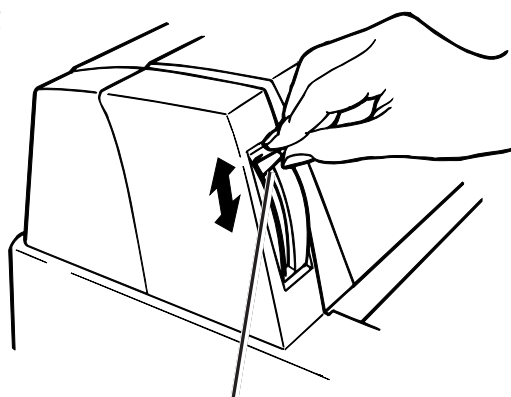
ヒント

リア/フロントPUSHトラクタのときは、プラテンノブを内側に押し込みながら回してください。

6 用紙厚設定レバーを元に戻す。

カット紙の紙づまり

カット紙が内部でつまったとき

1 電源スイッチをONにした状態で、用紙厚設定レバーを「8」または「9」にする。

ヒント
電源スイッチがONになっていないと、用紙厚設定レバーを操作できません。

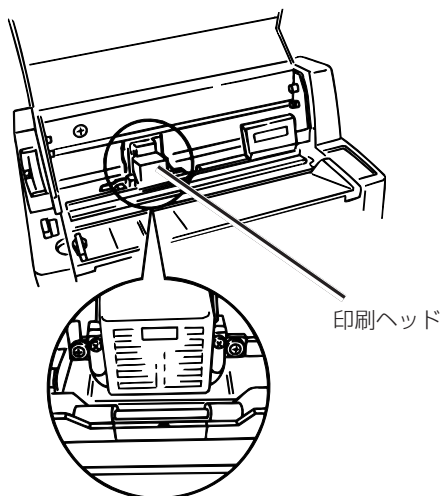
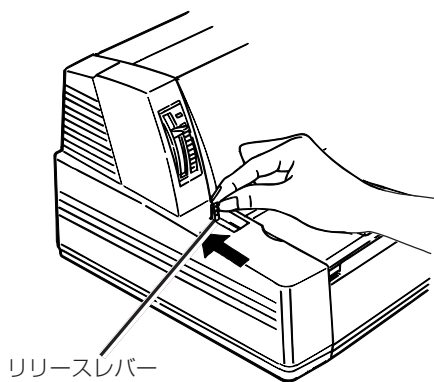
2 電源スイッチをOFFにする。

⚠ 注意

電源をONにしたままカバーを開けて作業しないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

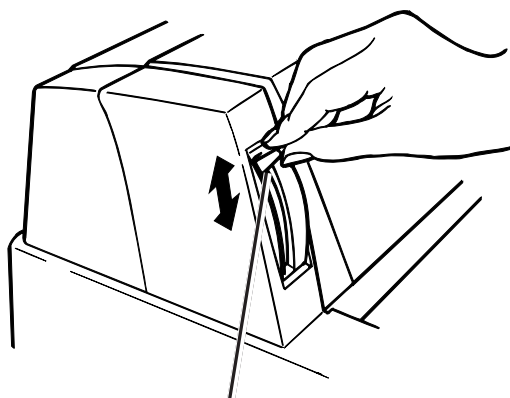
3 トップカバーを開けて、印刷ヘッドを用紙のないところへ移動する。

⚠ 注意

印刷直後は印刷ヘッドが高温になっているので、印刷ヘッドには触らないでください。印刷ヘッドの移動は、印刷ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 リリースレバーを「開放」にし、プラテンノブを内側に押し込みながら回し、カット紙を手前または後ろに引き出す。

5 カット紙が取れたら、リリースレバーを「自動」に戻す。

6 用紙厚設定レバーを元に戻す。

破れたカット紙がプリンタ内部に残ったとき

1 用紙厚設定レバーを「8」または「9」にする。

ヒント

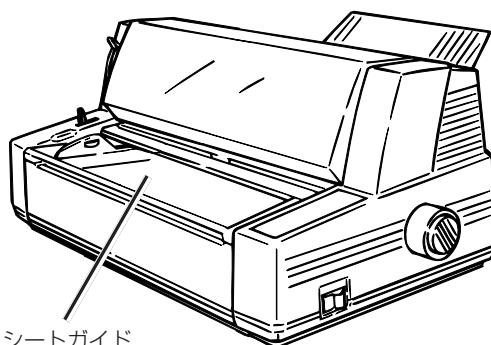
電源スイッチがONになっていないと、
用紙厚設定レバーを操作できません。

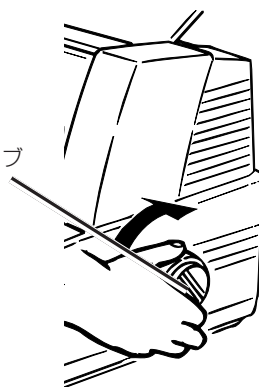
2 電源スイッチをOFFにする。

⚠注意

電源をONにしたままカバーを開けて作業しないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

3 見えている紙くずをピンセットで取り除く。

4 3つに折り畳んだカット紙をシートガイドから差し込む。

5 プラテンノブを内側に押し込みながら回してカット紙を送り、つまった紙くずを押し出す。

6 用紙厚設定レバーを元に戻す。

シートフィーダで紙づまりしたとき

用紙吸入時に用紙がつまったときは、アラームランプと用紙ランプが点滅します。このようなときは、次の手順に従って処理してください。

1 **プラテンノブを押したまま、時計回りに回して、つまったカット紙を取り除く。**

シートフィーダ内で紙づまりした場合は用紙を手前に引っ張り、シートフィーダから取り除いてください。

2 **[SEL/印刷可]スイッチを押す。**

印刷ランプが点灯します。

SEL
印刷可

付　録

～MultiImpact 700EXの詳細～

付録A　仕様

印刷方式　インパクトドットマトリクス方式

印刷ヘッドワイヤ数　24本（ひし形配列）

印刷ヘッドワイヤ径　0.2mm

解像度　約6.3ドット/mm（160DPI）

印刷桁数と印刷速度

文字種類			印刷桁数／行	印刷速度／秒	
				標準	高速印刷
ANK（英数カナ）	パイカ	NHS	136字	495字	←
		HD	136字	255字	495字
	コンデンス		233字	566字	←
	エリート*		163字	307字	595字
	プロポーショナル		最大362字	272〜680字	528〜1320字
CGグラフィック	パイカ	NHS	136字	495字	←
		HD	136字	255字	495字
	コンデンス		233字	566字	←
	エリート*		163字	307字	595字
	プロポーショナル		136字	255字	495字
漢字（全角）		10.5P、3/20インチ幅	90字	170字	330字
		10.5P、1/5インチ幅	68字	128字	248字
		9.5P相当、1/6インチ幅	81字	153字	297字
		9.5P相当、2/15インチ幅	102字	192字	372字
		7P相当、1/10インチ幅	136字	170字	330字
		12P相当、1/6インチ幅	81字	153字	297字
グラフィック	8ビット	コピーモード	1088ドット	495字	←
		ネイティブモード	2176ドット	255字	495字
	16ビット		2176ドット	255字	495字
	24ビット		2176ドット	170字	330字

＊　エリートモードは、パイカモードでエミュレート（9ドット列を8ドット列に変換）しています。

印刷方向　両方向最短距離印刷および片方向印刷

混在印刷　同一行における文字種の混在についてはドット間隔の相違により数回に分けて印刷する。

改行幅　4.233mm（1/6インチ）、3.175mm（1/8インチ）、および0.212×n mm（n/120インチ）（n＝0〜99）

改行時間　約40ms（4.233mm（1/6インチ）改行時）

改行方向　順方向および逆方向

最小改行量

0.212mm（1/120インチ）

用紙送り方式

- シートガイド
- リアプッシュトラクタ
- フロントプッシュトラクタ
- リアプルトラクタ
- シートフィーダ（オプション）

用紙厚調整

自動または用紙厚設定レバーによるマニュアル指定

インクリボンカートリッジ

品名	可能印刷数	
	NHSパイカ	漢字
インクリボンカートリッジ（黒）	約700万字	約300万字

インタフェース

IEEE1284準拠双方向パラレル

使用コード

- 8ビットコード*
- 7ビットコード*
- 漢字コード

＊ メモリスイッチの設定によります。

環境

- 動作温度： 5℃～38℃
- 動作湿度： 10％～85％（シートフィーダ使用時は45％～70％）
- 保管温度： －25℃～60℃*
- 保管湿度： 0％～90％
- 塵埃量、ガス成分： 一般事務室程度

＊ 開梱後の状態での保管条件は、0℃～40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。

電源

100V±10％、50／60Hz共用

定格電流

5.2A

質量

約35kg

寸法

幅 668mm×奥行 415mm×高さ 310mm（プラテンノブ、スタッカ含まず）

消費電力

動作時最大： 500W（515VA）
動作時平均： 155W（170VA）
待機時（スタンバイ時）： 15W以下（15分以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、待機モードに入ります。この時、液晶表示盤ディスプレイのバックライトが消灯します。）
電源スイッチOFF時： 0W（電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています。）

騒音

約62dB（A補正）（測定はISO7779による）

定期交換部品

SPモータ： 印刷動作 2500時間
カードホルダマスク： 印刷動作 2000時間*
リボンガイド： 印刷動作 2000時間*
＊ ヘッド交換時にあわせて交換することをお勧めします。

ヘッド寿命

3億ドット／ピン（印刷ヘッドは有償交換部品です。）

製品寿命

使用年数7年

付録B　用紙の規格と印刷範囲

用紙サイズ

- 「印刷範囲」(180ページ)を参照してください。
- シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能定型用紙は次のとおりです。
  複写式用紙の場合は、縦置き、横置きにかかわらず、のり付け部分から先にセットして吸入させます。

◇　シートガイド使用時

使用方向	用紙サイズ					封筒	名刺
	A3	B4	A4	B5	A5		
縦置き	○	○	○	○	○	×	○
横置き	○	○	○	○	○	○	×

◇　シートフィーダ使用時

使用方向	用紙サイズ					封筒	名刺
	A3	B4	A4	B5	A5		
縦置き	○	○	○	○	○	×	×
横置き	○	○	○	○	○	×	×

用紙の種類

用紙の種類	給紙方法	印刷用紙＊2	
		種　類	坪　量(連　量)
カット紙	シートガイド	上質紙＊1	46.5～157.0g/m^2(40～135kg)
		複写式用紙 (感圧紙)	次ページ参照
		はがき	最大157.0g/m^2(135kg)
	シートフィーダ＊3 (オプション)	上質紙＊1	64.0～157.0g/m^2(55～135kg)
		複写式用紙 (感圧紙)	次ページ参照
		はがき	最大157.0g/m^2(135kg)
連続紙	トラクタユニット	上質紙＊1	46.5～128g/m^2(40～110kg)
		複写式用紙 (感圧紙、裏カーボン紙 ワンタイムカーボン紙)	次ページ参照

＊1　用紙は装置動作温度の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりが発生することがあります。その場合は紙質の良いものに変更してください。
＊2　プレプリント用紙においてパウダの付着があると用紙走行に支障をきたすおそれがあります。
＊3　シートフィーダはラベル紙(タック紙)を使用できません。

複写可能枚数

複写可能枚数は次のとおりです。

- シートガイド .... 8枚(オリジナル(1枚目)+ 7枚)
- トラクタ .... 8枚(オリジナル(1枚目)+ 7枚)
- シートフィーダ(オプション) .... 6枚(オリジナル(1枚目)+ 5枚)

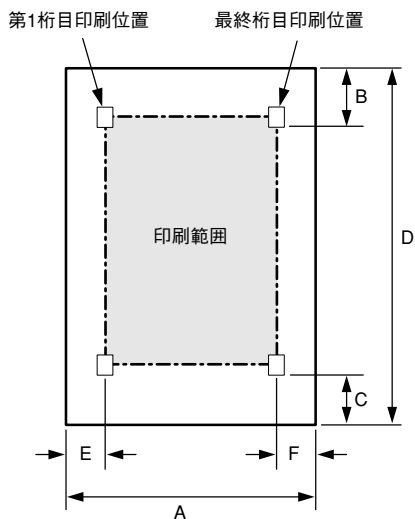
複写枚数と坪量(連量)

使用できる複写紙の坪量(連量)と複写枚数を次の表に示します。

複写枚数	1	2	3	4	5	6	7	8
	坪量(g/m^2)(連量(kg))							
1枚目	46.5〜157.0 (40〜135)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)
2枚目	—	50.0〜81.4 (43〜70)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)
3枚目	—		50.0〜81.4 (43〜70)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)
4枚目	—			39.5〜50.0 (34〜43)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)
5枚目	—				39.5〜50.0 (34〜43)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)
6枚目	—					39.5〜50.0 (34〜43)	34.9〜39.5 (30〜34)	34.9〜39.5 (30〜34)
7枚目	—						39.5〜50.0 (34〜43)	34.9〜39.5 (30〜34)
8枚目								39.5〜50.0 (34〜43)

- 複写枚数はオリジナル(1枚目)を含めます。
- 複写紙の最下層紙には、裏カーボン紙は使用しないでください。
- ワンタイムカーボン紙の場合の複写枚数は、総枚数です。
- 使用できるカット紙の厚さは複写紙で約0.48mmまでです。
- 推奨規格を超える厚さの用紙を使用する場合やシートフィーダから用紙が重なって吸入された場合は、印刷不可能(ディセレクト)状態になります。
- バーコード領域は反射率80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- バーコード使用時は、坪量81.4〜157.0g/m^2(連量70〜135kg)のカット紙を使用してください。
- 複写紙の途中に厚紙を挿入した場合、それより下層の用紙は印刷濃度が薄くなりますので注意してください。
- 複写紙の途中に厚紙を挿入した場合、それより下層の用紙は印刷濃度が薄くなりるおそれがあります。
- 複写紙の中にはがき等が含まれている場合、厚さに段差が生じ、印刷汚れ、または印刷かすれ等になるおそれがあります。

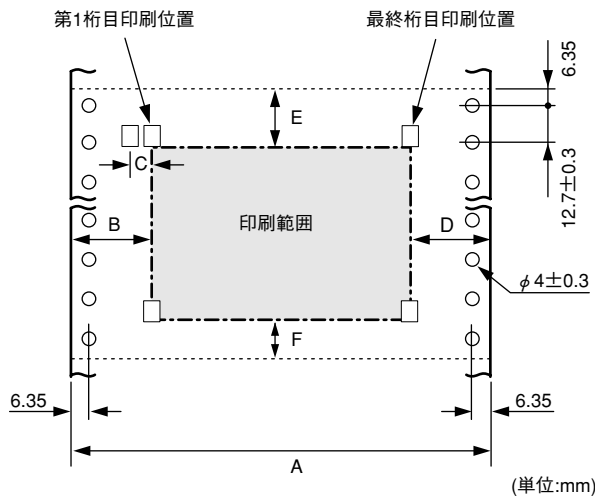
印刷範囲

カット紙

符号	項目	推奨印刷範囲		最大印刷範囲*1
		シートガイド	シートフィーダ	
A	用紙幅	55～420mm （2.16～16.5インチ）	100～364mm （3.94～14.3インチ）	–
B	用紙上端から第1印刷行までの距離 用紙吸入位置（工場設定）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±1mm（文字下端）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±2mm（文字下端）	0mm （文字下端） –
C	用紙下端から最終印刷行までの距離	6.3mm以上のこと	6.3mm以上のこと	3mm （文字下端）
D	用紙長	90～420mm （3.5～16.5インチ）	90～364mm （3.5～14.3インチ）	–
E*2	用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと （文字中央）	6.3mm以上のこと （文字中央）	1.5mm （文字左端）
F*2	用紙右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと （文字中央）	6.3mm以上のこと （文字中央）	1.5mm （文字右端）

＊1　最大印刷範囲で印刷した場合、印刷精度が保証できないだけでなく、用紙ジャム等が発生する場合があります。印刷は推奨印刷範囲で行うことをお勧めします。
＊2　A3横サイズ用紙を使用する場合（シートガイドのみ）、E・F寸法は約38.6mmとなります。

カット紙に関する注意

- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置がばらつくことがあるためできるだけ避けてください。
- 用紙上端から約50mmまでおよび用紙下端から約50mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷(拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙を自動吸入した場合、用紙吸入位置は0～32.1mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法については、「用紙吸入位置の微調整」(83ページ)を参照してください。
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- 用紙の保存状態などにより用紙のカールが発生した場合は、カールを直して使用してください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 複写紙をシートガイド側へ排出する際に、用紙のカールなどで用紙が折れたりする場合は、以下の設定でスタッカ側排出モードにしてください。
  －シートガイド使用時：MSW4-6をONにする。
  －シートフィーダ使用時：MSW4-7をONにする。

連続紙

符　号	項　目	寸　法
A	用紙幅	101～406.4mm(4～16インチ)
B	左トラクタを最左端に寄せたときの 用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	約35mm(文字中央)
C	左トラクタを最左端および最右端に寄せたときの 第1桁目印刷位置の移動量	約20mm
D	左トラクタを最右端に寄せたときの 用紙右端から第136桁目印刷位置までの距離	約381mm(15インチ)幅の用紙で約25mm(文字中央)
E	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび 改行ピッチ乱れを避けるため、印刷をしないことが望ましい範囲	25.4mm(文字下端)
F		25.4mm(文字下端)

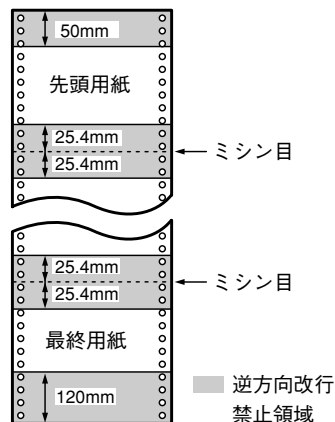
付録

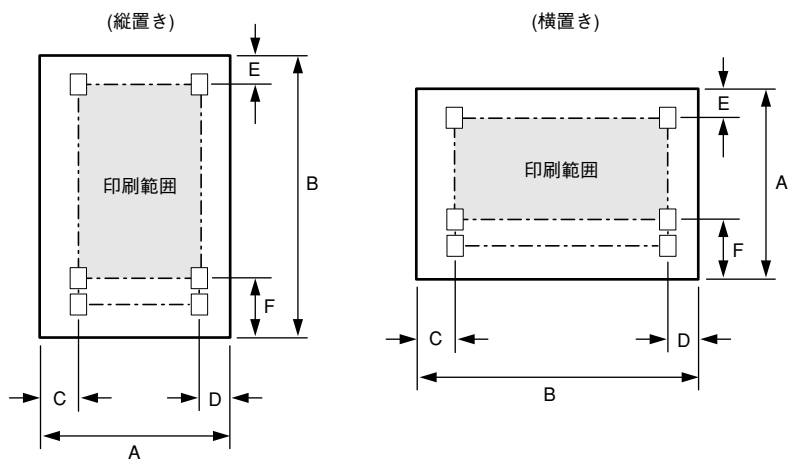
連続紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印刷しないでください。
- 連続紙の用紙吸入位置は25.4±2mm(文字下端・工場設定)です。用紙吸入位置は0～32.1mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法については「用紙吸入位置の微調整」(83ページ)を参照してください。
- 以下の範囲内では合成印刷(拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などはしないでください。印刷位置がばらつくことがあります。

  －用紙上端から約50mmまで

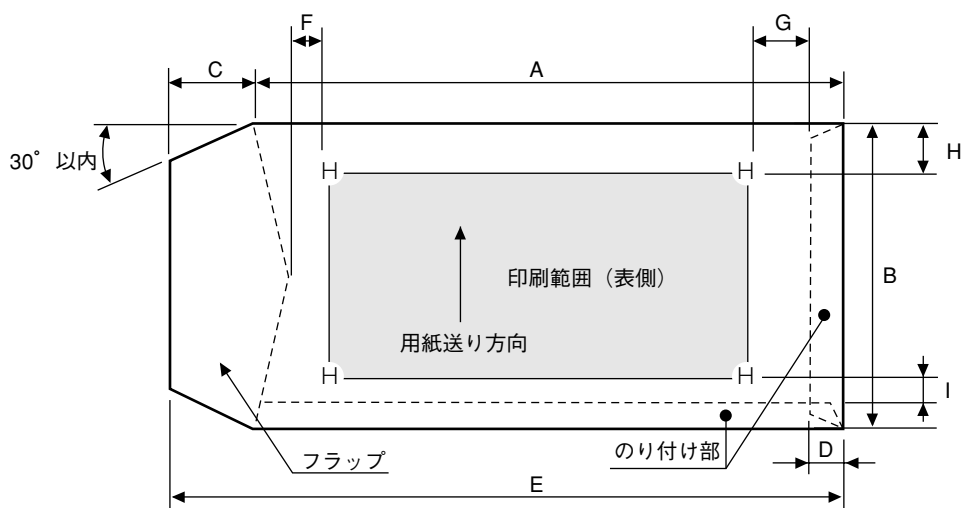
  －連続紙の最後の120mm(4.7インチ)の範囲内*

  * この範囲内は用紙穴からトラクタピンが外れてしまいます。
- 紙端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

はがき

官製はがきあるいは官製はがきと同等品をお使いください。

符　号	項　目	寸　法
A	はがき横幅／往復はがき横幅	100mm／200mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm(文字中央)
D	はがき右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm(文字中央)
E	はがき上端から第1印刷行までの距離	11.5mm(文字中央)
F	はがき下端から最終印刷行までの推奨距離	21.4mm(文字中央)

はがきに関する注意

- はがきの保存状態などにより、はがきがカールした場合はカールを直してから使用してください。
- はがきの表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 写真印刷されたはがきの場合、インクが転写されにくく、印刷汚れの発生やはがき走行に支障をきたす場合がありますので注意してください。

封筒

規格／寸法(mm)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
長形4号	205	90	15～25	5～20	220～235	5.08(0.2ｲﾝﾁ)以上	30(1.18ｲﾝﾁ)以上	7.62以上	7.62以上
長形3号	235	120	15～25	5～20	250～260	5.08(0.2ｲﾝﾁ)以上	30(1.18ｲﾝﾁ)以上	7.62以上	7.62以上
角形3号	277	216	15～32	5～20	292～309	5.08(0.2ｲﾝﾁ)以上	30(1.18ｲﾝﾁ)以上	7.62以上	7.62以上
角形2号	332	240	15～32	5～20	347～364	5.08(0.2ｲﾝﾁ)以上	30(1.18ｲﾝﾁ)以上	7.62以上	7.62以上

- 上記の表はJIS S 5502などに準拠しています。
- 寸法の公差は、長形4号･長形3号は±2.0mm、角形3号・角形2号は±2.5mmです。
- シートフィーダではご使用になれません。
- 封筒は横貼(サイドシーム)以外の種類で、裏面中央で重ね合わせてあるもの、フラップ部にのり付けしてあるもの、二重封筒は使用できません。

封筒に関する注意

- 紙質は用紙表裏面の反射率が60%以上のクラフト紙、ケント紙、またはこれらの同等品以上をお使いください。
- 坪量は次のものを使用してください。

  長形4号 .... 50～85 g/m²
  長形3号 .... 50～85 g/m²
  角形3号 .... 70～85 g/m²
  角形2号 .... 70～120 g/m²

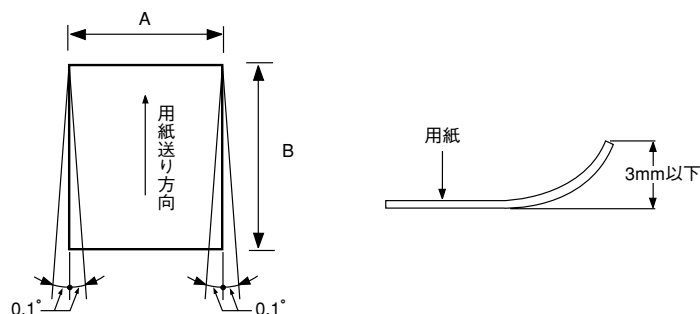
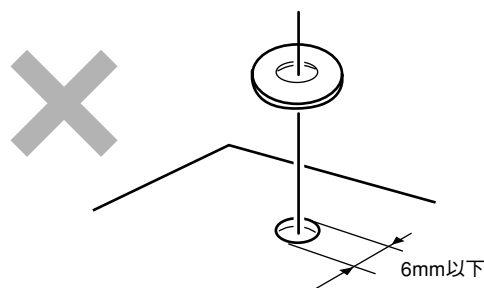
- 封筒の保存状態などにより封筒がカールした場合は、カールを直してから使用してください。
- 封筒の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

付録

付録C　用紙の設計に関する注意事項

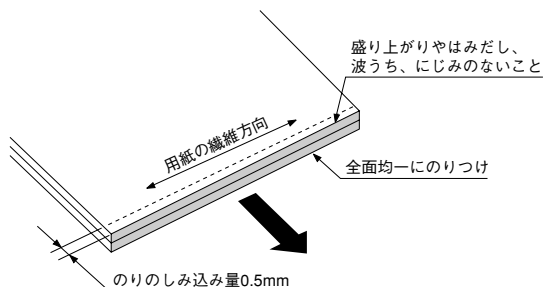
カット紙に関する注意

普通紙について

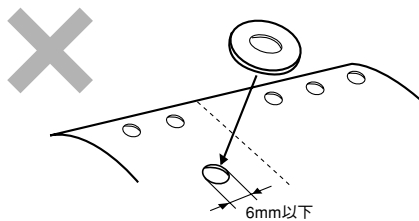
- 長方形の用紙(インデックス、切欠きのないもの)を使用してください。
- 用紙の角のカッティングやアールは(丸み)C8またはR8以下の用紙を使用してください。
- 横方向の切断寸法は±0.5mm以下、縦方向の直角度は±0.1°以下の用紙を使用してください。
- カール(反り)、折れ、曲がりなどのくせのない用紙を使ってください。

- 用紙の横(A)と縦(B)の長さの関係が、3:5以上(＝横の長さ／縦の長さ)、2:1以下(＝横の長さ／縦の長さ)となっている用紙を使用してください。
- 用紙の切断面は凹凸や"けば"がない用紙を使用してください。ミシン目においてカットした用紙は使用しないでください。用紙送り不良の原因となります。
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。穴を補強した用紙は使用しないでください。

- 自動吸入命令により吸入動作を行わせる場合は、用紙のとじ穴の"だれ"や"けば"などがない用紙を使用してください。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙フィード障害、リボンフィード障害、印刷ヘッド、およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンフィード障害、印刷ヘッド、およびその周辺に障害が発生する場合があります。

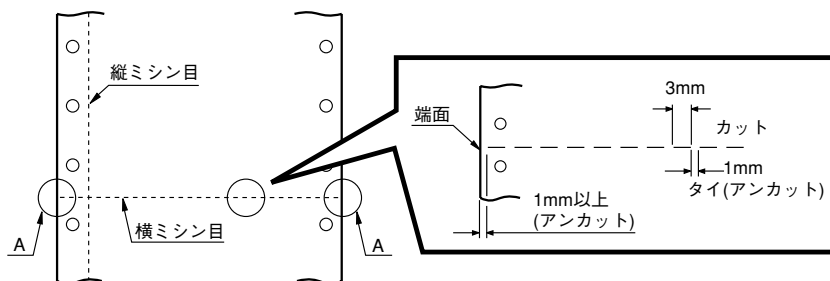
複写式のカット紙について

普通紙に関する注意の他に、次のことを注意してください。

- ノーカーボン紙(感圧紙)を使用してください。
- 最上層用紙(1枚目)はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 用紙送り方向の先端を天側のり付けした用紙を使用してください。
- 複写紙の糊付け部は十分乾燥させ、半乾きのない状態の用紙をご使用ください。

連続紙に関する注意

普通紙について

- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。

- 印刷範囲内で用紙を左右に分割するような縦ミシン目は入れないでください。用紙フィード障害が発生する場合があります。
- 次の図に示されたミシン目の入れ方をした用紙を使用してください。ミシン目の両端部Aについては、下図の寸法を守ってください。

付録

- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のタイ(アンカット)、カット比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙フィード時にミシン目から破れて用紙フィード障害が発生する場合があります。

- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙フィード障害、リボンフィード障害、印刷ヘッド、およびその周辺に障害が発生する場合があります。

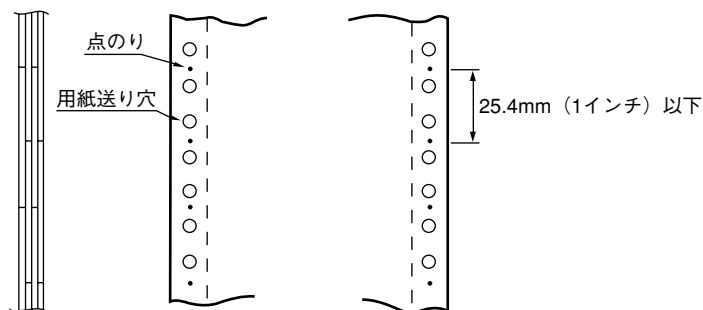
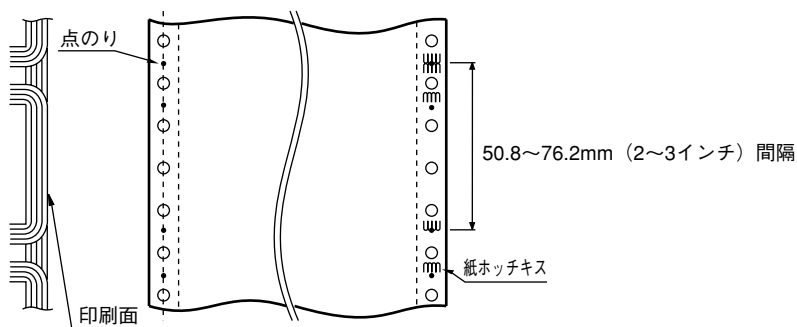
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンフィード障害、印刷ヘッド、およびその周辺に障害が発生する場合があります。

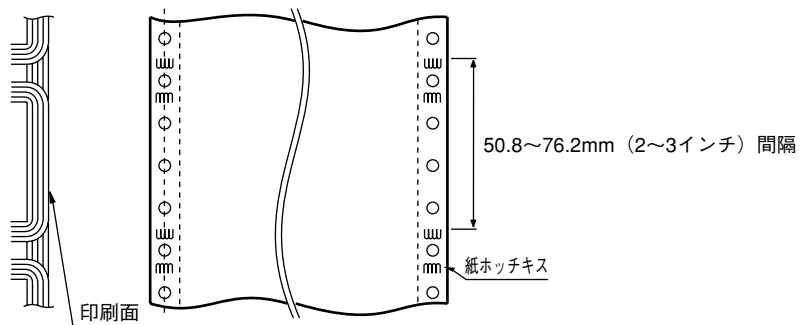
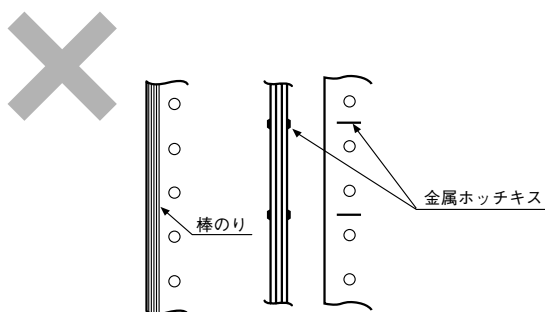
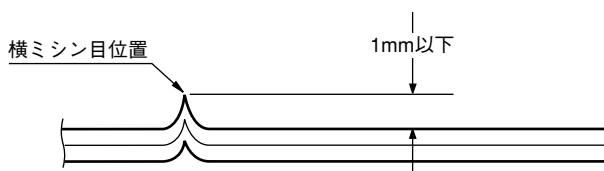
複写式の連続紙について

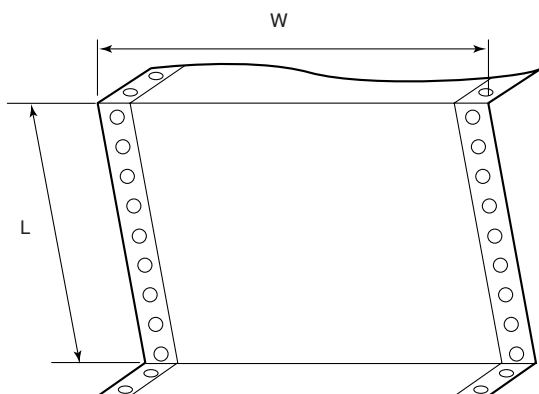
普通紙に関する注意のほかに、次のことを注意してください。

- 最上層用紙(1枚目)はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。

- 複写にあたっては次のことにご注意ください。

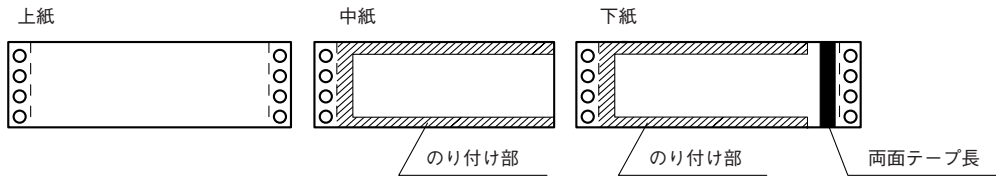
◇　両端の用紙送り穴付近で点のりづけ(双方向改行を行う場合はこのとじ方にすること)。

◇　片端の用紙送り穴付近で紙ホッチキス止め(ダブルギャザー)、他端の用紙送り穴付近で点のりづけ。

— 用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホッチキス止めも可。
— 片側のみ紙ホッチキス止めの用紙は使用しないこと。
— 片側フリーの用紙は使用しないこと。
— 両端点のり方式は保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のりの硬化による凹凸上のしわが、発生することがあります。その状態で使用すると用紙ズレが起きることがあります。

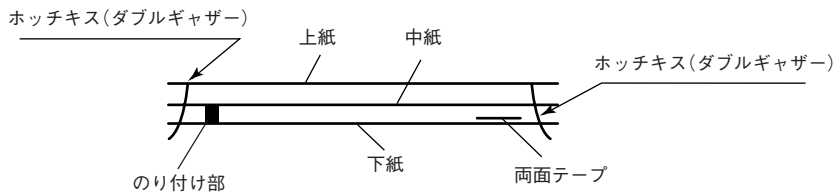
◇　両端の紙ホッチキス止め

◇　金属ホッチキスは使用しないこと。

- 横ミシン目部の盛り上がりが1mm以下の用紙を使用してください。

封筒用紙について

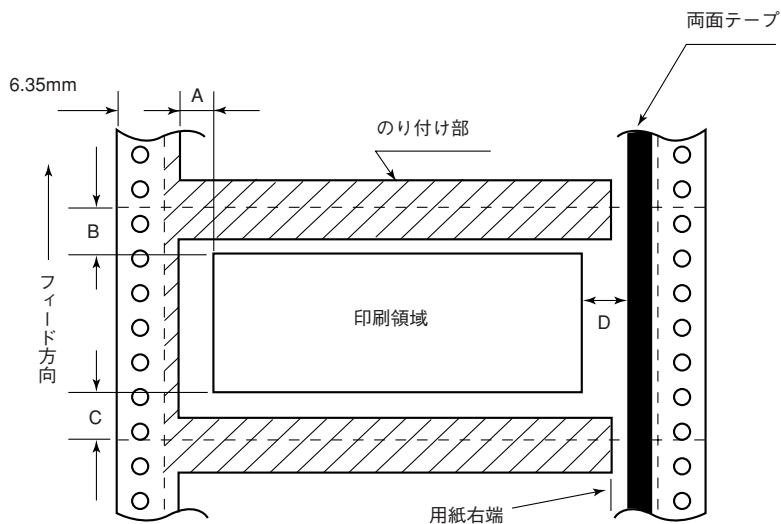
- 用紙の寸法

記号	寸法
W（用紙幅）	127〜406.4mm （5〜16インチ）
L（折りたたみ長さ）	101.6〜364mm （4〜14 1/3インチ）

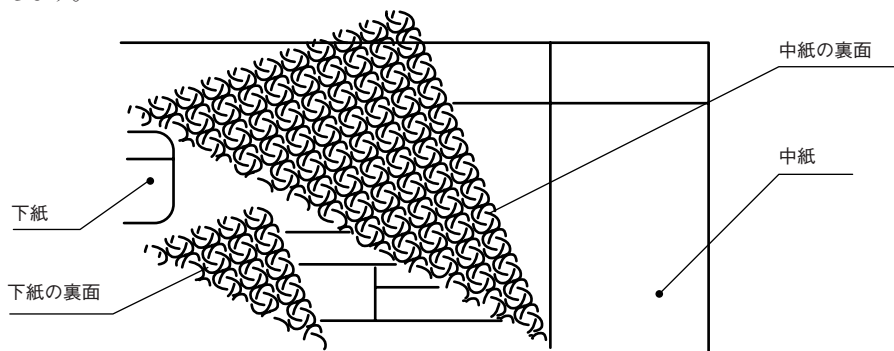
付録

● 用紙の種類

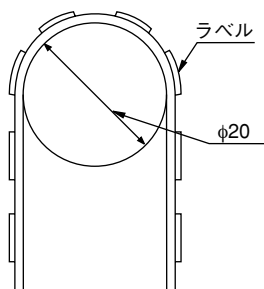
	上紙	中紙	下紙
紙質	一般の用紙	ノーカーボン紙	一般の用紙
坪量（g/m^2） （連量（kg））	34.9～39.5 （30～34）	81.4 （70）	81.4 （70）

● 用紙のとじかた

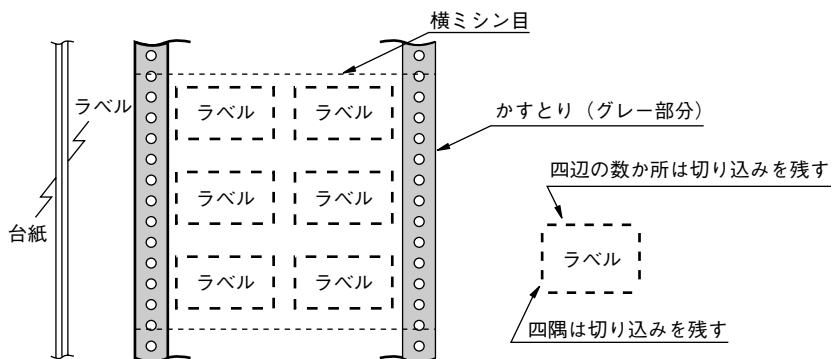
とじかた	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	ホッチキス	棒のり
位置	両端	左端・上下端 4.23mm（1/6インチ）

● 印刷範囲

記号	寸法
A	5.08mm以上
B	5.08mm以上
C	5.08mm以上
D	5.08mm以上

● その他の注意

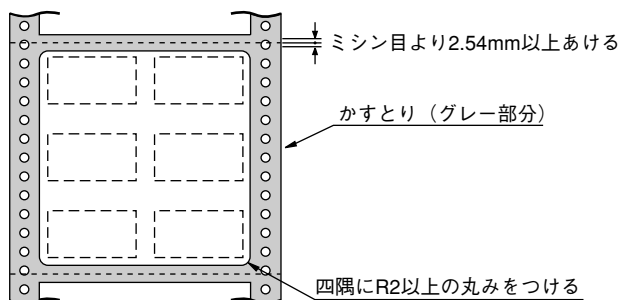
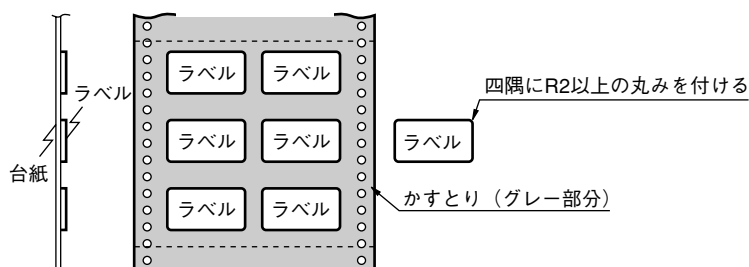
◇ のり付けの幅は、4.23mm（1/6インチ）以下とします。
◇ のり付けによる厚み増加は、0.1mm以下とします。
◇ 穴ずれは、0.3mm以下とします。
◇ 両面テープは、印刷中にはがれないように接着強度が十分なものとします。
◇ 給料袋などの場合は、中紙、下紙の裏面に印刷内容が外部にわからないような配慮をすることをお勧めします。

ラベル紙（タック紙）に関する注意

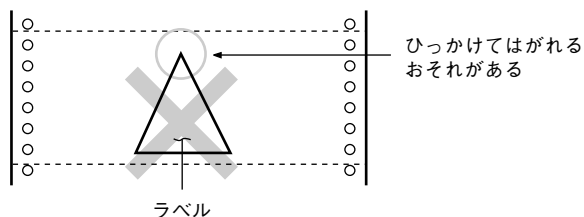
● ラベル紙と台紙の厚さは合計で0.2mm以下で、ラベル紙の厚さより台紙の厚さが同等か厚い用紙を使用してください。

● 直径20mmの円筒にラベルを表にして180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からめくれたり、はがれたりしない用紙を使用してください。

- 以下の用紙形態の用紙を使用してください。

◇　用紙穴付近のみ“かすとり*”したタック紙

＊　“かすとり”とは、台紙に貼り付けたラベル紙全体から必要な部分だけを残してはぎ取ることです。

- ラベルシールの端は切り込みを残すこと。
- 横ミシン目部にもラベルシールが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意すること。

◇　用紙穴付近と横ミシン目部を「かすとり」したタック紙

◇　アイランド(島)状に貼られたタック紙

◇　ラベル紙の角にはアール（丸み）をR2以上付けた用紙を使用してください。

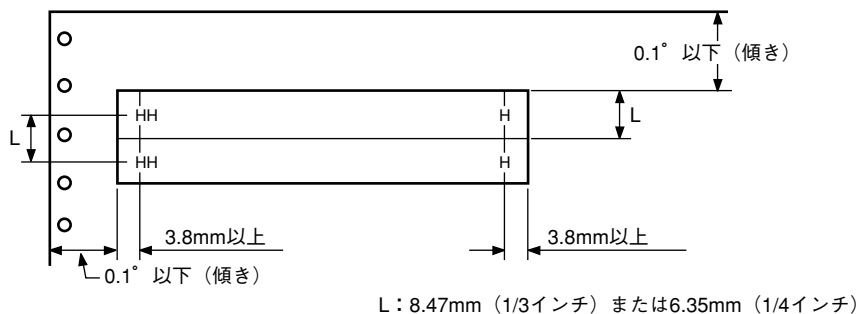
◇　三角形の頂点のように、用紙送り方向にエッジのある形状のラベル紙は使用しないでください。

- のりがラベル紙の端よりはみ出しているタック紙は使用しないでください。
- ミシン目での盛り上がりが1mmを超えるタック紙は使用しないでください。
- はぎ取りやすくするために、あらかじめラベル紙のコーナや端にのりを付けていないタック紙は使用しないでください。
- “みみ”加工をしたタック紙は使用しないでください。

プレプリント用紙に関する注意

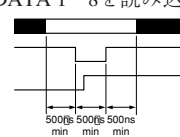
プレプリント用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- 横罫線の印刷は8.46mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、印刷文字は行間の中心に入れるようにしてください。

行間を4.23mm（1/6インチ）にした場合は横罫線に印刷文字がかかる場合があります。

- 横罫線の傾きは用紙上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙左端を基準として0.1°以下にしてください。
- 縦罫線は文字中心から3.8mm（0.15インチ）以上、離すようにしてください。

- 用紙の一部または全部の領域が黒色や濃い色でプレプリントされている場合、用紙の吸入や印刷結果が正しくならないことがありますので、黒色や濃い色でプレプリントしないでください。

付録

付録D　初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセット(ESC c1)・パラメータリセット(ESC c8)・強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号INPUT PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。網かけ文字は工場設定です。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>電源ON</th><th>強制リセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td>用紙長</td><td colspan="3">「パラメータ設定」の「用紙長」の
設定値による</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>ボトム領域</td><td colspan="3">なし</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>垂直タブセット位置</td><td colspan="3">チャネル2：　第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目
チャネル3～6：なし</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>用紙行位置</td><td colspan="5">現在行を第1印刷行(T.O.F)位置とする</td></tr>
<tr><td>レフトマージン幅</td><td colspan="5">000</td></tr>
<tr><td>ライトマージン幅</td><td colspan="5">136または080(メモリスイッチ2-7による)</td></tr>
<tr><td>水平タブセット位置</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td>行メモリ</td><td colspan="5">クリア</td></tr>
<tr><td>行メモリアドレス</td><td colspan="5">最左端相当位置</td></tr>
<tr><td>改行幅</td><td colspan="5">4.23mm(1/6インチ)</td></tr>
<tr><td>キャラクタモード</td><td colspan="5">カタカナモード(8ビットコード)または英数モード(7ビットコード)
(メモリスイッチ2-6による)</td></tr>
<tr><td>グラフィックモード</td><td colspan="5">ネイティブモードまたはコピーモード(メモリスイッチ2-3による)</td></tr>
<tr><td>印刷モード</td><td colspan="5">HDパイカまたはHSパイカ(メモリスイッチ2-5による)</td></tr>
<tr><td>セレクト／ディセレクト</td><td colspan="4">セレクトただしPE信号がHIGHのときはディセレクト</td><td>変化しない</td></tr>
<tr><td>印刷方向(文字)</td><td colspan="5">両方向最短または片方向(メモリスイッチ2-8による)</td></tr>
<tr><td>改行方向</td><td colspan="5">順方向改行</td></tr>
<tr><td>拡大印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>強調印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>ラインの指定</td><td colspan="5">アンダライン</td></tr>
<tr><td>ラインの太さの指定</td><td colspan="5">細線</td></tr>
<tr><td>ライン印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>外字登録</td><td colspan="4">未登録状態(クリア)</td><td>クリアしない</td></tr>
<tr><td>ダウンロード文字登録</td><td colspan="4">未登録状態(プリンタ内蔵文字印刷モード)</td><td>クリアしない</td></tr>
<tr><td>半角縦印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>半角組文字縦印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>漢字文字幅</td><td colspan="5">3.81mm(3/20インチ)</td></tr>
<tr><td>漢字文字サイズ</td><td colspan="5">10.5ポイント</td></tr>
<tr><td>スクリプト文字</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>高速印刷</td><td colspan="4">解除または選択(メモリスイッチ4-5による)</td><td>変化しない</td></tr>
<tr><td>カラー</td><td colspan="5">黒</td></tr>
<tr><td>シートフィーダ</td><td colspan="4">全排出実行、用紙なし状態解除</td><td>第1印刷行(T.O.F)位置では排出しない</td></tr>
<tr><td>ミシン目スキップ</td><td colspan="5">スキップしないまたはスキップする(メモリスイッチ3-8による)</td></tr>
<tr><td>印刷方向(ドット列)</td><td colspan="5">片方向または両方向(メモリスイッチ2-8、4-4による)</td></tr>
<tr><td>漢字書体</td><td colspan="2">明朝体</td><td colspan="3">変化しない</td></tr>
</table>

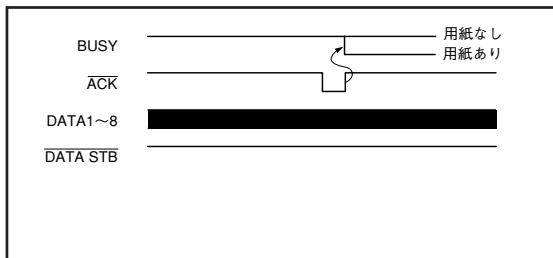
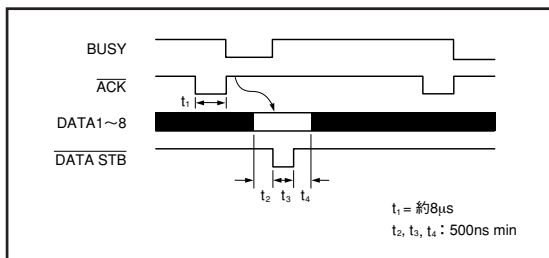
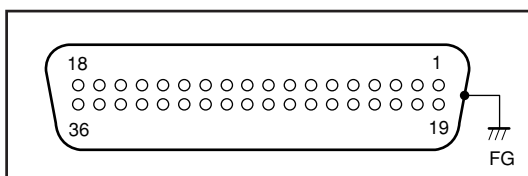
項　目	電源ON	強制リセット	ESC c1	INPUT PRIME	ESC c8
ANK文字フォント	標準、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B(パラメータ設定による)				変化しない
ハガキ印刷モード	解除または選択 (パラメータ設定による)		変化しない		
固定ドットスペース	解除				
倍率設定	解除				
縮小組文字縦印刷	解除				
文字修飾	解除				
漢字コード表	1978年、1983年、1990年（パラメータ設定による）				

付録E　インタフェース

インタフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	方向 プリンタ ↔ コンピュータ	機　能
1	データストローブ	$\overline{\text{DATA STB}}$	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小500nsとする。 DATA1～8 $\overline{\text{DATA STB}}$ BUSY 500ns min 500ns min 500ns min
2	データ1	DATA 1	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。 DATA 1が最下位桁(LSB)、DATA8が最上位桁(MSB)である。パルス幅は最小1.5μsとする。
3	データ2	DATA 2		
4	データ3	DATA 3		
5	データ4	DATA 4		
6	データ5	DATA 5		
7	データ6	DATA 6		
8	データ7	DATA 7		
9	データ8	DATA 8		
10	アクノレッジ	$\overline{\text{ACK}}$	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、$\overline{\text{DATA STB}}$受信に対する応答である。ただし、電源ON時、無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能(BUSY)状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● ディセレクト中のとき ● $\overline{\text{INPUT PRIME}}$信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつ$\overline{\text{INPUT PRIME}}$信号がHIGHになるまでの間 ● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間
12	ペーパエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中(HIGH)かディセレクト中(LOW)かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	←	IEEE1284準拠モードの場合で、逆方向通信のとき使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	＋5V	＋5V	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19-30	TWISTED PAIRGND	—	—	(信号用グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	$\overline{\text{FAULT}}$	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● ディセレクト中のとき ● プリンタがエラー状態のとき
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34,35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	$\overline{\text{SELECT・IN}}$	—	IEEE1284準拠モードにする信号

タイムチャート

電源ON時

データ受信時

コネクタピン配置

		ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	INPUT PRIME
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	FAULT
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	（将来の拡張用）
4	DATA 3	14	AUTOFEED	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	SELECT・IN
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	+5V	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	ACK	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

＊　これらのピンの端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
AUTOFEED INPUTPRIME SELECT・IN	+5V 4.7KΩ 100Ω LS245または LS19相当品 470pF
DATA STB INPUT PRIME	+5V 4.7KΩ 100Ω 220pF LS19相当品

出力回路

信号名	回路形式
ACK FAULT BUSY PE SELECT +5V	+5V 1KΩ

付録

索 引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

R100

PRINTED WITH SOY INK

NEC